

---

---

平成 25 年度全国救護施設実態調査  
報 告 書

---

---

全国救護施設協議会



## はじめに

全国救護施設実態調査は、3年に1回定期的に、救護施設の利用者への支援の現状および施設や利用者の状況等を把握し、救護施設の実態を明らかにするとともに、根拠あるデータをもとに国や自治体に要望や提言等を行うことを目的として実施しているものです。

このたび、全国の救護施設（188か所／平成25年10月1日現在）のうち、186施設からご回答を得て、「平成25年度全国救護施設実態調査報告書」をまとめることができました。本会のホームページを活用し、全国の施設から回答済みファイルをメール添付にて送付いただく方法にて調査を実施し、調査回答方法等の変更によりご不便をおかけしたなか、多くの時間を費やして本調査にご協力、ご回答いただきました関係者の皆さまに、厚くお礼申し上げます。

今日、社会福祉法人に対し厳しい目が向けられるなか、情報開示の義務づけや運営の透明性の確保の一層の促進が求められています。本調査結果では平成22年度調査と比較し、第三者評価の受審や自己評価を毎年実施している施設が増え、苦情解決については体制を整備し、第三者委員を配置している施設が96%を超えています。

看護師・指導員・介護職員・精神保健福祉士加算については、いずれかの加算を受けている施設が増え80%を超えるとともに、平成23年度から創設された精神保健福祉士加算を受けている施設も50%を超えています。また、夜勤および宿直・夜勤の割合が増加傾向にあるなど、今後の救護施設を示唆する多くのデータが含まれていると考えています。

一方、平成25年度に本会は、「救護施設が取り組む生活困窮者支援の行動指針」を作成し、平成27年度までに達成すべき各事業の目標を設定しています。この「行動指針」等を通じた取り組みがすすみ、保護施設通所事業、居宅生活訓練事業、一時入所事業等を実施されている施設が増えています。今後は、全国の救護施設の現状を把握したこの貴重なデータを活用し、さまざまな活動をはじめ、「行動指針」における事業の推進にも役立てていきたいと思っています。今回の「報告書」は、平成22年度実態調査結果の数値と比較しながら、調査結果についてコメントを加えています。それぞれの結果数値とともにご参考としてください。

最後に、会員等の皆さま方にはこの「報告書」をご高覧いただき、忌憚のないご意見をいただけましたら幸いです。

平成26年7月

全国救護施設協議会  
会長 大西 豊美



## 目 次

I. 調査の実施および調査結果の概要	1
II. 調査結果【施設の状況】	3
1. 基本情報	4
(1) 開設年	4
(2) 運営形態	4
(3) 指定管理施設	5
(4) 入所者の定員・現員	5
(5) 入所率	6
(6) 平成 24 年度延べ利用人員	6
2. 施設の概況	7
(1) 施設で実施している事業	7
(2) 当該救護施設の運営以外に法人が実施する事業	8
3. 建物等について	10
(1) 1人あたりの居室面積	10
(2) 居室数	10
(3) 築年数	11
4. IT 環境	12
(1) ホームページの開設	12
(2) ホームページの更新頻度	12
5. 個別支援計画書の取り組みについて	13
(1) 現在使用中のツールについて	13
(2) 研修について	13
6. サービス評価の取り組みについて	14
(1) 自己評価の取り組み状況について	14
(2) 自己評価で使用のツールについて	14
(3) 第三者評価について	15
7. リスクマネジメントの取り組み状況	17
(1) リスクマネジメントに関する検討体制について	17
(2) 委員会・検討会の開催間隔	17
(3) 事例収集の実施について	18
(4) リスクマネジャー（リスクマネジメント推進担当者）の設置について	18
(5) リスクマネジャーの該当職種	19
8. 苦情解決の取り組み状況	20
(1) 苦情解決体制について	20
(2) 苦情件数について（平成 24 年度実績）	20
(3) 第三者委員会の開催状況	21

9. 市町村における障害福祉計画策定等への参画 .....	22
(1) 施設（法人）や役職員の計画策定への参画 .....	22
(2) 自立支援プログラム（生活保護制度）への協力 .....	22
10. 実習者（見学者をのぞく）の受入実績 .....	23
11. ボランティアの受入実績 .....	24
12. 職員の状況 .....	25
(1) 施設の職員について .....	25
(2) 加算による配置状況 .....	29
(3) 自治体の独自制度による加算の状況 .....	30
(4) 生活指導員、介護職員、看護師（准看護師）の最低基準充足率 .....	31
13. 夜間の勤務体制について .....	32
14. 民間業者等への業務委託等 .....	33
15. 日中活動支援について .....	34
16. 入浴の状況について .....	35
(1) 実施状況 .....	35
(2) 対象人数 .....	35
(3) 平均入浴回数、入浴日 .....	35
(4) 入浴時間 .....	36
17. 金銭の管理状況 .....	37
18. 食事の提供について .....	38
(1) 利用者メニュー選択の状況 .....	38
(2) 食事時間の選択状況 .....	39
(3) 食事用自助具の状況 .....	40
(4) アルコール類飲酒状況とその理由 .....	41
19. 医療的ケアについて .....	42
(1) 施設外通院者数について .....	42
(2) 施設内での医療的ケアについて .....	42
<b>III. 調査結果【利用者の状況】</b> .....	<b>43</b>
20. 基本情報 .....	44
(1) 性別 .....	44
(2) 年齢 .....	44
(3) 入所時の年齢 .....	45
(4) 入所期間 .....	45
21. 入所形態の状況 .....	46
(1) 生活保護の受給の有無 .....	46
(2) 自己負担状況 .....	46
(3) 障害者加算 .....	46
22. 入所前の状況 .....	47
23. 現在の施設への再入所経験の有無 .....	48

24. 利用者の障害状況.....	49
25. 身体障害の状況.....	50
(1) 手帳の有無.....	50
(2) 障害等級.....	50
(3) 主な障害状況.....	51
26. 知的障害の状況.....	52
(1) 手帳の有無.....	52
(2) 障害等級.....	52
27. 精神障害の状況.....	53
(1) 手帳の有無.....	53
(2) 障害等級.....	53
(3) 主な障害状況.....	54
28. 特定疾患の有無.....	55
29. 生活能力の状況.....	56
(1) 金銭管理.....	56
(2) 意思伝達.....	56
(3) 電話.....	57
(4) マナー.....	57
(5) 公共機関の利用.....	58
(6) 交通機関の利用.....	58
30. 現在受診している科目.....	59
(1) 受診の有無.....	59
(2) 受診科目.....	60
31. 食事について.....	61
(1) 食事の形態.....	61
(2) 治療食の状況.....	62
32. 現在利用している日中活動について.....	63
33. 利用者の今後の進路（施設長の考え）.....	64
(1) 今後の居住.....	64
(2) 就労・日中活動の場.....	65
34. 平成24年度（1年間）の退所者の状況.....	66
(1) 性別.....	66
(2) 入所時の年齢.....	66
(3) 入所期間.....	67
(4) 障害の状況.....	68
(5) 入所前の状況.....	69
(6) 現在の施設への再入所の有無<入所者>.....	70
(7) 退所後の進路.....	71
(8) 退所直後の生活保護受給の有無.....	72
(9) 退所直後の施設サービス利用の有無.....	72

(10) 退所直後の就労の有無 .....	72
IV. 平成 25 年度全国救護施設実態調査 「設問と回答の手引き」 .....	73
V. 平成 25 年度全国救護施設実態調査 「調査票 (回答用紙)」 .....	89

# I. 調査の実施および調査結果の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、救護施設の機能強化やあり方の検討等に資するため、救護施設運営および利用者の状況について、全国の救護施設の現状を把握する。

## 2. 調査対象

全国の救護施設 187 施設

(平成 25 年 10 月現在。全救協会員施設 185 施設、未加入施設 2 施設 ※平成 25 年度廃園予定となる施設は除く)

## 3. 調査方法

調査票様式を全救協 Web サイトの会員専用ページに掲載し、回答済みファイルをメール添付にて送付・回収という方法にて実施。

## 4. 調査基準日

平成 25 年 10 月 1 日

## 5. 調査期間

平成 25 年 11 月 25 日 (調査票配布) ~平成 26 年 1 月 31 日 (提出締切日)

## 6. 回収

186 施設 (99.5%)

## 7. その他

各設問の集計の「割合」については、四捨五入の端数処理の関係上、その合計が 100%にならない場合もある。また、人数等の実数が 1 以上の場合も、「割合」は四捨五入により 0.0%と表記している場合がある。

本報告書内に記載の「前回調査」とは、「平成 22 年度全国救護施設実態調査」を示す。なお、本報告書の中には前回調査との比較を%ではなく実際の数値で記した部分がある。前回調査の有効回答施設数は 187 施設であり、今回の回答施設数 186 とは 1 の差異があることをここに付記する。

○調査結果の概要（※前回調査から変動があった主な項目については、前回調査結果を併記した。）

### 【施設の状況】

#### ◆運営形態

公設公営 9.1%（17 施設）、公設民営 16.1%（30 施設）（※内、指定管理施設 70%（21 施設））  
民設民営 74.7%（139 施設）

#### ◆定員・現員合計、入所率（調査対象 187 施設中 186 施設の回答）

定員合計 16,912 人、現員合計 16,956 人、入所率（現員÷定員）100.3%

#### ◆施設ごとの入所率

100%以上 110%未満が 55.4%（103 施設）、90%以上 100%未満が 31.2%（58 施設）

#### ◆利用者 1 人あたりの居室面積（※設備基準では収納設備等を除き、3.3 m<sup>2</sup>以上）

平均 7.5 m<sup>2</sup>

#### ◆当該救護施設の本体運営以外の事業（「居宅生活訓練事業」、「一時入所事業」等）実施の状況

「事業を実施している」施設は、前回調査 34.2%（64 施設）から 67.2%（125 施設）に増加。

「居宅生活訓練事業」は、前回調査 19.3%（36 施設）から 34.9%（65 施設）に増加。

「一時入所事業」は、8.0%（15 施設）から 52.7%（98 施設）に増加。

#### ◆第三者評価

第三者評価を受審したことがある施設は、前回調査 27.3%（51 施設）から 38.2%（71 施設）に増加。

#### ◆加算による配置状況

看護師・指導員・介護職員・精神保健福祉士加算のいずれか加算があると回答した施設は、82.3%（153 施設）。

#### ◆夜間の勤務体制

夜勤または宿直+夜勤の合計は、前回調査 44.9%（84 施設）から 48.9%（91 施設）に微増。

### 【利用者の状況】

#### ◇性別（割合）、年齢層

性別は男性 62.4%、女性 37.6%。年齢層は、65 歳以上が前回調査 46.8%から 49.0%に微増。

#### ◇生活保護の受給（自己負担の状況）

受給あり 98.7%（自己負担なし 43.8%、全額自己負担 5.0%、一部自己負担 50.9%）

#### ◇入所前の状況

精神科病院 34.8%、在宅 31.0%、一般病院 10.4%

#### ◇利用者の障害状況

なんらかの障害がある利用者は 91.4%

#### ◇障害手帳の保有率

身体障害 64.0%、知的障害 59.7%、精神障害 66.4%

#### ◇特定疾患（特定疾患がある 2,939 人の中の割合）

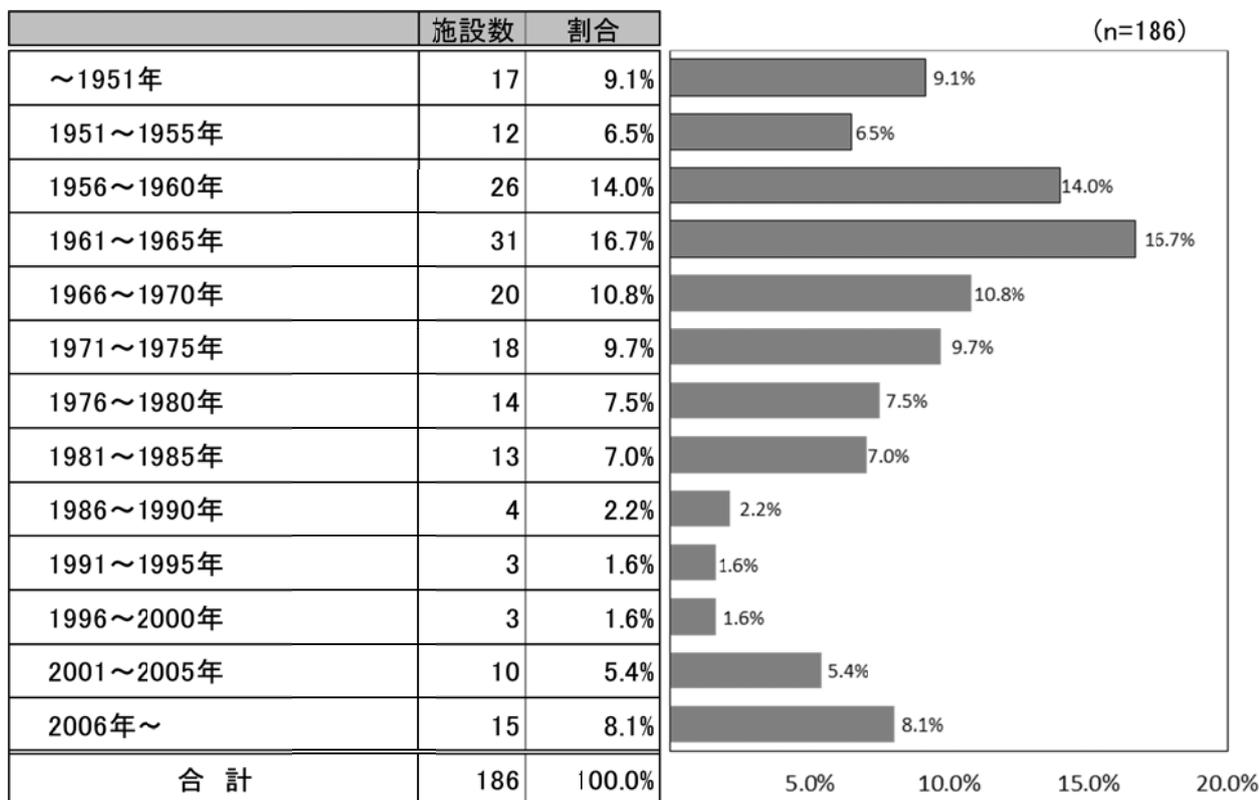
脳血管疾患 38.4%、糖尿病性腎症等 11.0%、初老期の認知症 9.6%、等

## Ⅱ. 調査結果【施設の状況】

## 1. 基本情報

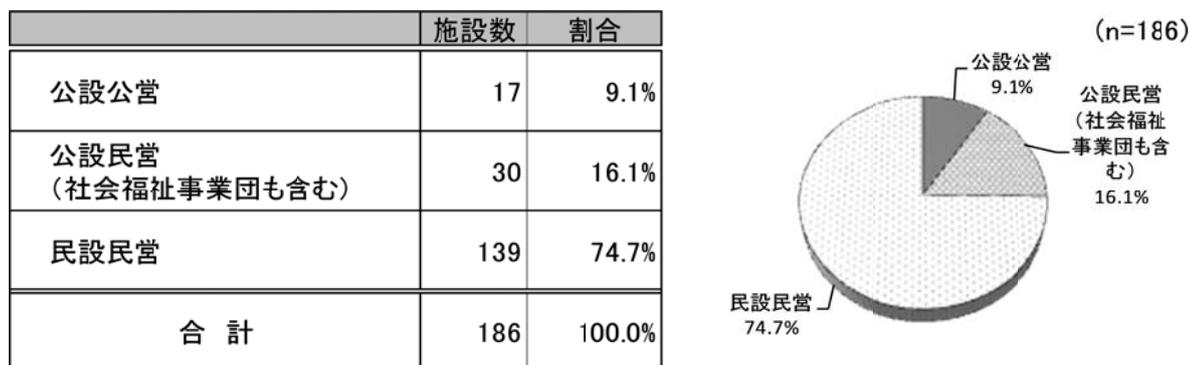
### (1) 開設年

1961年～1965年にかけて開設された施設が最も多い。その後、開設施設数は減少しているが、2001年以降ふたたび増加に転じている。



### (2) 運営形態

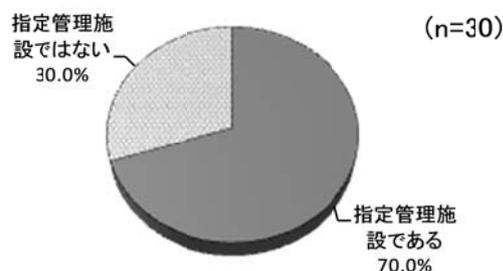
民設民営施設が139施設で全体の7割強を占める。前回調査（平成22年度）と比較して、傾向に大きな変化は見られない。



### (3) 指定管理施設

運営形態が「公設民営」であった 30 施設のうち、指定管理施設は全体の 7 割を占めている。

	施設数	割合
指定管理施設である	21	70.0%
指定管理施設ではない	9	30.0%
合計	30	100.0%

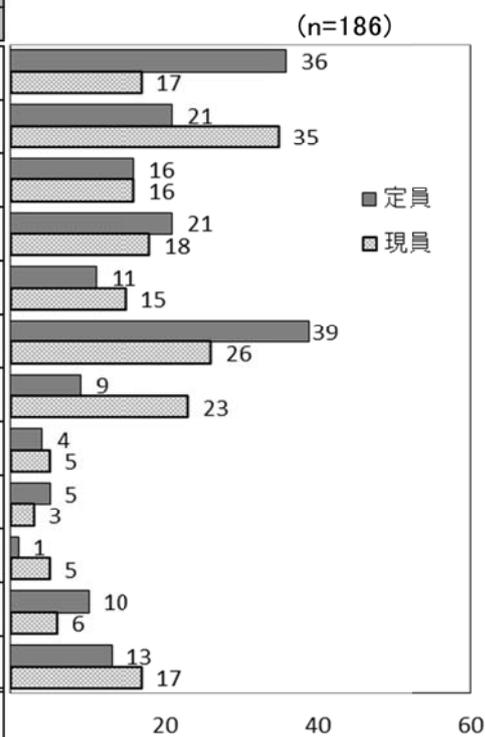


### (4) 入所者の定員・現員

定員 91～100 人の施設が 21.0%で最も多く、定員 50 人以下の施設が 19.4%で続いている。

調査を行った施設合計での入所率は 100.3%であり定員数を 44 名上回っているが、前回調査(平成 22 年度)と比較すると定員数に接近した結果となっている(参考：前回入所率 101.0%、定員超過数 164 人)。

	定員		現員	
	施設数	割合	施設数	割合
～50人	36	19.4%	17	9.1%
51～60人	21	11.3%	35	18.8%
61～70人	16	8.6%	16	8.6%
71～80人	21	11.3%	18	9.7%
81～90人	11	5.9%	15	8.1%
91～100人	39	21.0%	26	14.0%
101～110人	9	4.8%	23	12.4%
111～120人	4	2.2%	5	2.7%
121～130人	5	2.7%	3	1.6%
131～140人	1	0.5%	5	2.7%
141～150人	10	5.4%	6	3.2%
151人～	13	7.0%	17	9.1%
合計	186	100.0%	186	100.0%

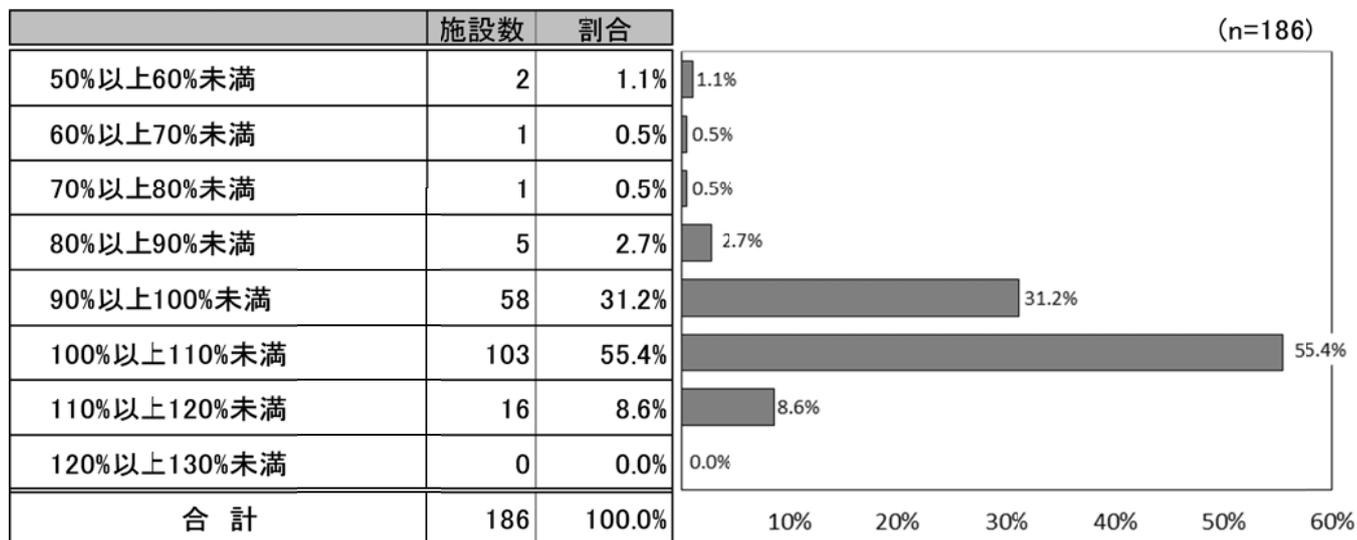


平均	90.9人	91.2人	定員合計	16,912 人
最大	240人	245人	現員合計	16,956 人
最少	30人	29人	入所率(現員÷定員)	100.3 %

(5) 入所率

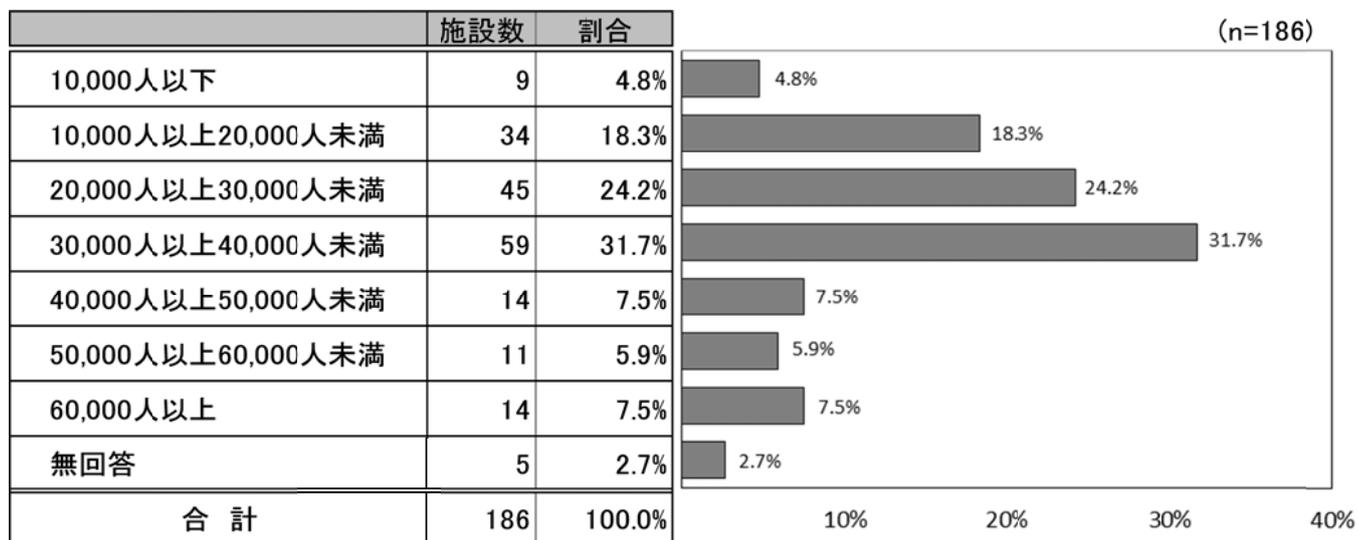
施設ごとの入所率をみると、100%以上110%未満の施設が最も多く、6割近くを占める。

100%以上の施設数は合計で119施設となっており、前回調査(平成22年度)の129施設と比較すると10施設減少している。



(6) 平成24年度延べ利用人員

延べ利用人員は30,000人以上40,000人未満が最も多く、31.7%となっている。



## 2. 施設の概況

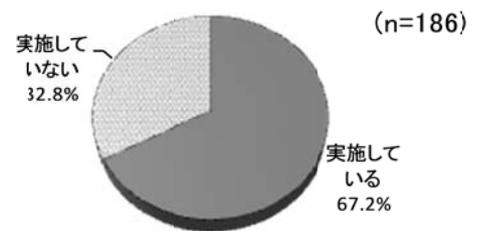
### (1) 施設で実施している事業

前回調査(平成 22 年度)では他事業を実施している施設は全体の 1/3 程度であったが、今回の調査では全体の 2/3 強に増加している。内訳を見ると、一時入所事業が 98 施設(対前回+83 施設)、居宅生活訓練事業が 65 施設(同+29 施設)と多数を占めている。

両事業は平成 25 年 4 月に示された『救護施設が取り組む生活困窮者支援の行動指針』の「救護施設の機能として制度化されている支援」において「すべての救護施設が取り組む標準事業」として実践例示されており、同指針等を通じた取組みが反映されたものと推察される。

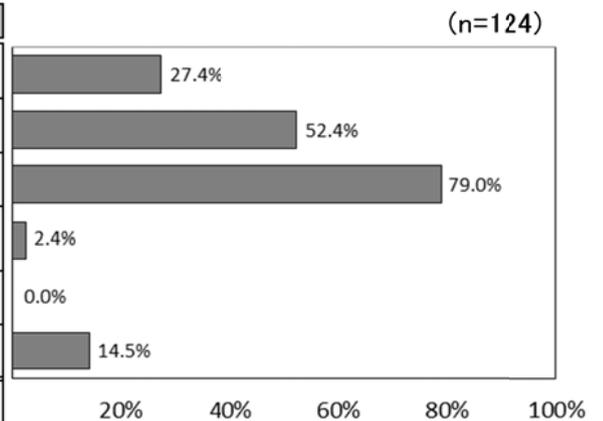
#### ■救護施設の運営以外の事業実施の状況

	施設数	割合
実施している	125	67.2%
実施していない	61	32.8%
合計	186	100.0%



#### ■実施事業の内容(内数)

	施設数	割合
保護施設通所事業	34	27.4%
居宅生活訓練事業	65	52.4%
一時入所事業	98	79.0%
居宅生活移行支援事業 (無料定額宿泊施設)	3	2.4%
サテライト型救護施設	0	0.0%
その他	18	14.5%
有効回答施設数	124	-



※複数回答施設あり

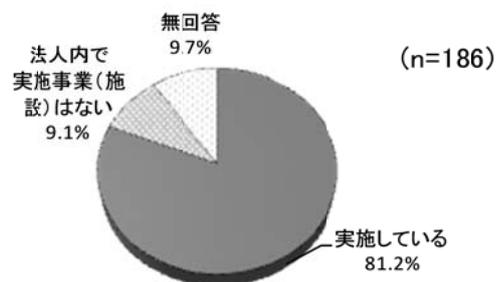
#### <その他の主な内容>

- ・ 通所・訪問事業 (施設独自事業)
- ・ 保護施設通所事業 (施設独自事業)
- ・ 緊急一時入所 (ホームレス)
- ・ ホームレス等生活困窮者支援事業 (施設独自事業)
- ・ 被災者等自立支援事業 (県事業)
- ・ 退所者自立生活援助事業 (施設独自事業)
- ・ 社会的入院者退院促進事業
- ・ 結核患者療養支援事業
- ・ 居宅生活訓練事業 (施設独自事業)
- ・ 地域生活支援事業 (施設独自事業)
- ・ ホームレス就労支援入所事業 (市事業)
- ・ DV 被害者等緊急一時保護事業
- ・ 総合型介護予防事業
- ・ 社会生活適応支援
- ・ 域内結核対策事業
- ・ 夜間巡回事業

(2) 当該救護施設の運営以外に法人が実施する事業

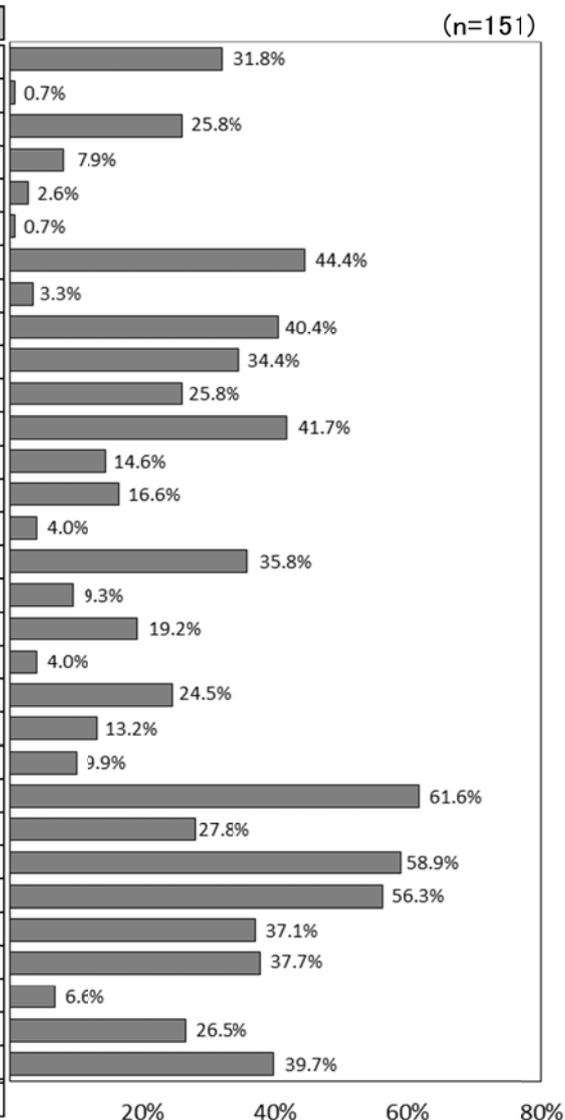
全体の約8割が当該救護施設の運営以外に何らかの事業を実施している。前回調査(平成22年度)と比較して傾向に大きな変化は見られない。

	施設数	割合
実施している	151	81.2%
法人内で実施事業(施設)はない	17	9.1%
無回答	18	9.7%
合計	186	100.0%



■事業内容

	施設数	割合
救護施設(貴施設以外)	48	31.8%
更生施設(生活保護法による)	1	0.7%
居宅介護	39	25.8%
重度訪問介護	12	7.9%
行動援護	4	2.6%
重度障害者等包括支援	1	0.7%
短期入所(ショートステイ)	67	44.4%
療養介護	5	3.3%
生活介護	61	40.4%
施設入所支援	52	34.4%
共同生活介護(ケアホーム)	39	25.8%
共同生活援助(グループホーム)	63	41.7%
自立訓練	22	14.6%
就労移行支援	25	16.6%
就労継続支援A型	6	4.0%
就労継続支援B型	54	35.8%
移動支援	14	9.3%
地域活動支援センター	29	19.2%
福祉ホーム	6	4.0%
相談支援事業(市町村委託あり)	37	24.5%
相談支援事業(市町村委託なし)	20	13.2%
障害児(者)地域療育等支援事業(知的)	15	9.9%
特別養護老人ホーム(指定介護老人福祉施設)	93	61.6%
養護老人ホーム	42	27.8%
老人デイサービス(通所介護)	89	58.9%
老人ショートステイ	85	56.3%
老人ホームヘルプサービス	56	37.1%
在宅介護支援センター	57	37.7%
ホームレス自立支援センター	10	6.6%
保育所	40	26.5%
その他	60	39.7%
有効回答施設数	151	-



※複数回答施設あり

<その他の主な内容>

- ・ 高齢者生活支援ハウス
- ・ 地域包括支援センター
- ・ 介護老人保健施設
- ・ 軽費老人ホーム
- ・ 小規模多機能型事業
- ・ 認知症高齢者グループホーム
- ・ ケアハウス
- ・ 老人保健施設
- ・ 老人デイケア
- ・ 居宅支援事業所
- ・ 小規模多機能型居宅介護事業所
- ・ 高齢者住宅調査業務センター
- ・ 介護予防支援事業
- ・ 高齢者保健文化施設
- ・ 有料老人ホーム
- ・ 盲人ホーム
- ・ 障害者委託訓練事業
- ・ 機能維持訓練事業
- ・ 発達障害者支援センター
- ・ 知的障害者生活支援事業
- ・ 障害者虐待防止支援事業
- ・ 精神障害者地域生活支援センター
- ・ 情緒障害児短期治療施設
- ・ 児童養護施設
- ・ 障害者アート振興事業
- ・ 児童自立生活援助事業
- ・ 障害児通所支援事業
- ・ 障害児入所施設
- ・ 児童発達支援
- ・ 病児保育事業
- ・ 乳児院
- ・ こどもデイサービス
- ・ 放課後等支援事業
- ・ 児童発達支援事業
- ・ 託児所
- ・ 児童更生施設
- ・ 母子生活支援施設
- ・ 婦人保護施設
- ・ 母子家庭等就業自立支援センター
- ・ 子育て支援センター事業
- ・ 訪問看護
- ・ 精神科病院
- ・ 医療施設
- ・ 同行援護
- ・ 無料職業紹介所
- ・ 一時預かり事業
- ・ 宿所提供施設
- ・ 訪問介護員養成研修
- ・ 福祉タクシー
- ・ 福祉用具貸与
- ・ 看護専門学校
- ・ 職業安定法による公益事業
- ・ 生計困難者に対する支援相談事業
- ・ 地域生活定着支援センター
- ・ 配食サービス

### 3. 建物等について

#### (1) 1人あたりの居室面積

利用者1人あたりの居室面積の平均は7.5㎡と最低基準(3.3㎡)の2倍を超えており、前回調査(平成22年度)の結果(7.3㎡)と比較して更に向上している。

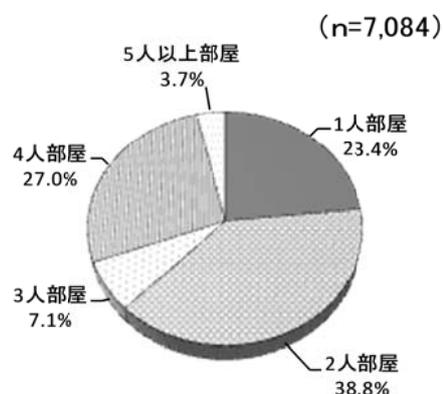
1人あたりの居室面積－平均－	7.5㎡	(有効回答 184 施設)
----------------	------	---------------

#### (2) 居室数

2人部屋が最も多く、4人部屋が続くという傾向は前回調査(平成22年度)と同様である。

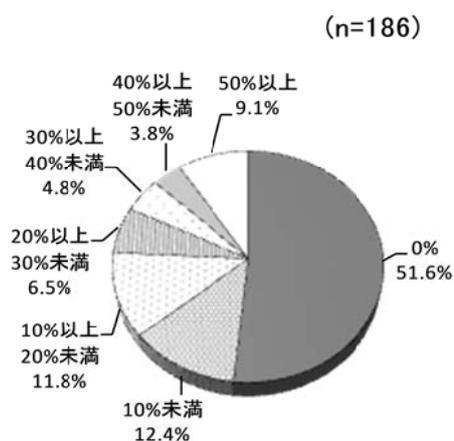
1人部屋がない施設(全居室数に対する1人部屋の割合が0%の施設)は全体の半数を超えている。一方、すべて1人部屋は4施設ある。

	居室数	割合
1人部屋	1,660	23.4%
2人部屋	2,748	38.8%
3人部屋	503	7.1%
4人部屋	1,912	27.0%
5人以上部屋	261	3.7%
合計	7,084	100.0%



#### ■全居室数に対する1人部屋の割合

	施設数	割合
0%	96	51.6%
10%未満	23	12.4%
10%以上20%未満	22	11.8%
20%以上30%未満	12	6.5%
30%以上40%未満	9	4.8%
40%以上50%未満	7	3.8%
50%以上	17	9.1%
合計	186	100.0%



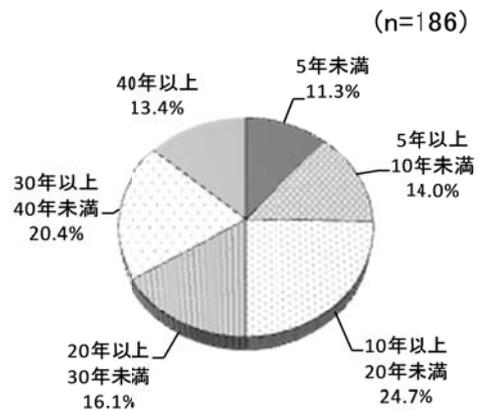
平均	14.6%
最大	100.0%

(3) 築年数

築年数が30年以上の割合が全体の1/3程度を占めている。

	施設数	割合
5年未満	21	11.3%
5年以上10年未満	26	14.0%
10年以上20年未満	46	24.7%
20年以上30年未満	30	16.1%
30年以上40年未満	38	20.4%
40年以上	25	13.4%
合計	186	100.0%

平均	21年6か月
最大	57年4か月
最小	0年3か月

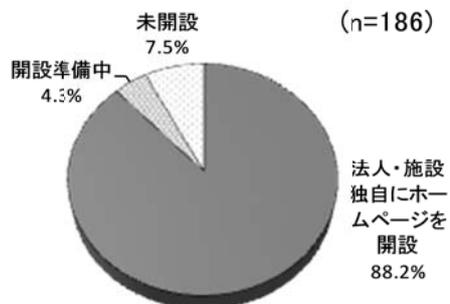


#### 4. IT 環境

##### (1) ホームページの開設

開設準備中も含めると 92.5%の施設がホームページを開設しており、同 83.4%であった前回調査(平成 22 年度)時点より情報開示が進展している。

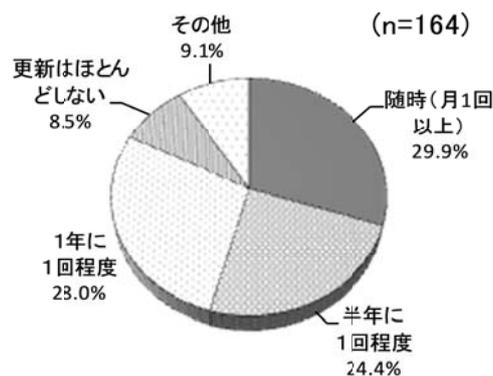
	施設数	割合
法人・施設独自にホームページを開設	164	88.2%
開設準備中	8	4.3%
未開設	14	7.5%
合計	186	100.0%



##### (2) ホームページの更新頻度

約 3 割の施設が随時(月 1 回以上)ホームページを更新している。

	施設数	割合
随時(月1回以上)	49	29.9%
半年に1回程度	40	24.4%
1年に1回程度	46	28.0%
更新はほとんどしない	14	8.5%
その他	15	9.1%
合計	164	100.0%



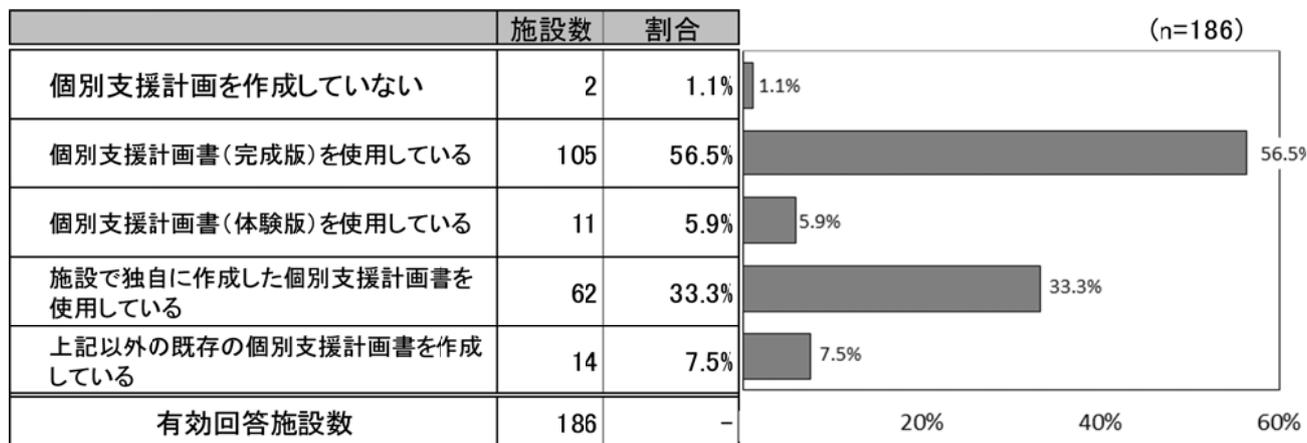
##### <その他の主な内容>

- ・ 随時 (行事等があった場合、新規・変更情報がある場合)
- ・ 1～2か月に1回程度、更新事項がある度に随時
- ・ 3か月に1回
- ・ 4か月毎

## 5. 個別支援計画書の取り組みについて

### (1) 現在使用中のツールについて

ほとんどの施設が個別支援計画を使用しており、その半数強の施設が全救協の個別支援計画書(完成版)を使用している。なお、作成していない施設は平成26年には作成予定としている。



※複数回答施設あり

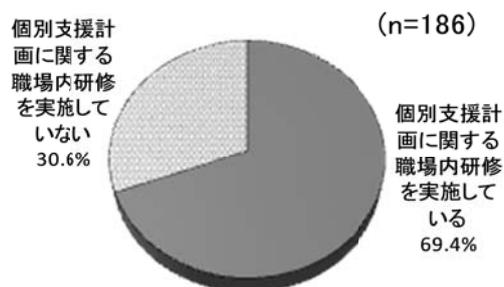
### <その他の主な内容>

- ・ 三団体方式のものを使用
- ・ 福祉見聞録の書式を使用
- ・ 生活支援システム
- ・ 全救協様式に準拠した市販ソフトによる
- ・ 絆ソフト使用
- ・ 完成版をベースにしたオリジナルのものを使用している

### (2) 研修について

7割程度の施設が個別支援計画に関する職場内研修を実施している。

	施設数	割合
個別支援計画に関する職場内研修を実施している	129	69.4%
個別支援計画に関する職場内研修を実施していない	57	30.6%
合計	186	100%

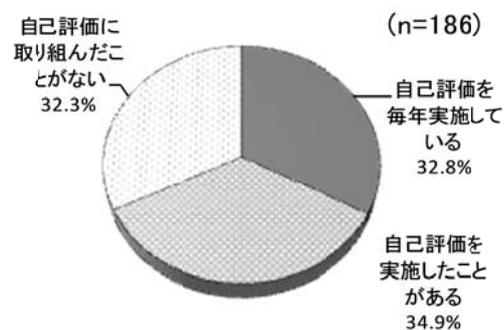


## 6. サービス評価の取り組みについて

### (1) 自己評価の取り組み状況について

前回調査(平成 22 年度)と比較すると、自己評価を毎年実施している施設の割合が 32.8%と微増し(+2.3%増)、自己評価に取り組んだことがない施設の割合が 32.3%と微減している(-2.5%)。

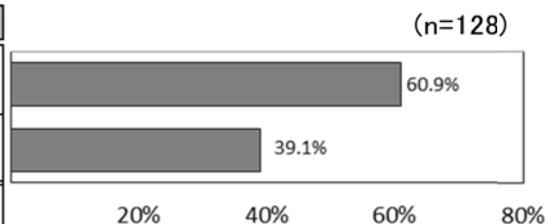
	施設数	割合
自己評価を毎年実施している	61	32.8%
自己評価を実施したことがある	65	34.9%
自己評価に取り組んだことがない	60	32.3%
合計	186	100.0%



### (2) 自己評価で使用のツールについて

自己評価に取り組んだことがある施設の 6 割は「救護施設サービス評価基準 Ver.2」を使用している。

	施設数	割合
救護施設サービス評価基準Ver. 2	78	60.9%
救護サービス評価基準以外	50	39.1%
有効回答施設数	128	-



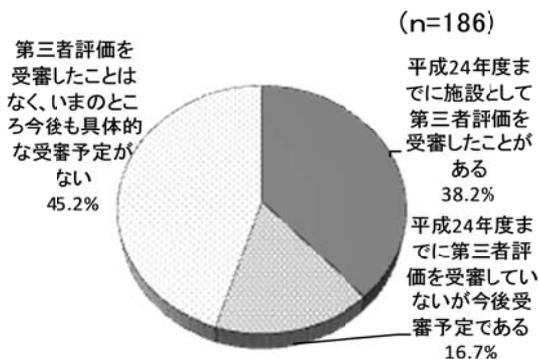
※複数回答施設あり

### (3) 第三者評価について

受審済、受審予定施設の合計は5割を超えており、前回調査(平成22年度)と比較して1割強増加している。

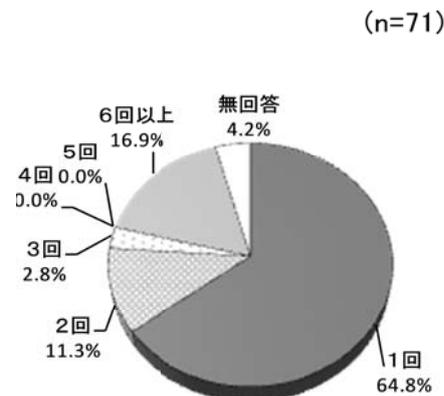
受審済施設の3割強は複数回受審している。

	施設数	割合
平成24年度までに施設として第三者評価を受審したことがある	71	38.2%
平成24年度までに第三者評価を受審していないが今後受審予定である	31	16.7%
第三者評価を受審したことはなく、いまのところ今後も具体的な受審予定がない	84	45.2%
合計	186	100.0%



#### ■ 第三者評価を受審したことがある施設の受審回数

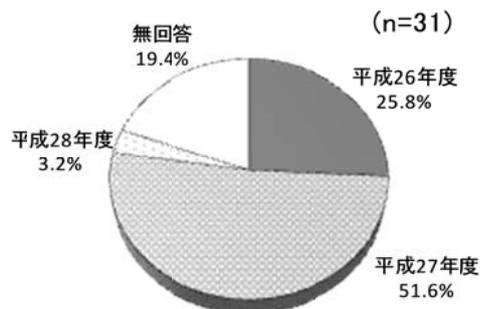
	施設数	割合
1回	46	64.8%
2回	8	11.3%
3回	2	2.8%
4回	0	0.0%
5回	0	0.0%
6回以上	12	16.9%
無回答	3	4.2%
合計	71	100.0%



平均	2.6回
最大	15回

#### ■ 今後受審予定である施設の予定年度

	施設数	割合
平成26年度	8	25.8%
平成27年度	16	51.6%
平成28年度	1	3.2%
無回答	6	19.4%
合計	31	100.0%



<受審予定がない理由（主な内容）>

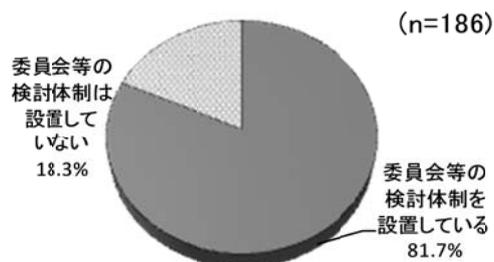
- ・ 資金的負担。
- ・ 予算的、時間的に難しい。
- ・ 指定管理制度での運営により、予算が決められているため。 ※行政より評価の実施有
- ・ 法人本部から第三者評価の受審の指示及び意向が出されていないため。
- ・ 補助制度がないため（児童養護施設などは補助制度がある）。
- ・ ISO9001 認証取得しており、必要性を感じないため。

## 7. リスクマネジメントの取り組み状況

### (1) リスクマネジメントに関する検討体制について

委員会等の検討体制を設置している施設は全体の8割強を占めている。前回調査(平成22年度)での設置施設数/割合が147施設/78.6%であり、わずかながらリスクマネジメントに取り組む施設数及び割合が増加している。

	施設数	割合
委員会等の検討体制を設置している	152	81.7%
委員会等の検討体制は設置していない	34	18.3%
合計	186	100.0%



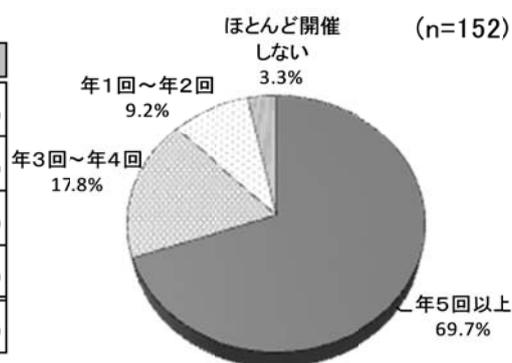
#### <設置していない主な理由>

- ・ 委員会は設置していないが、随時主任会議において検討会を開催している。
- ・ 事故防止委員会を設置して対応している。
- ・ 職員全体会議や支援会議等で対処、検討している。
- ・ 委員会は設置していないが、利用者支援会議で検討している。
- ・ 防災安全委員会が兼務。しかし事故報告書の改善案施行の監視をするのみで積極的な活動には至っていない。

### (2) 委員会・検討会の開催間隔

委員会等を設置している施設の約7割で、年5回以上委員会等が開催されている。

	施設数	割合
年5回以上	106	69.7%
年3回～年4回	27	17.8%
年1回～年2回	14	9.2%
ほとんど開催しない	5	3.3%
合計	152	100.0%



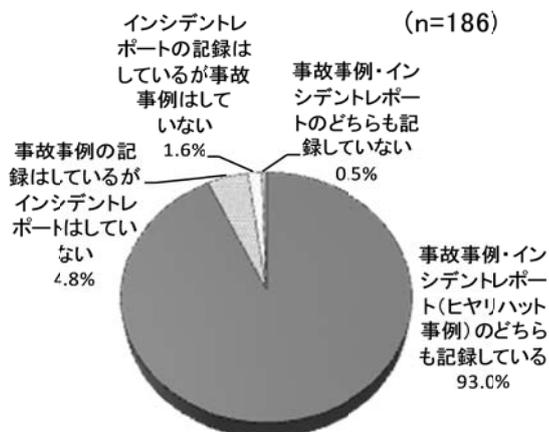
#### <開催しない主な理由>

- ・ リスクの内容によって開催。必要がある事例については、検討会を実施している。

(3) 事例収集の実施について

9割強の施設が事故事例・インシデントレポート(ヒヤリハット事例)のどちらも記録している。

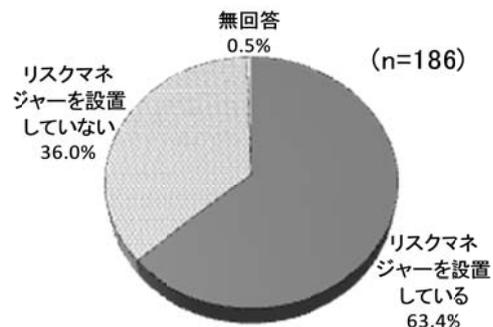
	施設数	割合
事故事例・インシデントレポート(ヒヤリハット事例)のどちらも記録している	173	93.0%
事故事例の記録はしているがインシデントレポートはしていない	9	4.8%
インシデントレポートの記録はしているが事故事例はしていない	3	1.6%
事故事例・インシデントレポートのどちらも記録していない	1	0.5%
合計	186	100.0%



(4) リスクマネジャー(リスクマネジメント推進担当者)の設置について

リスクマネジメントの推進役であるリスクマネジャーを6割強の施設が設置している。

	施設数	割合
リスクマネジャーを設置している	118	63.4%
リスクマネジャーを設置していない	67	36.0%
無回答	1	0.5%
合計	186	100.0%



(5) リスクマネジャーの該当職種

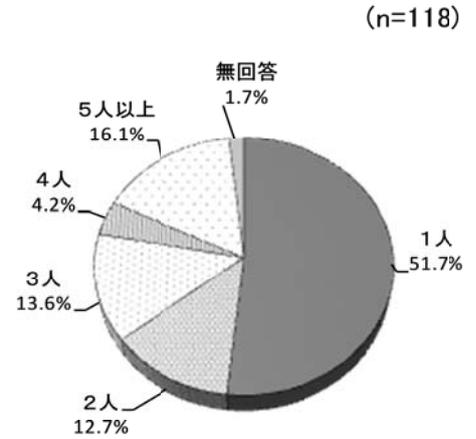
全体の半数程度の施設がリスクマネジャーを複数設置している。

リスクマネジャーの職種では介護職員、指導員の割合が高い。

■人数

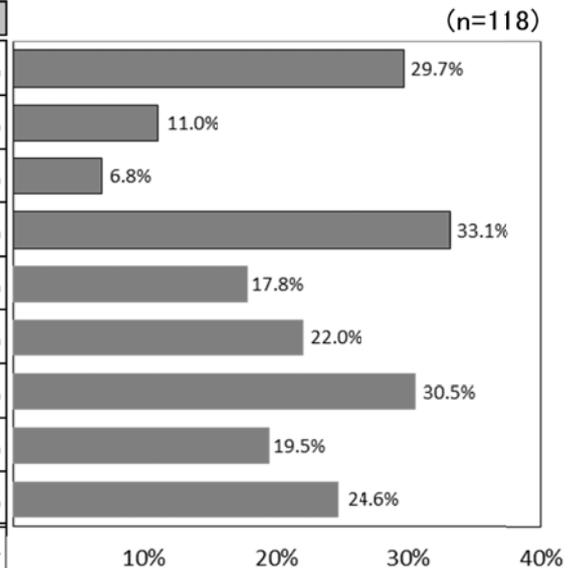
	施設数	割合
1人	61	51.7%
2人	15	12.7%
3人	16	13.6%
4人	5	4.2%
5人以上	19	16.1%
無回答	2	1.7%
合計	118	100.0%

平均	2.5人
最大	12人



■職種

	施設数	割合
施設長	35	29.7%
副施設長	13	11.0%
事務長	8	6.8%
主任指導員	39	33.1%
主任介護職員	21	17.8%
指導員	26	22.0%
介護職員	36	30.5%
看護師	23	19.5%
その他	29	24.6%
有効回答施設数	118	-



※複数回答施設あり

<その他の主な内容>

- ・ 栄養士、管理栄養士
- ・ 総括援助専門員
- ・ 業務課長、支援課長
- ・ 援助係長
- ・ 相談支援課長、生活支援員のリーダー

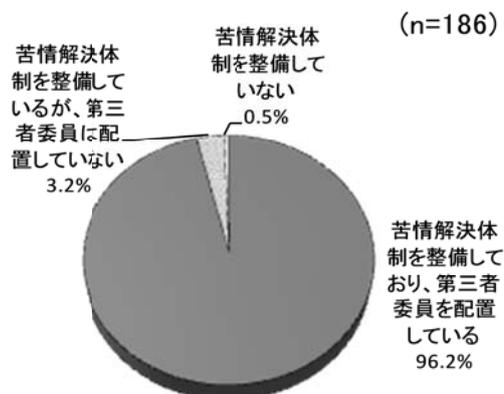
## 8. 苦情解決の取り組み状況

### (1) 苦情解決体制について

前回同様ほとんどの施設で苦情解決体制が整備されており、第三者委員も配置されている。

(なお、整備していない施設は平成 26 年には整備しており、第三者委員を配置している。)

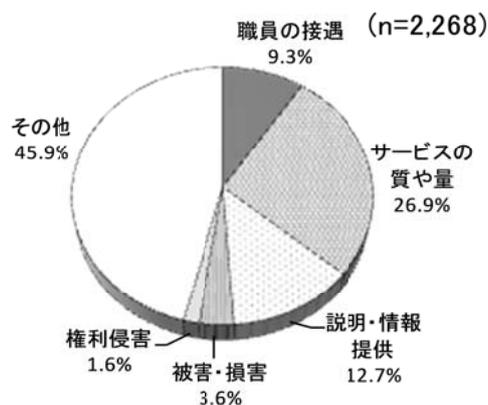
	施設数	割合
苦情解決体制を整備しており、第三者委員を配置している	179	96.2%
苦情解決体制を整備しているが、第三者委員は配置していない	6	3.2%
苦情解決体制を整備していない	1	0.5%
合計	186	100.0%



### (2) 苦情件数について（平成 24 年度実績）

最も多い苦情は「サービスの質や量」に関するものであったが、全体の 27.8%を占めていた前回調査(平成 22 年度)と比較して減少している。一方、「説明・情報提供」に関する苦情は前回調査(平成 22 年度)では 158 件で全体に占める割合が 6.7%であったが、今回の調査では 288 件で 12.7%と約 2 倍程度に増加している。

	件数	割合
職員の接遇	211	9.3%
サービスの質や量	610	26.9%
説明・情報提供	288	12.7%
被害・損害	81	3.6%
権利侵害	36	1.6%
その他	1,042	45.9%
合計	2,268	100.0%



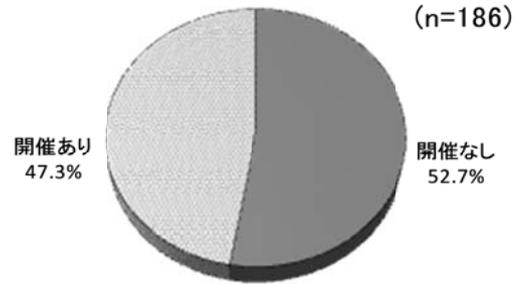
#### <その他の主な内容>

- ・施設設備・空間などのハード面に関する事項
- ・預かり金・物品の所持・管理に関する事項
- ・利用者間のトラブル等に関する事項
- ・タバコ、アルコール等嗜好品に関する要望
- ・退所・移設の希望
- ・食事に関する要望
- ・衣類等物品の紛失
- ・外出についての要望
- ・親族・家族に関する事項

(3) 第三者委員会の開催状況

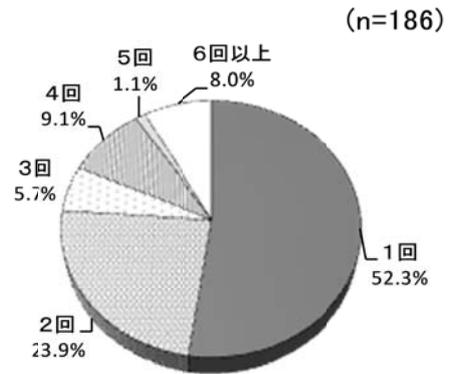
前頁(1)の回答結果から、苦情解決体制はほぼすべての施設で整備済と言える状況となっているが、実際に開催している施設は半数程度に留まっている。また開催している施設について、1回という回答が半数を占めている。

	施設数	割合
開催なし	98	52.7%
開催あり	88	47.3%
合計	186	100.0%



■回数 (平成24年度)

	施設数	割合
1回	46	52.3%
2回	21	23.9%
3回	5	5.7%
4回	8	9.1%
5回	1	1.1%
6回以上	7	8.0%
合計	88	100.0%



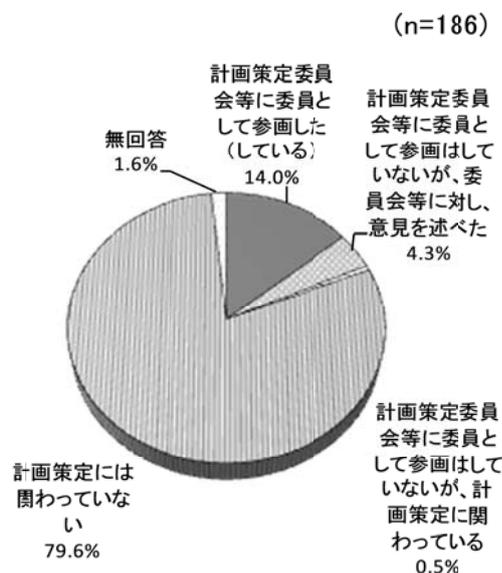
平均	2.3回
最大	12回

9. 市町村における障害福祉計画策定等への参画

(1) 施設（法人）や役職員の計画策定への参画

計画策定委員会等に委員として参画した(している)施設は、26 施設(14.0%)に留まっている。

	施設数	割合
計画策定委員会等に委員として参画した(している)	26	14.0%
計画策定委員会等に委員として参画はしていないが、委員会等に対し、意見を述べた	8	4.3%
計画策定委員会等に委員として参画はしていないが、計画策定に関わっている	1	0.5%
計画策定には関わっていない	148	79.6%
無回答	3	1.6%
合計	186	100.0%



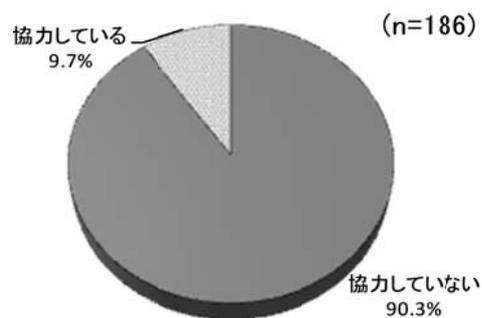
<委員会等に参画していないが、計画策定に関わっている内容>

- ・パブリックコメントとして意見を述べた

(2) 自立支援プログラム（生活保護制度）への協力

自立支援プログラムへ協力している施設は 18 施設(9.7%)に留まっている。

	施設数	割合
協力していない	168	90.3%
協力している	18	9.7%
無回答	0	0.0%
合計	186	100.0%



<自立支援プログラムに協力している主な内容>

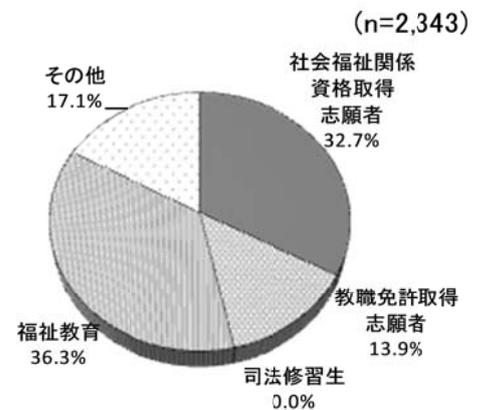
- ・ホームレス、困窮者へ就労支援
- ・一時入所事業、通所事業
- ・施設内社会復帰訓練室による訓練、地域作業所通所
- ・就労支援活用プログラム
- ・居宅生活訓練事業
- ・地域生活支援
- ・就労自立・社会生活自立
- ・地域の生保受給の障害者の方への生活支援
- ・生活保護受給者等就労自立促進事業
- ・精神障害者退院支援プログラム
- ・居宅生活移行支援事業
- ・地域生活移行支援

## 10. 実習者（見学者をのぞく）の受入実績

### 平成24年度中に受け入れた実習者の実人員

平成24年度に受け入れた実習者は2,343人にのぼる。社会福祉関係資格取得志願者の他にも幅広く受け入れている。

	受入数	割合
社会福祉関係資格取得志願者	767	32.7%
教職免許取得志願者	325	13.9%
司法修習生	0	0.0%
福祉教育	851	36.3%
その他	400	17.1%
合計	2,343	100.0%



#### <その他の主な内容>

- ・ 職場体験（中学、高校）
- ・ 大学生（インターンシップ、実習、等）
- ・ 国・自治体職員
- ・ 社協職員
- ・ 看護学生、福祉専門学生
- ・ 栄養士
- ・ 調理師
- ・ 歯科衛生実習

## 1.1. ボランティアの受入実績

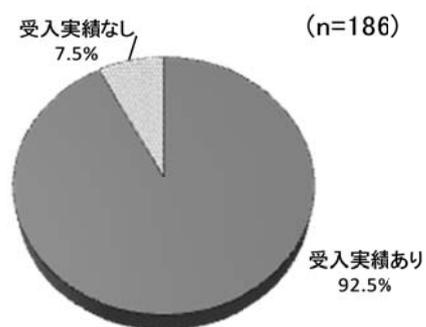
### 平成 24 年度中に受け入れたボランティアの延べ人数

平成 24 年度は全体の 9 割を超える 172 施設がボランティアの受け入れを行っており、受け入れの延べ人数は 27,761 人にのぼった。

また、定期的に活動するボランティアがいると回答した施設は 127 施設 (73.8%)、イベントの時など随時活動するボランティアがいると回答した施設は 140 施設 (81.4%) となっている。

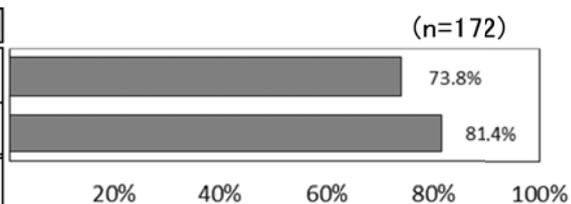
	施設数	割合
受入実績あり	172	92.5%
受入実績なし	14	7.5%
合計	186	100.0%

1年間の延べ人数	27,761人
受入実績のある施設の平均	161人



	施設数	割合
定期的に活動するボランティアがいる	127	73.8%
イベントの時活動するボランティアがいる	140	81.4%
有効回答施設数	172	—

※複数回答施設あり

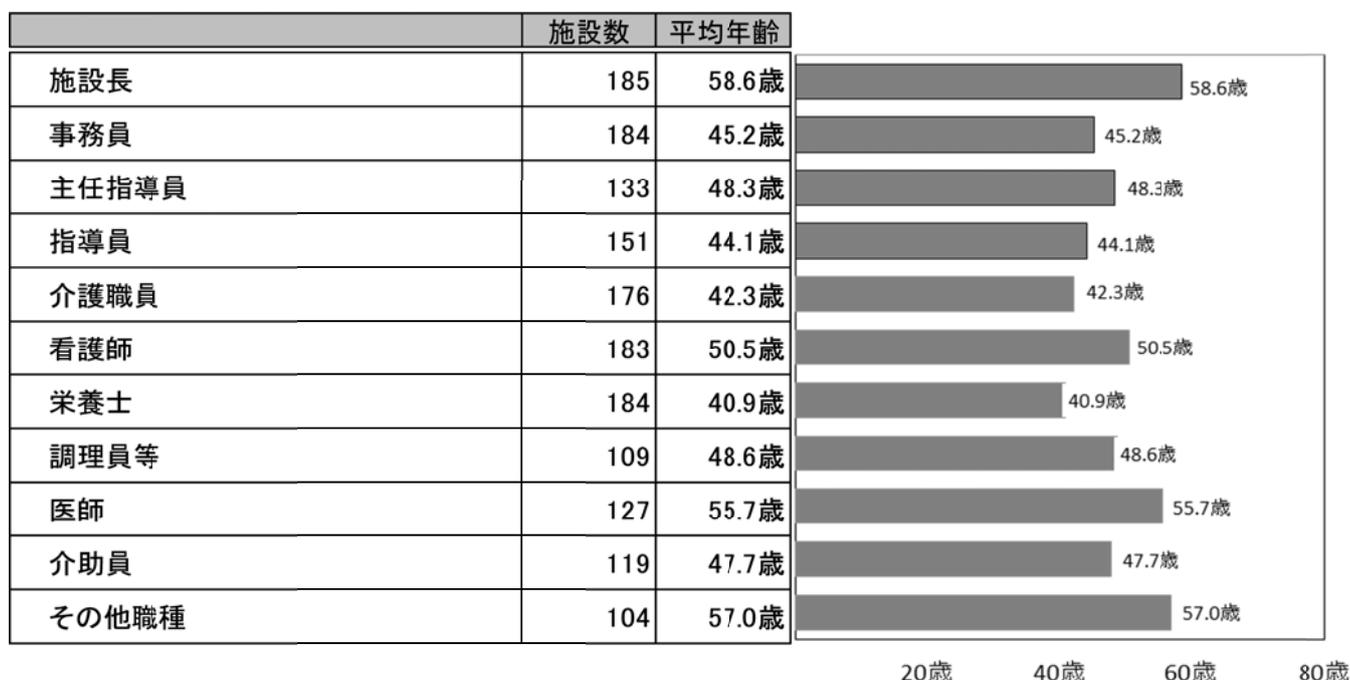


## 12. 職員の状況

### (1) 施設の職員について

#### ① 職種別平均年齢

「施設長」「看護師」「医師」「その他の職種」の平均年齢が50歳代であり、それ以外の職種では40歳代となっている。前回調査(平成22年度)と比較して大きな傾向の変化は見られない。



#### ② 職種別平均勤続年数

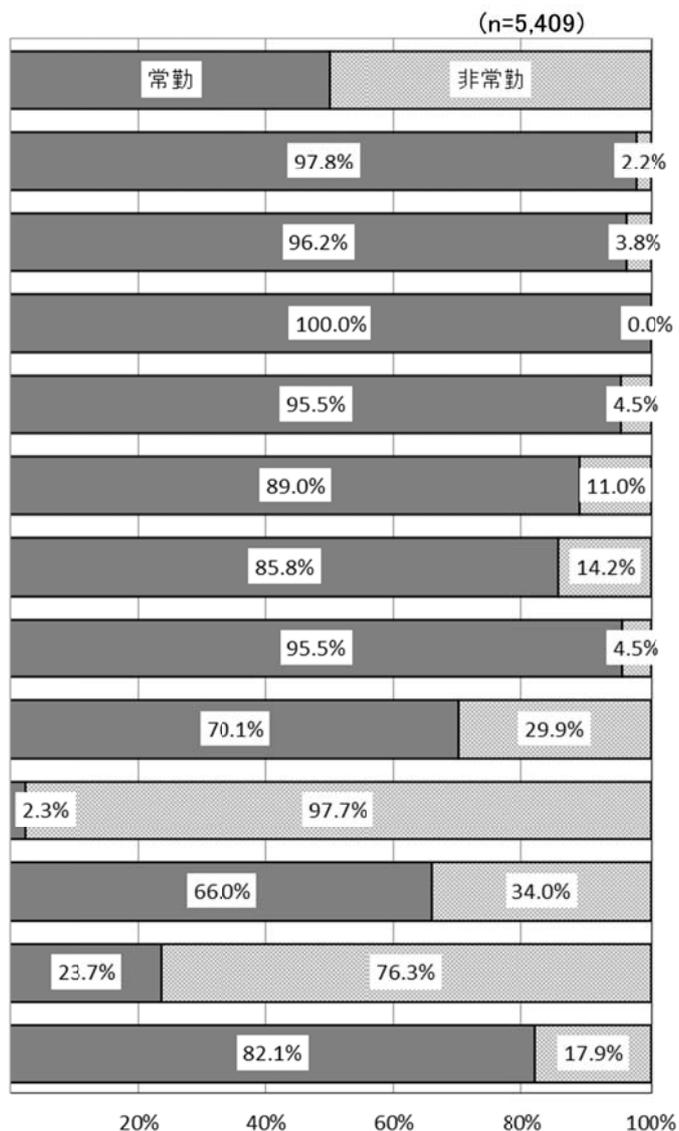
「施設長」「主任指導員」の平均勤続年数が20.2年と最も長くなっている。前回調査(平成22年度)と比較して傾向に大きな変化は見られない。



③ 職種別人員配置状況

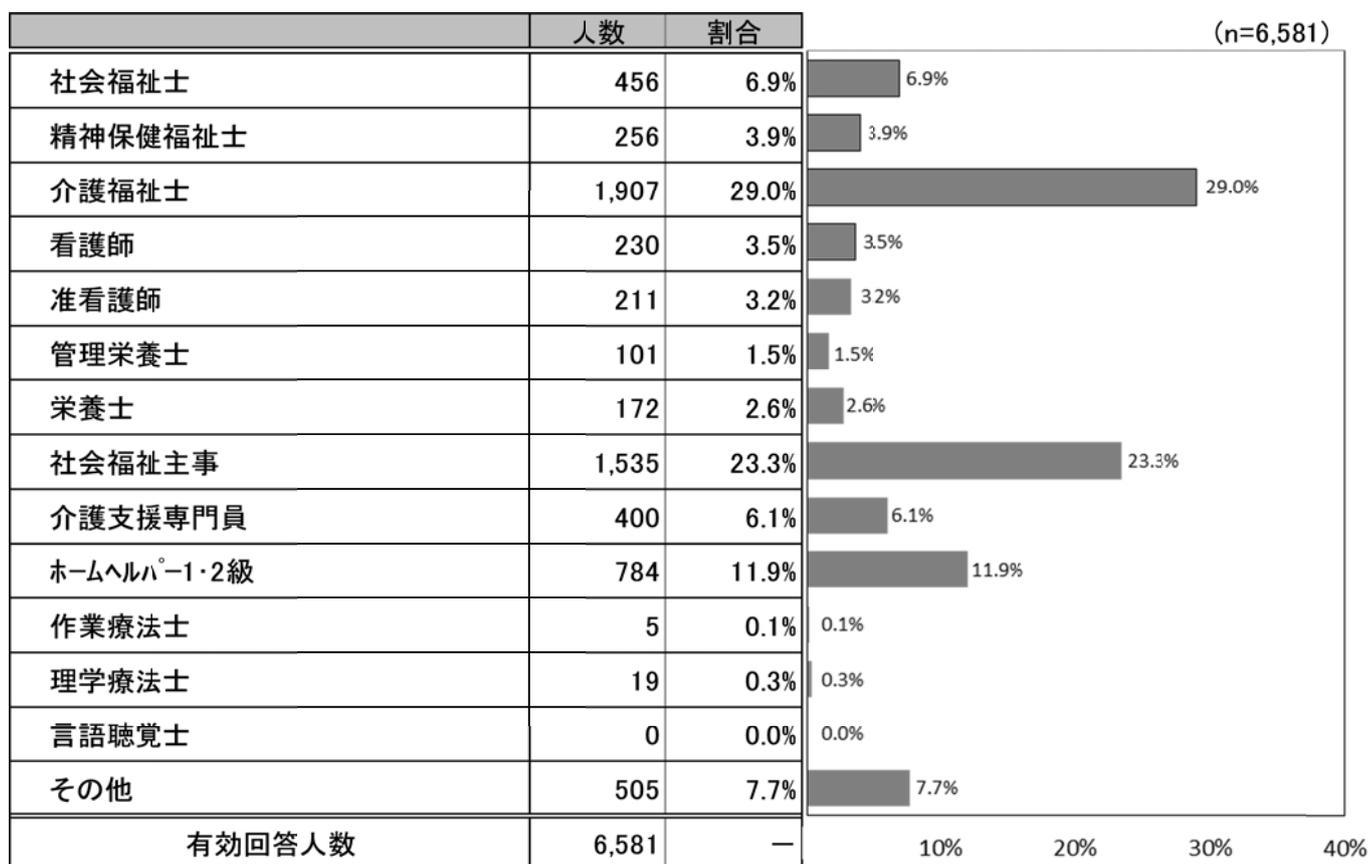
全職種で見ると常勤の割合は82.1%と高い。

	常勤	非常勤	合計	常勤 換算
施設長	182	4	186	180.9
%	97.8%	2.2%	100.0%	
事務員	404	16	420	408.2
%	96.2%	3.8%	100.0%	
主任指導員	162	0	162	162.0
%	100.0%	0.0%	100.0%	
指導員	483	23	506	471.2
%	95.5%	4.5%	100.0%	
介護職員	2,991	370	3,361	3,048.8
%	89.0%	11.0%	100.0%	
看護師	356	59	415	378.1
%	85.8%	14.2%	100.0%	
栄養士	190	9	199	192.6
%	95.5%	4.5%	100.0%	
調理員等	463	197	660	545.0
%	70.1%	29.9%	100.0%	
医師	5	213	218	23.2
%	2.3%	97.7%	100.0%	
介助員	99	51	150	131.9
%	66.0%	34.0%	100.0%	
その他職種	74	239	313	179.3
%	23.7%	76.3%	100.0%	
合計	5,409	1,181	6,590	5,721.0
%	82.1%	17.9%	100.0%	



④ 取得資格

上位は介護福祉士(29.0%)、社会福祉主事(23.3%)であり、前回調査(平成 22 年度)と比較して傾向に大きな変化は見られない。



※複数回答あり

⑤ 職種別取得資格

各職種の資格取得状況は下表の通りとなっている。

	施設長	事務員	主任指導員	指導員	介護職員	看護師	栄養士	調理員等	医師	介助員	その他職種
職員数	186	420	162	506	3,361	415	199	660	218	150	313
社会福祉士	28 15.1%	31 7.4%	42 25.9%	111 21.9%	226 6.7%	6 1.4%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 3.5%
精神保健福祉士	12 6.5%	9 2.1%	24 14.8%	77 15.2%	111 3.3%	8 1.9%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 4.5%
介護福祉士	26 14.0%	38 9.0%	58 35.8%	135 26.7%	1,585 47.2%	5 1.2%	2 1.0%	12 1.8%	0 0.0%	25 16.7%	21 6.7%
看護師	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%	0 0.0%	15 0.4%	212 51.1%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%
准看護師	2 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 0.3%	193 46.5%	3 1.5%	2 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%
管理栄養士	0 0.0%	2 0.5%	0 0.0%	1 0.2%	1 0.0%	0 0.0%	91 45.7%	6 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
栄養士	1 0.5%	1 0.2%	1 0.6%	1 0.2%	19 0.6%	0 0.0%	121 60.8%	26 3.9%	0 0.0%	1 0.7%	1 0.3%
社会福祉主事	108 58.1%	138 32.9%	104 64.2%	234 46.2%	878 26.1%	17 4.1%	4 2.0%	11 1.7%	0 0.0%	16 10.7%	25 8.0%
介護支援専門員	25 13.4%	23 5.5%	28 17.3%	52 10.3%	203 6.0%	54 13.0%	3 1.5%	2 0.3%	0 0.0%	3 2.0%	7 2.2%
ホームヘルパー1・2級	0 0.0%	28 6.7%	12 7.4%	22 4.3%	654 19.5%	2 0.5%	3 1.5%	28 4.2%	0 0.0%	22 14.7%	13 4.2%
作業療法士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.2%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.0%
理学療法士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	19 6.1%
言語聴覚士	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	20 10.8%	33 7.9%	13 8.0%	33 6.5%	117 3.5%	12 2.9%	10 5.0%	205 31.0%	48 22.0%	3 2.0%	11 3.5%

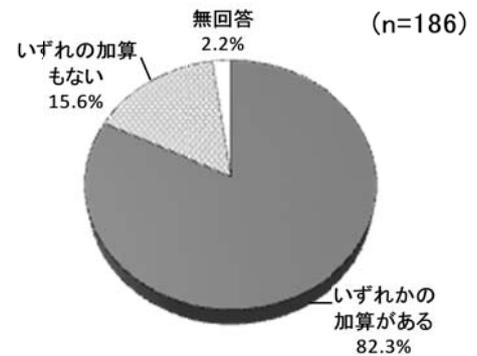
(2) 加算による配置状況

① 看護師・指導員・介護職員・精神保健福祉士加算の状況

いずれかの加算があると回答した施設は 153 施設(82.3%)と前回より 9 施設増加している。

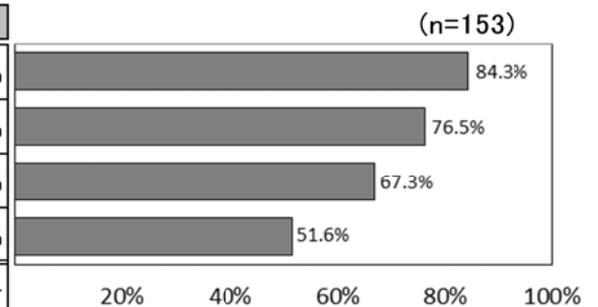
加算の内容は看護師加算が最も多く、平成 23 年度から創設された精神保健福祉士加算を受けている施設も半数強に上っている。

	施設数	割合
いずれかの加算がある	153	82.3%
いずれの加算もない	29	15.6%
無回答	4	2.2%
合計	186	100.0%



② 加算の内容

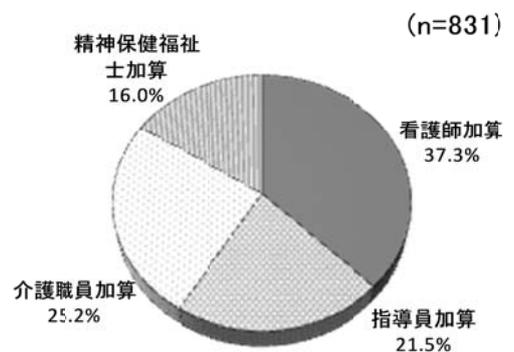
	施設数	割合
看護師加算	129	84.3%
指導員加算	117	76.5%
介護職員加算	103	67.3%
精神保健福祉士加算	79	51.6%
有効回答施設数	153	-



※複数回答施設あり

③ 加算による職員配置人数

	人数	割合
看護師加算	310	37.3%
指導員加算	179	21.5%
介護職員加算	209	25.2%
精神保健福祉士加算	133	16.0%
合計	831	100.0%

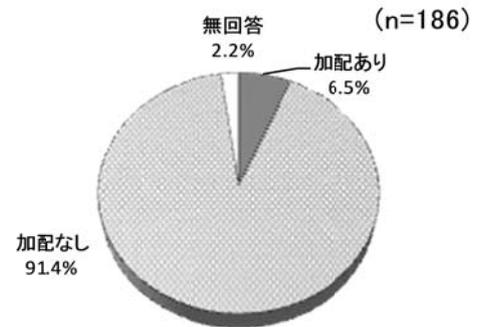


(3) 自治体の独自制度による加算の状況

① 自治体による加配の状況

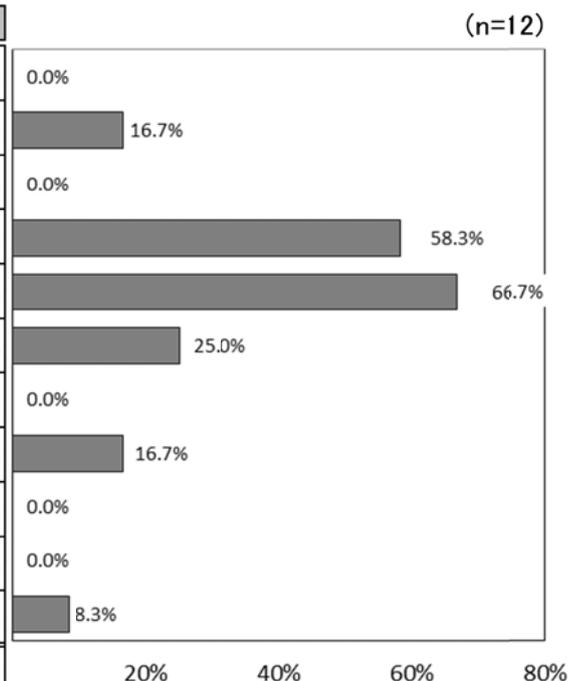
自治体による独自の加配があると回答した施設は12施設と前回の33施設から大きく減少した。  
 加配の内容は前回調査(平成22年度)と同様に介護職員、指導員に対するものが割合として多く、  
 全体としては75人が加配により配置されている。

	施設数	割合
加配あり	12	6.5%
加配なし	170	91.4%
無回答	4	2.2%
合計	186	100.0%



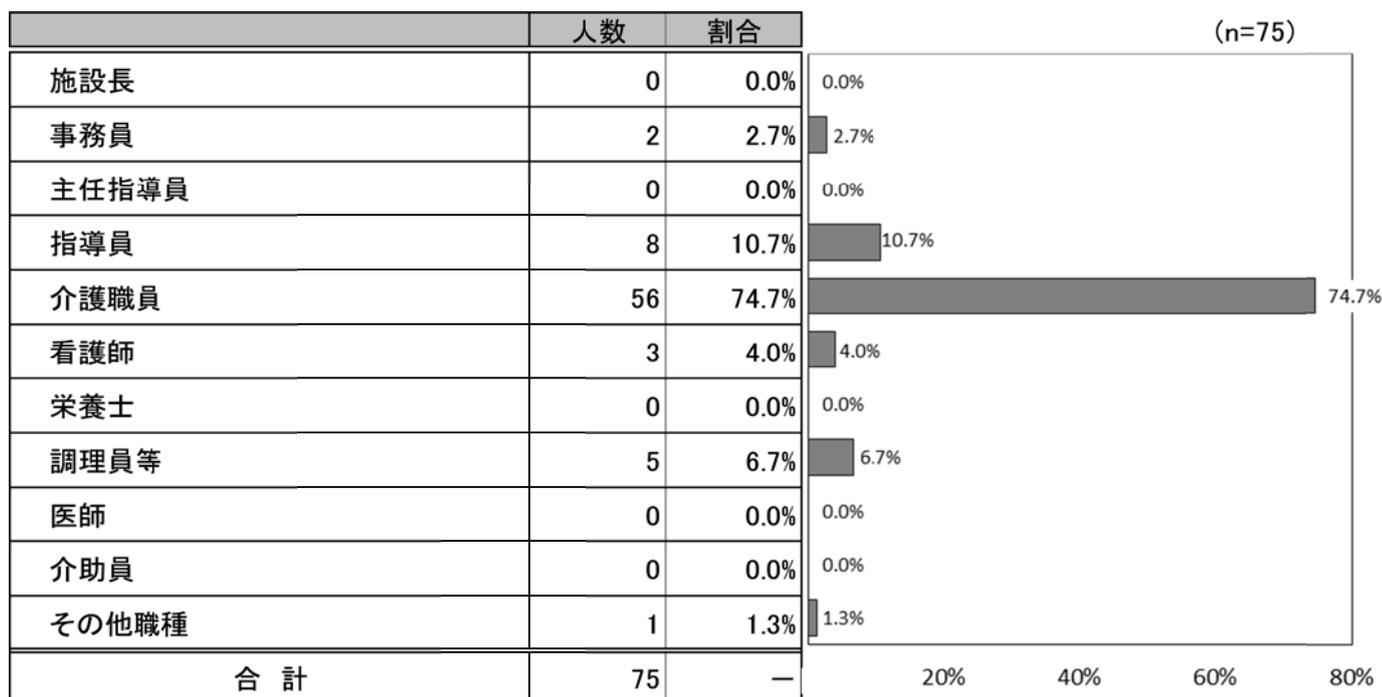
② 加配の内容

	施設数	割合
施設長	0	0.0%
事務員	2	16.7%
主任指導員	0	0.0%
指導員	7	58.3%
介護職員	8	66.7%
看護師	3	25.0%
栄養士	0	0.0%
調理員等	2	16.7%
医師	0	0.0%
介助員	0	0.0%
その他職種	1	8.3%
施設数	12	-



※複数回答施設あり

③ 加配人数



(4) 生活指導員、介護職員、看護師（准看護師）の最低基準充足率

最低基準充足率は 100.4%となっており、前回調査(平成 22 年度)の 115.3%と大きく下回ったものの、最低基準は上回っている。

総数(常勤換算)	4,060 人
加算、加配を除く人数	3,154 人
現員÷5.4	3,140 人
充足率	100.4 %

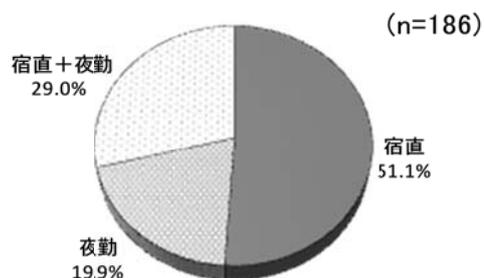
参考:最低基準との比較

生活指導員、介護職員、看護師または准看護師の総数は、概ね入所者の数を「5.4」で除して得た数以上とする

### 13. 夜間の勤務体制について

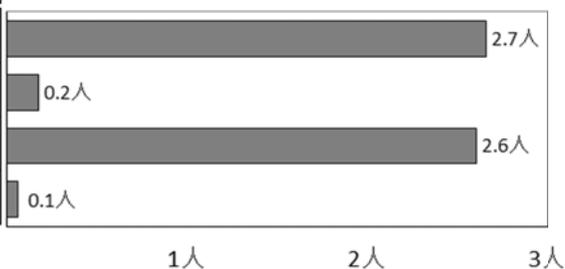
夜勤および宿直+夜勤の合計の割合は 48.9%となっている。前回調査(平成 22 年度)の 44.9%と比べて約 5%増加しており、手厚い夜間の勤務体制を敷く施設が増加したことが分かる。

	施設数	割合
宿直	95	51.1%
夜勤	37	19.9%
宿直+夜勤	54	29.0%
合計	186	100.0%



#### ■人数

	人数計	1施設平均
宿直	396	2.7人
>うち業務委託	26	0.2人
夜勤	237	2.6人
>うち業務委託	6	0.1人

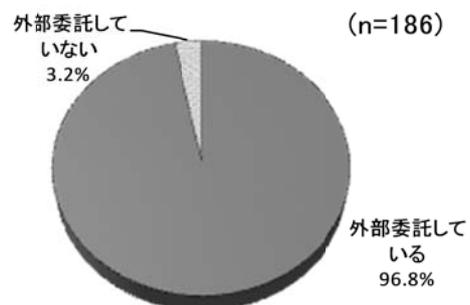


#### 1.4. 民間業者等への業務委託等

全体の96.8%の施設が業務の外部委託をしている。前回調査(平成22年度)では外部委託をしている施設は92.5%であったため、さらに外部委託が進んだことがわかる。

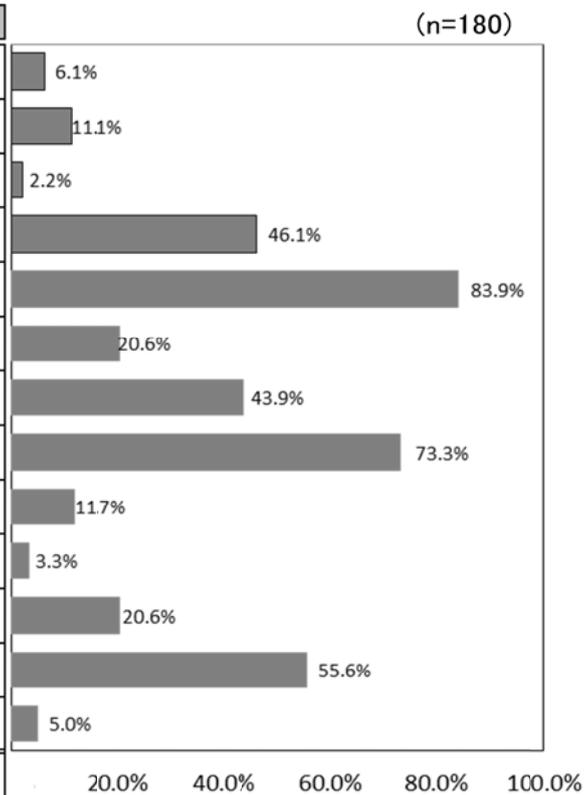
委託内容の傾向については、前回調査(平成22年度)と大きな変化は見られない。

	施設数	割合
外部委託している	180	96.8%
外部委託していない	6	3.2%
合計	186	100.0%



#### ■委託内容

	施設数	割合
給与事務関係	11	6.1%
会社事務関係	20	11.1%
移送(運転)業務関係	4	2.2%
給食関係	83	46.1%
設備機器・器具等のメンテナンス	151	83.9%
洗濯関係	37	20.6%
施設清掃関係	79	43.9%
ゴミ処理関係	132	73.3%
宿直・当直関係	21	11.7%
夜勤関係	6	3.3%
警備関係(含むガードマン)	37	20.6%
リネン類のリース	100	55.6%
その他	9	5.0%
有効回答施設数	180	—



※複数回答施設あり

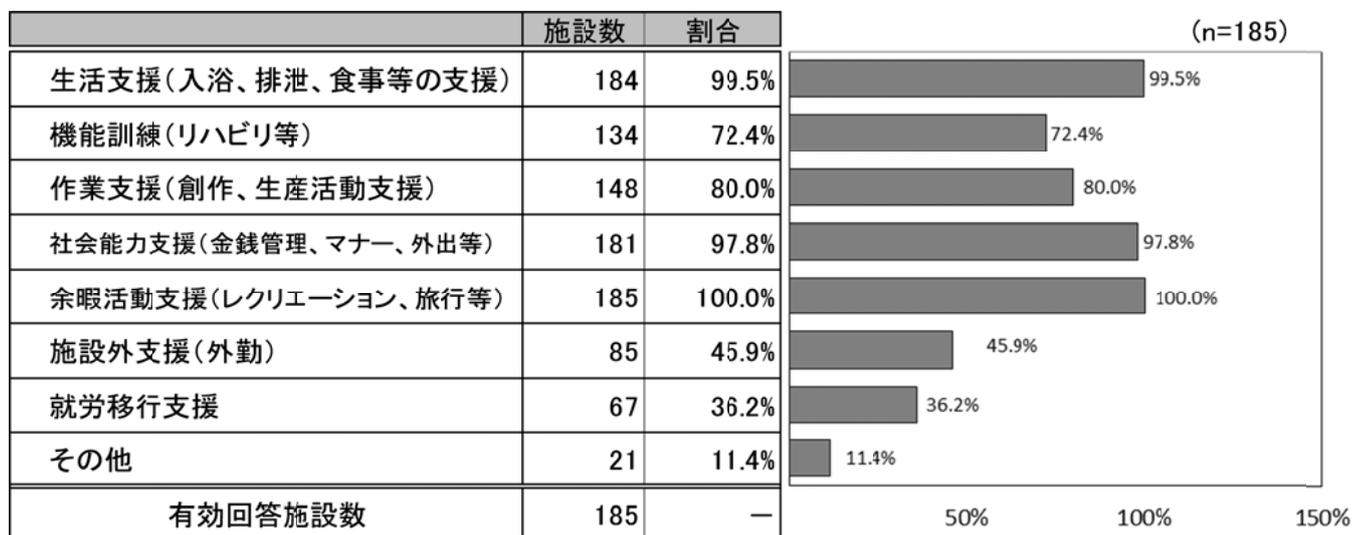
#### <その他の主な内容>

- ・パソコン(ホームページ)関係メンテナンス

## 15. 日中活動支援について

日常生活支援はもとより、利用者の自己実現や自立のための社会能力支援、余暇活動支援に多くの施設が取り組んでいる。

取り組む施設が比較的少ない施設外支援(外勤)、就労移行支援についても、前回調査(平成 22 年度)と比較すると、2~3%とわずかではあるが割合が増加している。



※複数回答施設あり

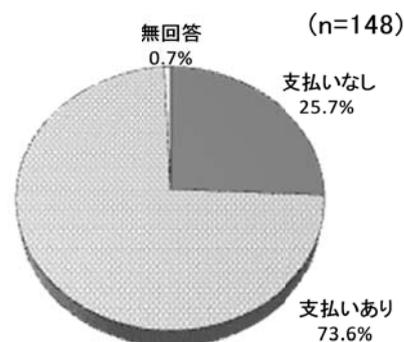
### <その他の主な内容>

- ・グループワーク(創作レク、外出など)
- ・ボランティア(奉仕活動)

### ■作業収入の還元状況

前問で作業支援を行っている施設では、作業収入の利用者への支給を 109 施設が実施している。支給額の月額平均は 3,171 円であり、前回調査(平成 22 年度)と比較して 584 円増加している。

	施設数	割合
支払いなし	38	25.7%
支払いあり	109	73.6%
無回答	1	0.7%
合計	148	100.0%



支払い人数合計	4,519人
1人あたりの支払額(月額)	3,171円

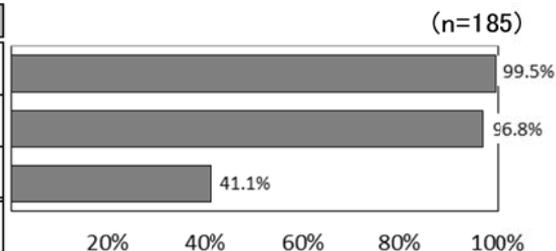
## 16. 入浴の状況について

### (1) 実施状況

自立入浴、介助入浴はいずれも 100%近い割合で実施されており、機械・特殊入浴についても 4割超の施設で行われている。

	施設数	割合
自立入浴	184	99.5%
介助入浴	179	96.8%
機械・特殊入浴	76	41.1%
有効回答施設数	185	—

※複数回答施設あり

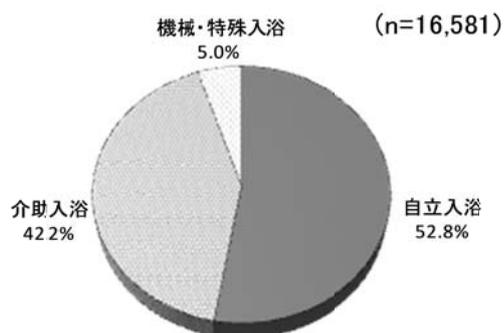


### (2) 対象人数

利用者の半数以上は自立入浴が可能である。

	人数	割合
自立入浴	8,748	52.8%
介助入浴	6,996	42.2%
機械・特殊入浴	837	5.0%
合計	16,581	100.0%

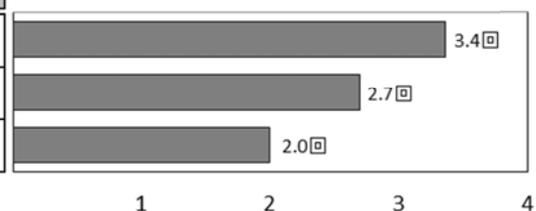
【介助、機械・特殊入浴者の割合】	47.2%
------------------	-------



### (3) 平均入浴回数、入浴日

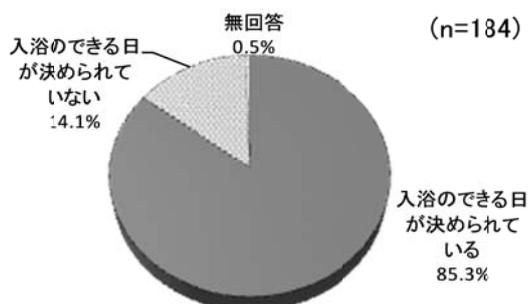
自立入浴者については、一週間の中で 4.5 日入浴できるよう準備がなされている。

	1人あたりの入浴回数(週)	浴室利用可能日数(週)
自立入浴	3.4回	4.5日
介助入浴	2.7回	—
機械・特殊入浴	2.0回	—



### ■入浴日について(自立入浴者)

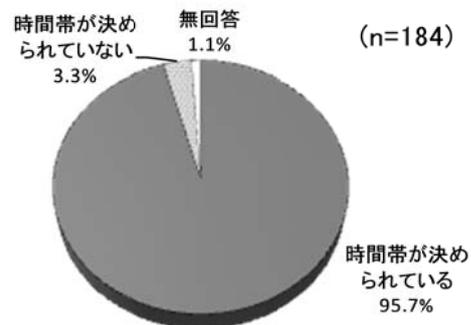
	施設数	割合
入浴のできる日が決まっている	157	85.3%
入浴のできる日が決まっていない	26	14.1%
無回答	1	0.5%
合計	184	100.0%



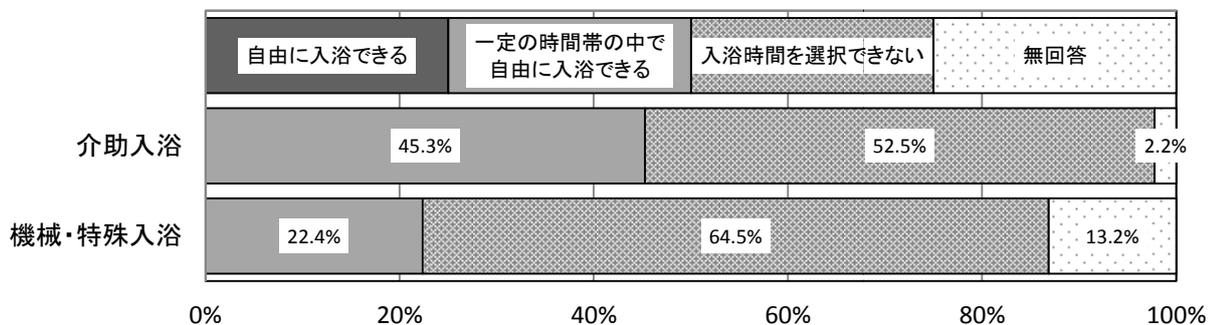
(4) 入浴時間

介助入浴、機械・特殊入浴の場合、半数程度の施設では入浴時間を選択できない状況である。

	自立入浴	
	施設数	割合
時間帯が決められている	176	95.7%
時間帯が決められていない	6	3.3%
無回答	2	1.1%
合計	184	100.0%



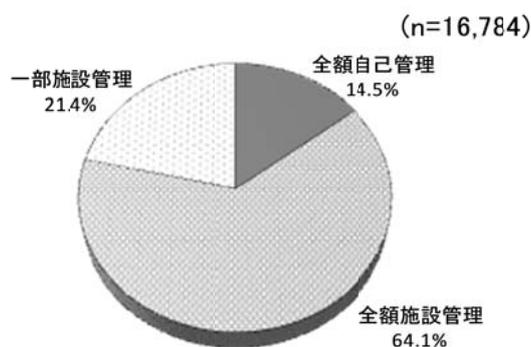
	介助入浴		機械・特殊入浴	
	施設数	割合	施設数	割合
自由に入浴できる	0	0.0%	0	0.0%
一定の時間帯の中で自由に入浴できる	81	45.3%	17	22.4%
入浴時間を選択できない	94	52.5%	49	64.5%
無回答	4	2.2%	10	13.2%
合計	179	100.0%	76	100.0%



## 17. 金銭の管理状況

全額施設管理の割合が64.1%であるが、前回調査（平成22年度）と比較すると3%程度減少している。

	人数	割合
全額自己管理	2,434	14.5%
全額施設管理	10,760	64.1%
一部施設管理	3,590	21.4%
合計	16,784	100.0%



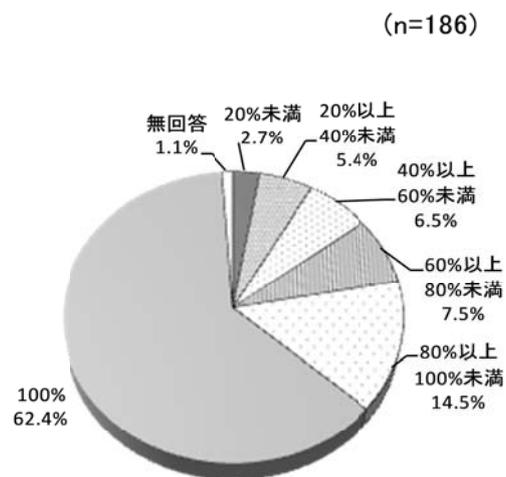
### <「一部施設管理」の管理の状況>

- ・通帳は施設で管理、小口現金のみ自己管理
- ・本人小遣いは自己管理
- ・個人のADLに合わせた金銭預かりを実施
- ・成年後見人が管理している

### ■施設による金銭管理の状況

全利用者の金銭管理を行っている施設は116施設(62.4%)となっている。

一部・全額を施設で管理している利用者の割合	施設数	割合
20%未満	5	2.7%
20%以上40%未満	10	5.4%
40%以上60%未満	12	6.5%
60%以上80%未満	14	7.5%
80%以上100%未満	27	14.5%
100%	116	62.4%
無回答	2	1.1%
合計	186	100.0%



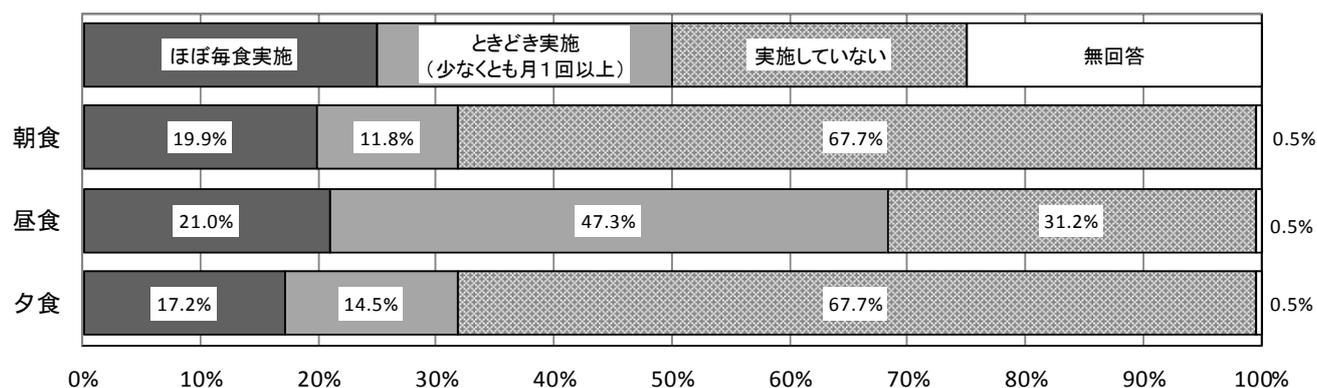
平均	85.5%
----	-------

## 18. 食事の提供について

### (1) 利用者メニュー選択の状況

メニュー選択の実施は昼食が中心であり、7割近くの施設が実施している。一方、朝食・夕食について、メニュー選択を実施している施設は3割程度であるが、前回調査(平成22年度)と比較すると、ともに10%程度割合が増加しており、メニュー選択に取り組む施設が増加していることが分かる。

	朝食		昼食		夕食	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
ほぼ毎食実施	37	19.9%	39	21.0%	32	17.2%
ときどき実施(少なくとも月1回以上)	22	11.8%	88	47.3%	27	14.5%
実施していない	126	67.7%	58	31.2%	126	67.7%
無回答	1	0.5%	1	0.5%	1	0.5%
合計	186	100.0%	186	100.0%	186	100.0%

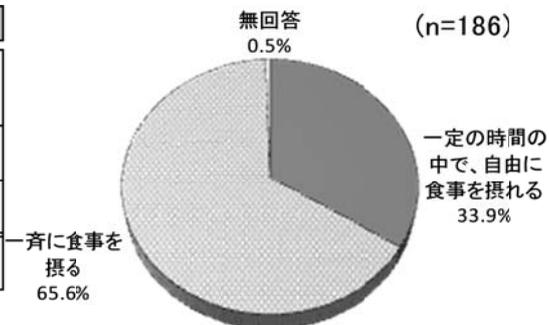


(2) 食事時間の選択状況

① 一定の時間の中で、自由に食事を摂れるか否か

一斉に食事を摂る施設は 122 施設であり、全体の 7 割弱を占めるが、前回調査(平成 22 年度)と比較すると 5%程度割合が減少している。

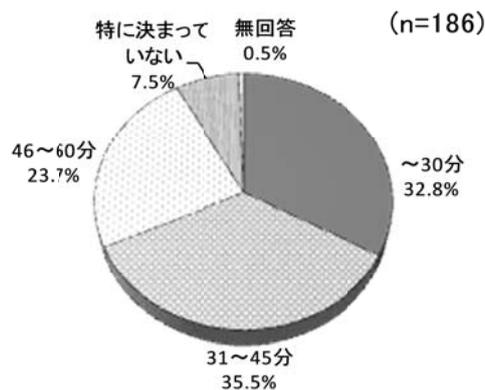
	施設数	割合
一定の時間の中で、自由に食事を摂れる	63	33.9%
一斉に食事を摂る	122	65.6%
無回答	1	0.5%
合計	186	100.0%



② 食事時間（食事として決められている時間）

最も多くの施設が回答した区分は 31～45 分であり、35.5%となっている。

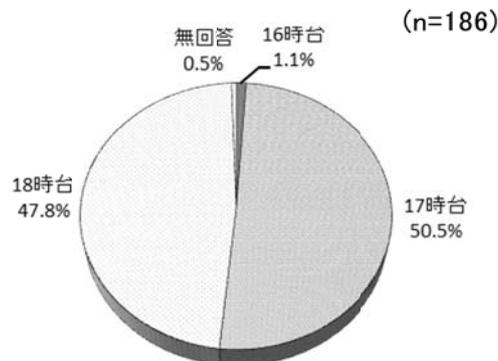
	施設数	割合
～30分	61	32.8%
31～45分	66	35.5%
46～60分	44	23.7%
特に決まっていない	14	7.5%
無回答	1	0.5%
合計	186	100.0%



③ 夕食の食事開始時間

17 時台、18 時台の両区分で大半を占めている。

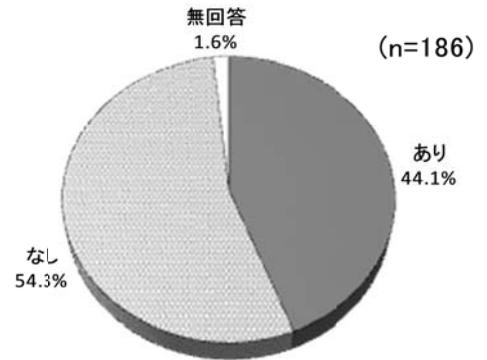
	施設数	割合
16時台	2	1.1%
17時台	94	50.5%
18時台	89	47.8%
無回答	1	0.5%
合計	186	100.0%



#### ④ 業務委託の有無

調理を外部に業務委託している施設は4割強を占めている。

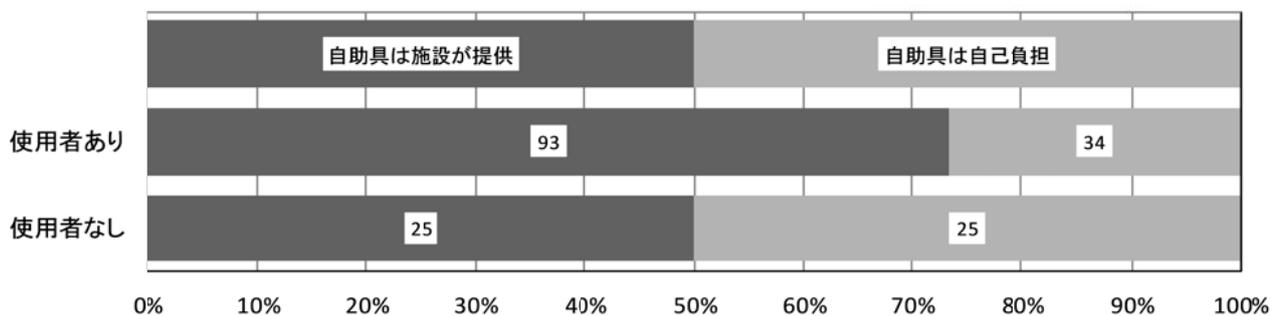
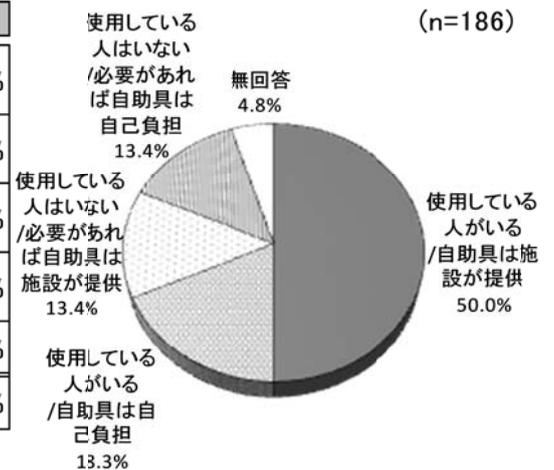
	施設数	割合
あり	82	44.1%
なし	101	54.3%
無回答	3	1.6%
合計	186	100.0%



#### (3) 食食用自助具の状況

7割程度の施設に食食用自助具を使用する利用者がいる。

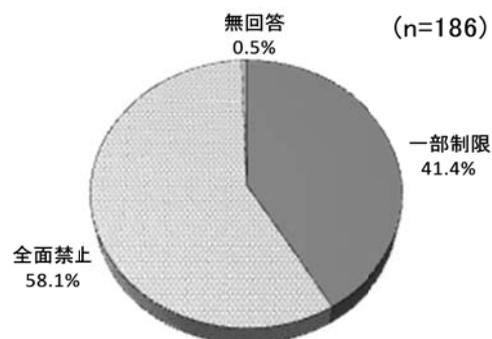
	施設数	割合
使用している人がいる /自助具は施設が提供	93	50.0%
使用している人がいる /自助具は自己負担	34	18.3%
使用している人はいない /必要があれば自助具は施設が提供	25	13.4%
使用している人はいない /必要があれば自助具は自己負担	25	13.4%
無回答	9	4.8%
合計	186	100.0%



#### (4) アルコール類飲酒状況とその理由

制限なしで利用者の飲酒を認める施設は無く、6割弱の施設は全面禁止としている。

	施設数	割合
制限なし	0	0.0%
一部制限	77	41.4%
全面禁止	108	58.1%
無回答	1	0.5%
合計	186	100.0%



##### <「一部制限」の主な理由>

- ・ 専門医による飲酒禁となっている利用者には提供していないが、それ以外の希望者には提供機会あり。
- ・ アルコール依存症の方も受け入れているため。
- ・ 飲酒によるトラブル発生を危惧する。
- ・ 寮内の催し時や野外生活訓練（一泊旅行）の時に提供している。

##### <「全面禁止」の主な理由>

- ・ 施設利用者の中にアルコールによる精神及び内科疾病者がいるため。
- ・ アルコール依存症を患った利用者がたいへん多くなったため。
- ・ アルコールによる利用者間のトラブル等を防止するため。
- ・ 医師から禁止されている者が複数いるため。
- ・ 健康面で（肥満、糖尿、アルコール依存症のある人に対して）の配慮から。

## 19. 医療的ケアについて

### (1) 施設外通院者数について

平成24年10月の(1か月間)

施設外通院延べ人数は26,426人、そのうち介助(同行)延べ人数は15,999人であり、介助(同行)率は60.5%にのぼる。

施設外通院延べ人数	26,426人	(有効回答 184施設)
うち介助(同行)延べ人数	15,999人	
介助(同行)率	60.5%	

### (2) 施設内での医療的ケアについて

平成24年10月1日~7日の(1週間)

施設内での医療的ケアについての状況は下表の通りとなっている。

	延べ回数	実人数	1人平均
服薬	279,407回	13,085人	21.4回
点眼	32,590回	1,511人	21.6回
点耳	404回	44人	9.2回
座薬挿入	1,553回	333人	4.7回
皮膚科処置	15,967回	2,377人	6.7回
褥瘡処置	900回	87人	10.3回
インシュリン注射	4,462回	256人	17.4回
皮下・皮内・筋肉・静脈注射	70回	56人	1.3回
点滴	25回	11人	2.3回
吸引	176回	19人	9.3回
ストマ	415回	50人	8.3回
導尿・間歇導尿	174回	22人	7.9回
留置カテーテル使用	361回	107人	3.4回
導気(排ガス)	6回	5人	1.2回
浣腸および排便	371回	233人	1.6回
経管栄養(鼻腔)	87回	4人	21.8回
経管栄養(胃ろう)	246回	19人	12.9回
中心静脈栄養	0回	0人	-
酸素吸入	66回	24人	2.8回
人工呼吸器使用	0回	0人	-
カニューレ使用	103回	3人	34.3回
ネプライザー使用	233回	9人	25.9回
採血	1,353回	553人	2.4回
検尿	378回	261人	1.4回
腹膜人工透析(CDPD)	89回	27人	3.3回

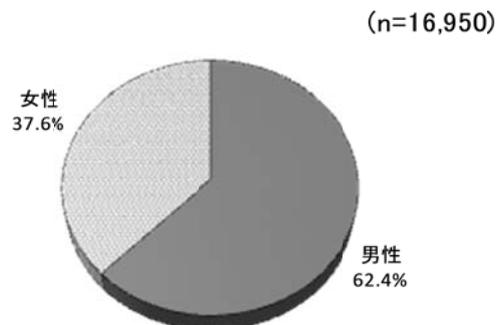
### Ⅲ. 調査結果【利用者の状況】

## 20. 基本情報

### (1) 性別

男女比は概ね3対2となっており、前回調査(平成22年度)と比較して傾向に大きな変化は見られない。

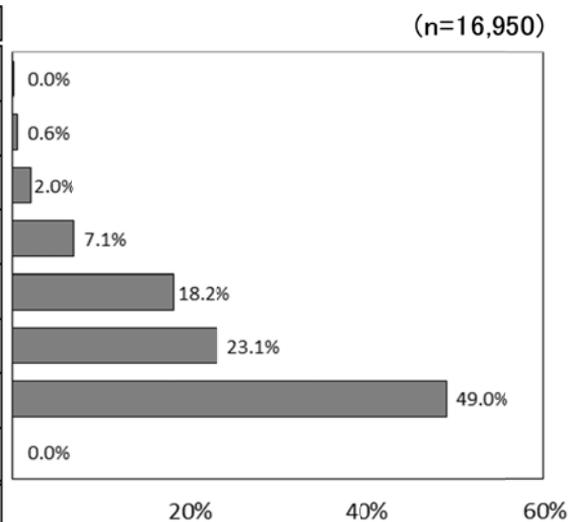
	人数	割合
男性	10,575	62.4%
女性	6,375	37.6%
無回答	0	0.0%
合計	16,950	100.0%



### (2) 年齢

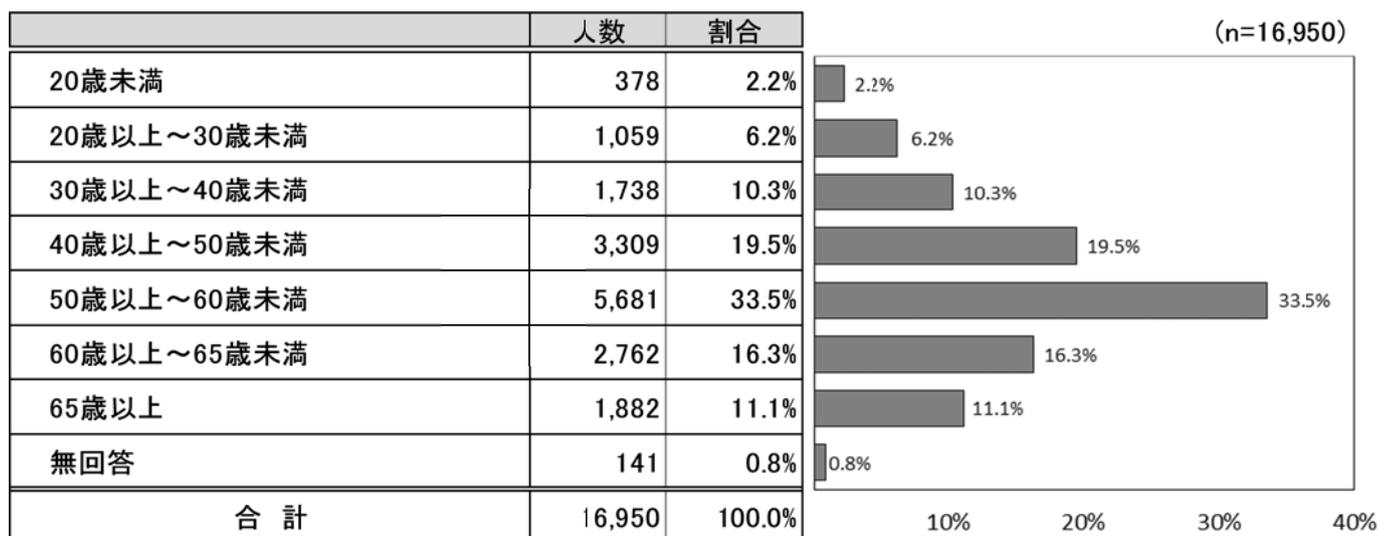
65歳以上の高齢者の割合(高齢化率)が49.0%となっている。前回調査(平成22年度)では46.8%であり、利用者の高齢化率は2.2%上昇した。

	人数	割合
20歳未満	3	0.0%
20歳以上～30歳未満	94	0.6%
30歳以上～40歳未満	340	2.0%
40歳以上～50歳未満	1,204	7.1%
50歳以上～60歳未満	3,088	18.2%
60歳以上～65歳未満	3,919	23.1%
65歳以上	8,302	49.0%
無回答	0	0.0%
合計	16,950	100.0%



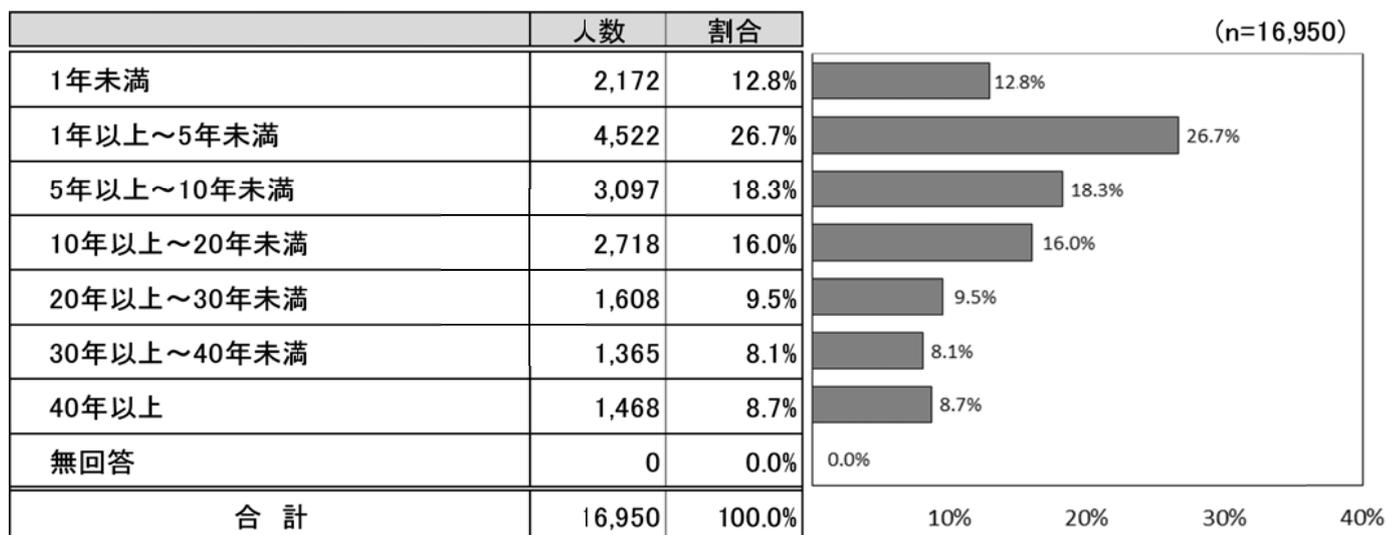
### (3) 入所時の年齢

入所時の年齢は 50 歳以上～60 歳未満が最も多い。



### (4) 入所期間

入所期間は 1 年以上～5 年未満が最も多く、5 年以上～10 年未満、10 年以上～20 年未満が続いており、前回調査(平成 22 年度)と比較して傾向に大きな変化は見られない。

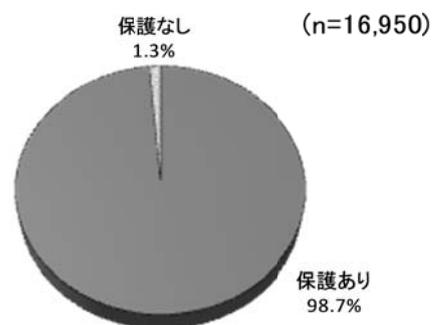


## 2 1. 入所形態の状況

### (1) 生活保護の受給の有無

全体の 98.7%の利用者が生活保護を受給している。

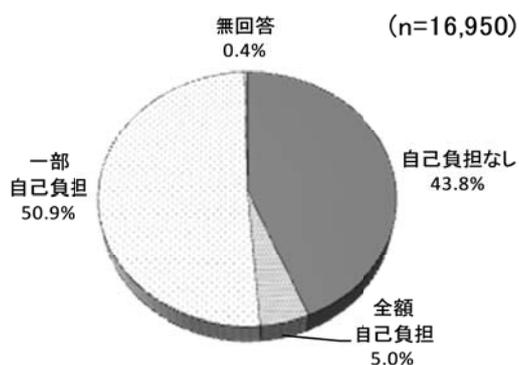
	人数	割合
保護あり	16,726	98.7%
保護なし	224	1.3%
無回答	0	0.0%
合計	16,950	100.0%



### (2) 自己負担状況

生活保護を受給している利用者が大半を占める中、半数程度は一部費用を自己負担している。

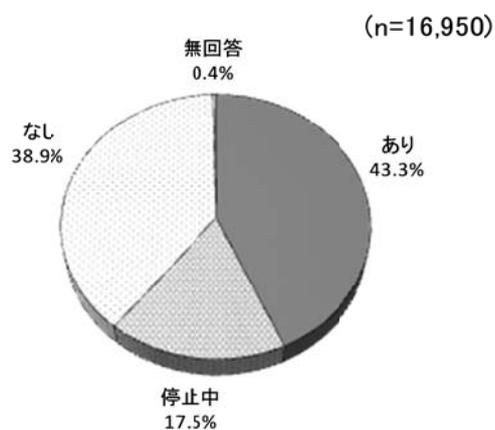
	人数	割合
自己負担なし	7,421	43.8%
全額自己負担	841	5.0%
一部自己負担	8,628	50.9%
無回答	60	0.4%
合計	16,950	100.0%



### (3) 障害者加算

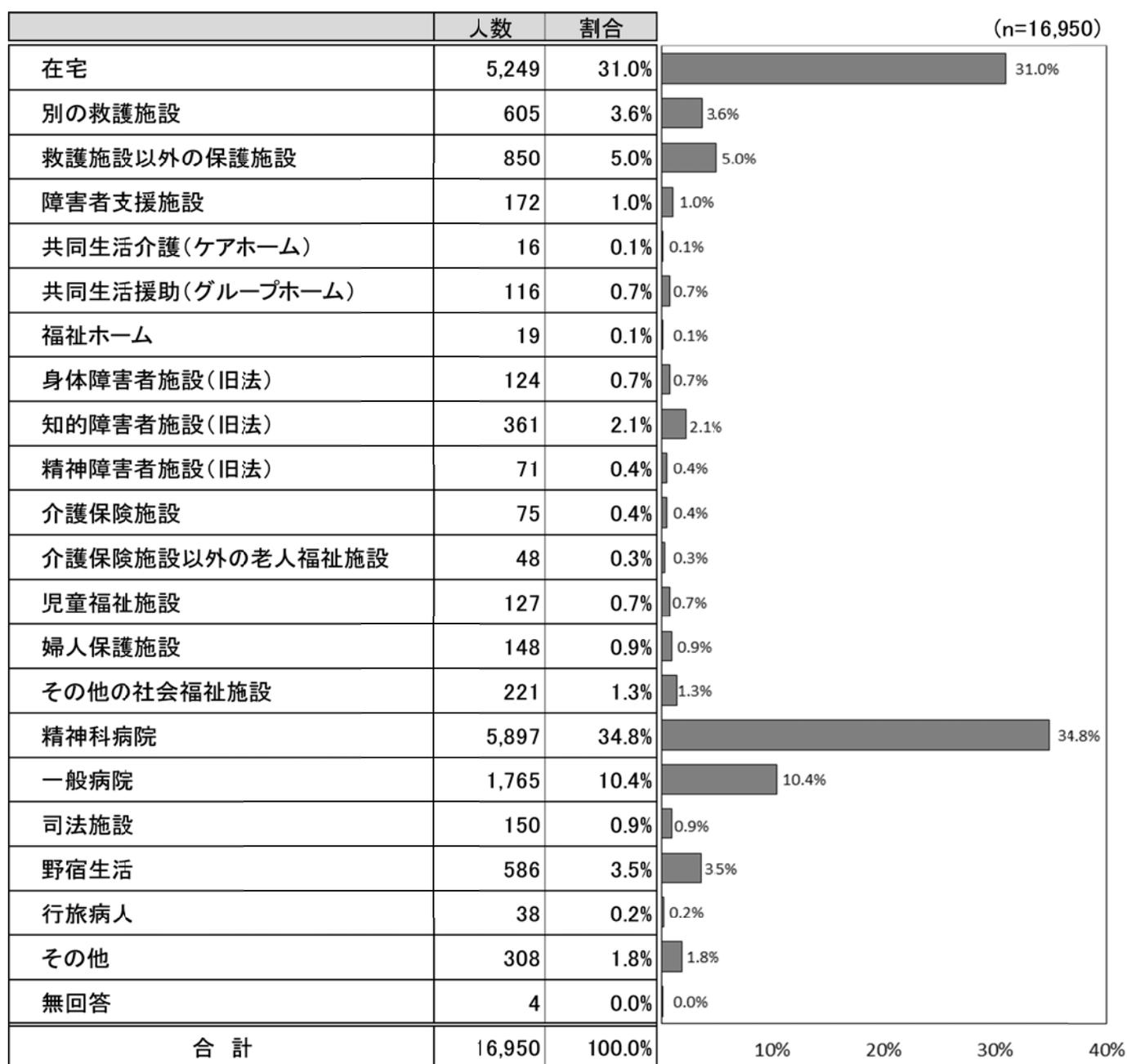
障害者加算の要件を満たす利用者の割合は 6 割強を占めている(停止中を含む)。

	人数	割合
あり	7,331	43.3%
停止中	2,967	17.5%
なし	6,592	38.9%
無回答	60	0.4%
合計	16,950	100.0%



## 2.2. 入所前の状況

入所前の居場所は在宅と精神科病院がそれぞれ3割程度を占めており、前回調査(平成22年度)と比較して傾向に大きな変化は見られない。



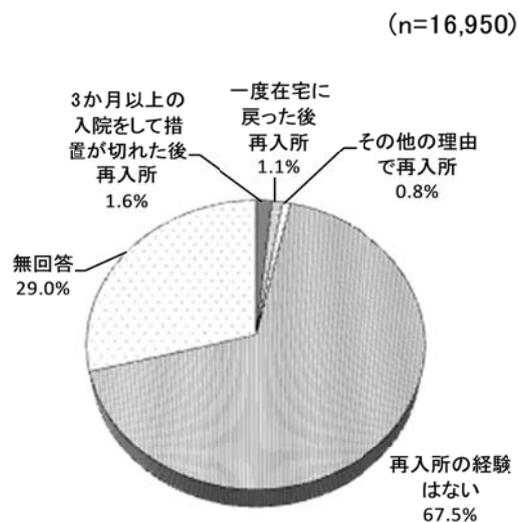
### <その他の主な内容>

- ・ NPO法人のアパート
- ・ ネットカフェ
- ・ 会社の寮
- ・ 友人宅
- ・ 老人下宿
- ・ アルコール専門病院
- ・ ホームレス支援施設
- ・ 共同下宿
- ・ 有料老人ホーム
- ・ 被災者として一時入所後に入所
- ・ シェルター
- ・ リハビリセンター
- ・ 無料低額宿泊施設
- ・ 里親

### 23. 現在の施設への再入所経験の有無

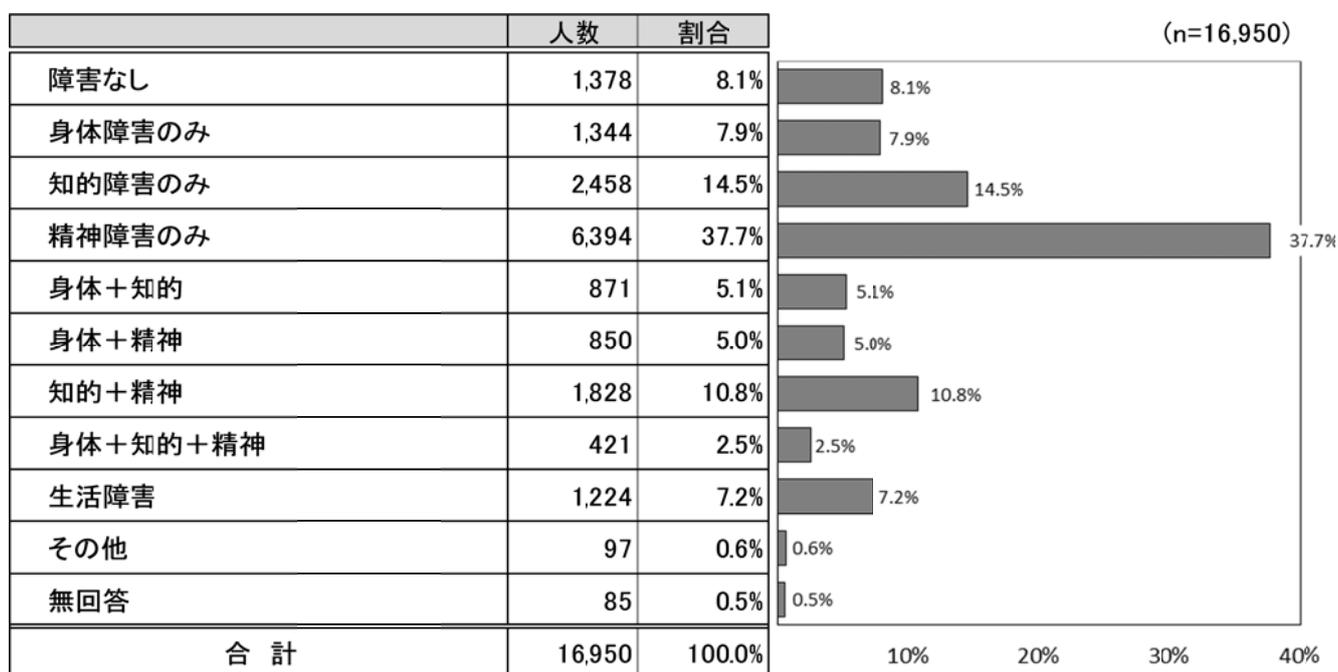
現在の施設への再入所者は全体の3.5%と限定的となっている。

	人数	割合
3か月以上の入院をして措置が切れた後再入所	275	1.6%
一度在宅に戻った後再入所	183	1.1%
その他の理由で再入所	136	0.8%
再入所の経験はない	11,436	67.5%
無回答	4,920	29.0%
合計	16,950	100.0%



## 2.4. 利用者の障害状況

障害なしの利用者は 8.1%となっており、全体の 9 割超の利用者がなんらかの障害を抱えていることがわかる。重複障害の利用者は全体の 2 割強にのぼっている。



〔身体障害 計〕	3,486	20.6%
〔知的障害 計〕	3,750	22.1%
〔精神障害 計〕	9,493	56.0%

〔単一障害 計〕	11,420	67.4%
〔重複障害 計〕	3,970	23.4%

### <その他の主な内容>

- ・ アスペルガー
- ・ コルサコフ症候群
- ・ 血管性認知症
- ・ 認知症
- ・ アルコール依存症
- ・ 記憶喪失
- ・ 高次脳機能障害
- ・ 白質脳症
- ・ くも膜下出血後遺症
- ・ 強迫性人格障害
- ・ 心疾患

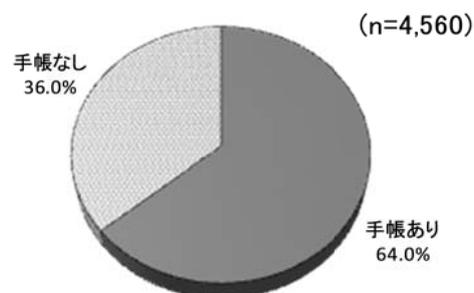
## 25. 身体障害の状況

### (1) 手帳の有無

身体障害のある利用者は4,560人であり、そのうち身体障害者手帳を所持しているのは64.0%となっている。

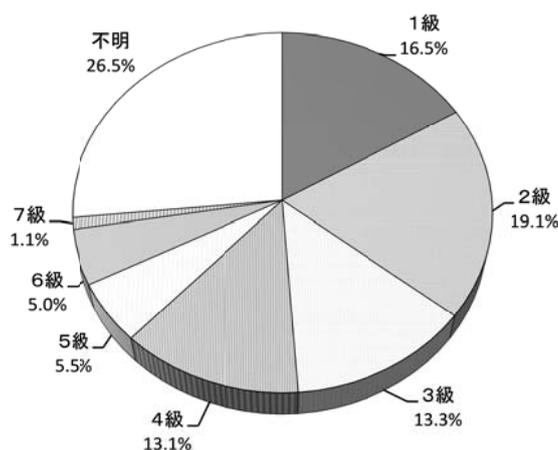
※当該設問は「24. 利用者の障害状況」とは独立して回答されているため、合計が一致しない。

	人数	割合
手帳あり	2,918	64.0%
手帳なし	1,642	36.0%
合計	4,560	100.0%



### (2) 障害等級

1、2級の重度の障害のある利用者が全体の1/3強を占めている。

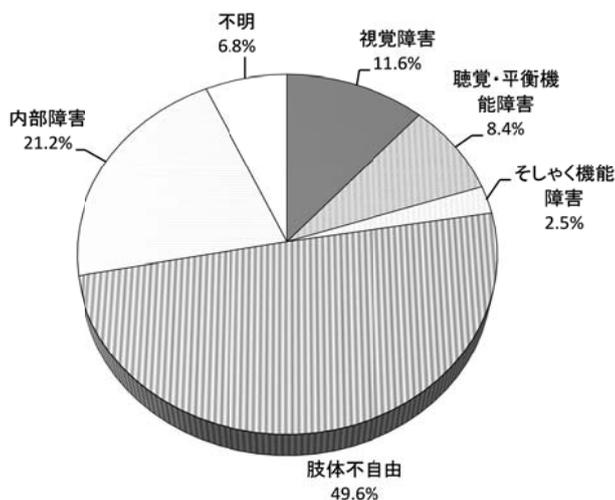


	手帳あり		手帳なし		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1級	700	95.0%	37	5.0%	737	100.0%
2級	776	90.8%	79	9.2%	855	100.0%
3級	524	88.1%	71	11.9%	595	100.0%
4級	509	87.0%	76	13.0%	585	100.0%
5級	207	84.1%	39	15.9%	246	100.0%
6級	201	90.1%	22	9.9%	223	100.0%
7級	1	2.1%	46	97.9%	47	100.0%
不明	0	0.0%	1,187	100.0%	1,187	100.0%
合計	2,918	65.2%	1,557	34.8%	4,475	100.0%

### (3) 主な障害状況

肢体不自由が半数を占めており、内部障害が2割強で次いでいる。

視覚障害、聴覚・平衡機能障害、肢体不自由は「手帳あり」の割合が多い一方、そしゃく機能障害、内部障害は「手帳なし」の割合が過半を占めている。特に内部障害は約7割が手帳なしとなっている。



	手帳あり		手帳なし		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
視覚障害	460	87.1%	68	12.9%	528	100.0%
聴覚・平衡機能障害	338	88.7%	43	11.3%	381	100.0%
そしゃく機能障害	56	49.6%	57	50.4%	113	100.0%
肢体不自由	1,736	76.7%	527	23.3%	2,263	100.0%
内部障害	297	30.7%	670	69.3%	967	100.0%
不明	31	10.1%	277	89.9%	308	100.0%
合計	2,918	64.0%	1,642	36.0%	4,560	100.0%

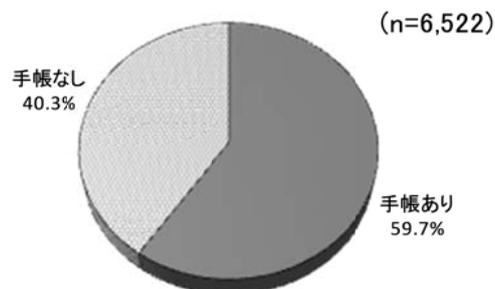
## 26. 知的障害の状況

### (1) 手帳の有無

知的障害のある利用者は6,522人であり、そのうち療育手帳等を所持しているのは59.7%となっている。

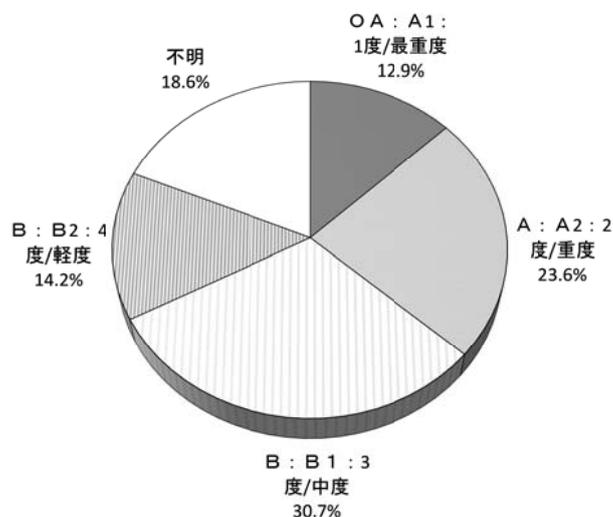
※当該設問は「24. 利用者の障害状況」とは独立して回答されているため、合計が一致しない。

	人数	割合
手帳あり	3,891	59.7%
手帳なし	2,631	40.3%
合計	6,522	100.0%



### (2) 障害等級

最重度、重度の利用者の合計は全体の1/3強を占めている。



	手帳あり		手帳なし		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
OA:A1:1度/最重度	695	83.2%	140	16.8%	835	100.0%
A:A2:2度/重度	1,239	81.2%	286	18.8%	1,525	100.0%
B:B1:3度/中度	1,486	74.9%	497	25.1%	1,983	100.0%
B:B2:4度/軽度	471	51.3%	448	48.7%	919	100.0%
不明	0	0.0%	1,200	100.0%	1,200	100.0%
合計	3,891	60.2%	2,571	39.8%	6,462	100.0%

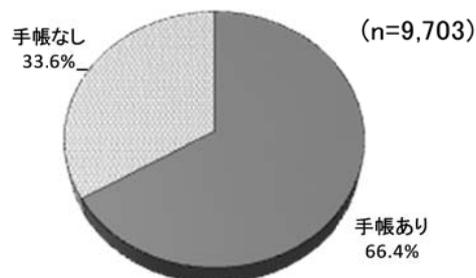
## 27. 精神障害の状況

### (1) 手帳の有無

精神障害のある利用者は9,703人であり、そのうち精神障害者保健福祉手帳を所持しているのは66.4%となっている。

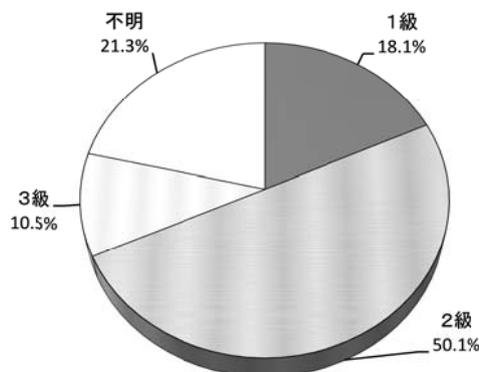
※当該設問は「24. 利用者の障害状況」とは独立して回答されているため、合計が一致しない。

	人数	割合
手帳あり	6,438	66.4%
手帳なし	3,265	33.6%
合計	9,703	100.0%



### (2) 障害等級

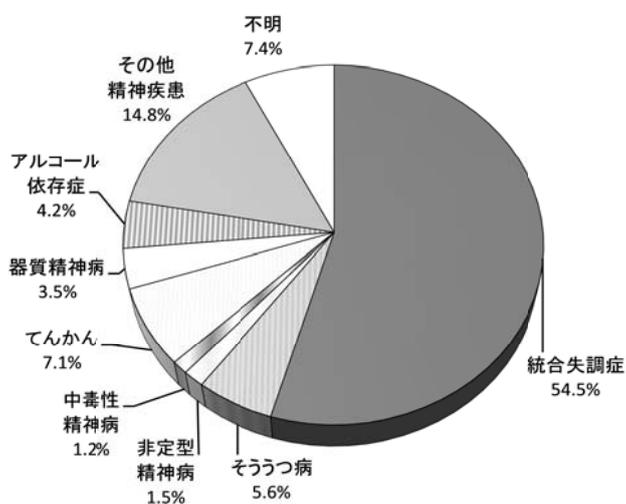
障害の程度は2級が最も多く、全体の半数を占めている。



	手帳あり		手帳なし		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1級	1,541	88.4%	202	11.6%	1,743	100.0%
2級	4,280	88.6%	551	11.4%	4,831	100.0%
3級	614	60.4%	403	39.6%	1,017	100.0%
不明	3	0.1%	2,052	99.9%	2,055	100.0%
合計	6,438	66.7%	3,208	33.3%	9,646	100.0%

### (3) 主な障害状況

統合失調症が最も多く、全体の半数強を占めている。



	手帳あり		手帳なし		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
統合失調症	4,357	82.5%	926	17.5%	5,283	100.0%
そううつ病	344	62.9%	203	37.1%	547	100.0%
非定型精神病	95	63.8%	54	36.2%	149	100.0%
中毒性精神病	69	60.5%	45	39.5%	114	100.0%
てんかん	292	42.3%	399	57.7%	691	100.0%
器質精神病	193	56.3%	150	43.7%	343	100.0%
アルコール依存症	0	0.0%	411	100.0%	411	100.0%
その他精神疾患	528	36.9%	904	63.1%	1,432	100.0%
不明	544	75.9%	173	24.1%	717	100.0%
合計	6,422	66.3%	3,265	33.7%	9,687	100.0%

## 28. 特定疾患の有無

特定疾患を持つ利用者の中では、脳血管疾患を患う利用者が最も多く4割弱を占めており、糖尿病性腎症・糖尿病性網膜症及び糖尿病性神経障害、初老期の認知症などが続いている。利用者の今までの生活歴や高齢化、障害の重度化などが影響しているものと推察される。

	人数	割合
初老期の認知症	283	9.6%
脳血管疾患	1,130	38.4%
ALS(筋委縮性側索硬化症)	9	0.3%
パーキンソン病	177	6.0%
脊髄小脳変性症	35	1.2%
シャイ・ドレーガー症候群	1	0.0%
糖尿病性腎症、糖尿病性網膜症及び糖尿病性神経障害	324	11.0%
閉塞性動脈硬化症	68	2.3%
慢性閉塞性肺疾患	102	3.5%
両側の膝関節又は股関節に著しい変形を伴う変形性関節症	194	6.6%
慢性関節リウマチ	82	2.8%
後縦靭帯骨化症	9	0.3%
脊柱管狭窄症	123	4.2%
骨粗しょう症による骨折	96	3.3%
早老症	2	0.1%
ベーチェット病	14	0.5%
多発性硬化症	4	0.1%
重症筋無力症	2	0.1%
全身性エリテマトーデス	4	0.1%
スモン	0	0.0%
再生不良性貧血	3	0.1%
サルコイドーシス	3	0.1%
強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	3	0.1%
特発性血小板減少性紫斑病	11	0.4%
結節性動脈周囲炎	1	0.0%
潰瘍性大腸炎	17	0.6%
大動脈炎症候群	5	0.2%
ピュルガー病	2	0.1%
天疱瘡	10	0.3%
クローン病	2	0.1%
難治性肝炎のうち劇症肝炎	2	0.1%
悪性関節リウマチ	0	0.0%
パーキンソン病関連疾患	90	3.1%
アミロイドーシス	3	0.1%
ハンチントン病	3	0.1%
モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	8	0.3%
ウエゲナー肉芽腫症	1	0.0%
特発性拡張型(うっ血性)心筋症	9	0.3%
多系統萎縮症	2	0.1%
表皮水泡症(接合部型及び栄養障害型)	0	0.0%
膿疱性乾癬	6	0.2%
広範脊柱管狭窄症	1	0.0%
原発性胆汁性肝硬変	4	0.1%
重症急性膵炎	0	0.0%
特発性大腿骨頭壊死症	2	0.1%
混合性結合組織病	1	0.0%
多発性免疫不全症候群	1	0.0%
特発性間質性肺炎	6	0.2%
網膜色素変性症	29	1.0%
プリオン病	1	0.0%
多発性肺高血圧症	45	1.5%
神経線維腫症Ⅰ型、神経線維腫症Ⅱ型	4	0.1%
亜急性硬化性全脳炎	0	0.0%
バッド・キアリ症候群	0	0.0%
特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	4	0.1%
ライソゾーム病	0	0.0%
副腎白質ジストロフィー	1	0.0%
合計	2,939	100.0%

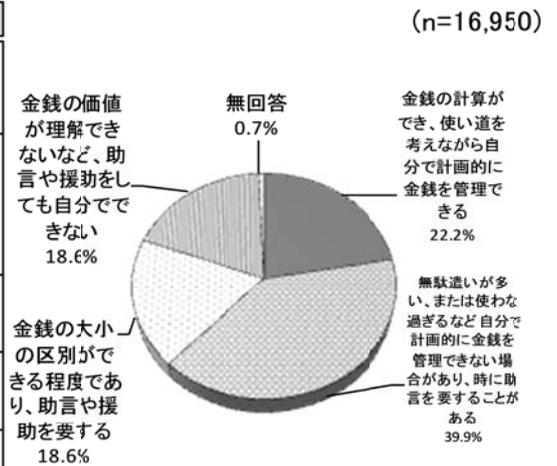
## 29. 生活能力の状況

### (1) 金銭管理

「無駄遣いが多い、または使わな過ぎるなど自分で計画的に金銭を管理できない場合があり、時に助言を要することがある」との回答が最も多く、全体の約4割を占めている。

前回調査(平成22年度)と比較すると、いずれの区分の回答割合も±1%の微差に留まっており、全体の傾向に大きな変化は見られない。

	人数	割合
金銭の計算ができ、使い道を考えながら自分で計画的に金銭を管理できる	3,767	22.2%
無駄遣いが多い、または使わな過ぎるなど自分で計画的に金銭を管理できない場合があり、時に助言を要することがある	6,757	39.9%
金銭の大小の区別ができる程度であり、助言や援助を要する	3,151	18.6%
金銭の価値が理解できないなど、助言や援助をしても自分でできない	3,152	18.6%
無回答	123	0.7%
合計	16,950	100.0%

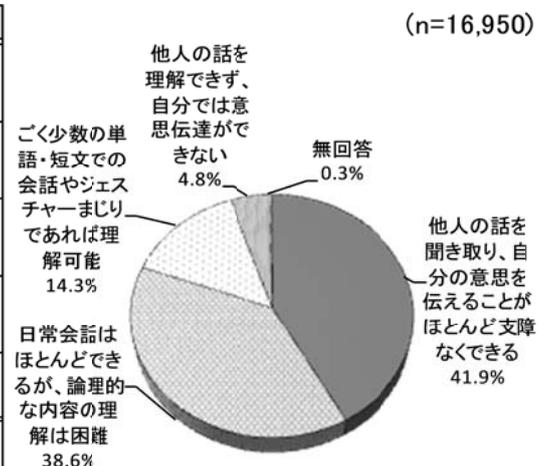


### (2) 意思伝達

「他人の話を聞き取り、自分の意思を伝えることがほとんど支障なくできる」との回答が最も多く41.9%となっており、「日常会話はほとんどできるが、論理的な内容の理解は困難」が38.6%で続いている。

前回調査(平成22年度)では後者が43.1%で最も多く、前者が36.0%で続いていたため、上位2つの順番が入れ替わったことになる。

	人数	割合
他人の話を聞き取り、自分の意思を伝えることがほとんど支障なくできる	7,104	41.9%
日常会話はほとんどできるが、論理的な内容の理解は困難	6,544	38.6%
ごく少数の単語・短文での会話やジェスチャーまじりであれば理解可能	2,427	14.3%
他人の話を理解できず、自分では意思伝達ができない	821	4.8%
無回答	54	0.3%
合計	16,950	100.0%

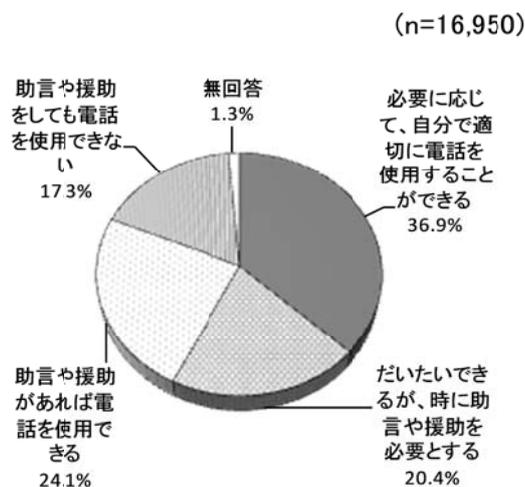


### (3) 電話

「必要に応じて、自分で適切に電話を使用することができる」が 36.9%で最も多く、「助言や援助があれば電話を使用できる」が 24.1%で続いている。

前回調査(平成 22 年度)と比較して、全体の傾向に大きな変化は見られない。

	人数	割合
必要に応じて、自分で適切に電話を使用することができる	6,257	36.9%
だいたいできるが、時に助言や援助を必要とする	3,459	20.4%
助言や援助があれば電話を使用できる	4,078	24.1%
助言や援助をしても電話を使用できない	2,936	17.3%
無回答	220	1.3%
合計	16,950	100.0%

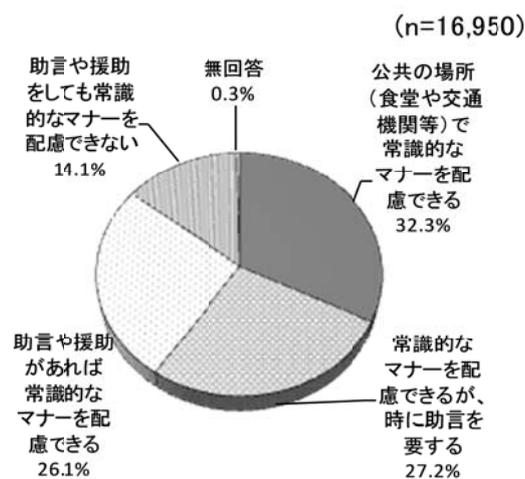


### (4) マナー

「公共の場所(食堂や交通機関等)で常識的なマナーを配慮できる」が 32.3%で最も多く、「常識的なマナーを配慮できるが、時に助言を要する」が 27.2%で続いている。

前回調査(平成 22 年度)では後者が 32.9%で最も多く、前者が 30.9%で続いていたため、上位 2つの順番が入れ替わったことになる。

	人数	割合
公共の場所(食堂や交通機関等)で常識的なマナーを配慮できる	5,473	32.3%
常識的なマナーを配慮できるが、時に助言を要する	4,612	27.2%
助言や援助があれば常識的なマナーを配慮できる	4,416	26.1%
助言や援助をしても常識的なマナーを配慮できない	2,395	14.1%
無回答	54	0.3%
合計	16,950	100.0%



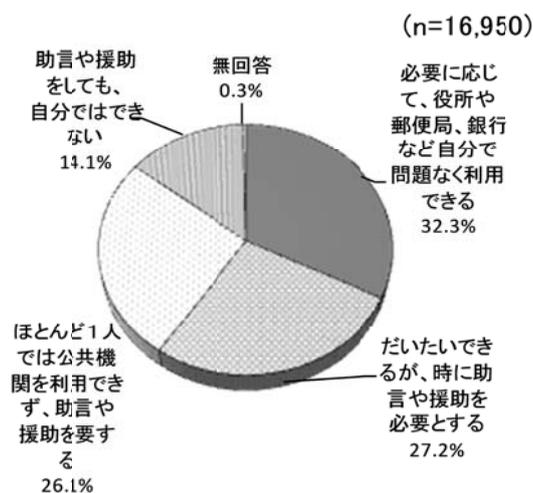
### (5) 公共機関の利用

「必要に応じて、役所や郵便局、銀行など自分で問題なく利用できる」が 32.3%で最も多く、「だいたいできるが、時に助言や援助を必要とする」が 27.2%で続いている。

一方、前回調査(平成 22 年度)では「助言や援助をしても、自分ではできない」が 31.2%、「ほとんど 1 人では公共機関を利用できず、助言や援助を要する」が 29.2%と多数を占めていた。

前回調査(平成 22 年度)以降、「公共機関の利用」に適応できる利用者の割合が増え、傾向が大きく変化したことが分かる。

	人数	割合
必要に応じて、役所や郵便局、銀行など自分で問題なく利用できる	5,473	32.3%
だいたいできるが、時に助言や援助を必要とする	4,612	27.2%
ほとんど1人では公共機関を利用できず、助言や援助を要する	4,416	26.1%
助言や援助をしても、自分ではできない	2,395	14.1%
無回答	54	0.3%
合計	16,950	100.0%



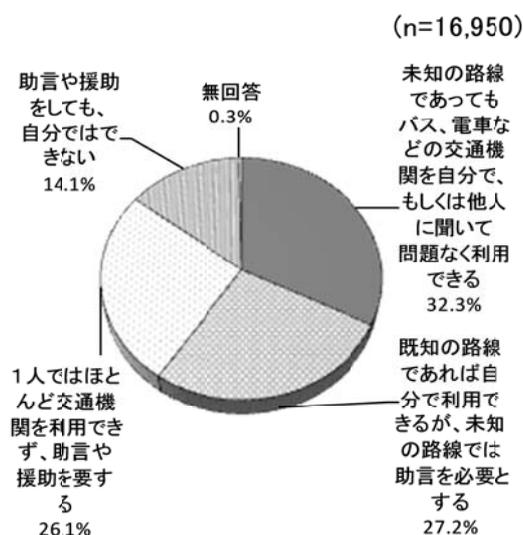
### (6) 交通機関の利用

「未知の路線であってもバス、電車などの交通機関を自分で、もしくは他人に聞いて問題なく利用できる」が 32.3%で最も多く、「既知の路線であれば自分で利用できるが、未知の路線では助言を必要とする」が 27.2%で続いている。

一方、前回調査では「助言や援助をしても、自分ではできない」が 31.0%、「1 人ではほとんど交通機関を利用できず、助言や援助を要する」が 28.5%となっていた。

前項の「公共機関の利用」と同様、前回調査(平成 22 年度)以降、「交通機関の利用」に適応できる利用者の割合が増え、傾向が大きく変化したことが分かる。

	人数	割合
未知の路線であってもバス、電車などの交通機関を自分で、もしくは他人に聞いて問題なく利用できる	5,473	32.3%
既知の路線であれば自分で利用できるが、未知の路線では助言を必要とする	4,612	27.2%
1人ではほとんど交通機関を利用できず、助言や援助を要する	4,416	26.1%
助言や援助をしても、自分ではできない	2,395	14.1%
無回答	54	0.3%
合計	16,950	100.0%

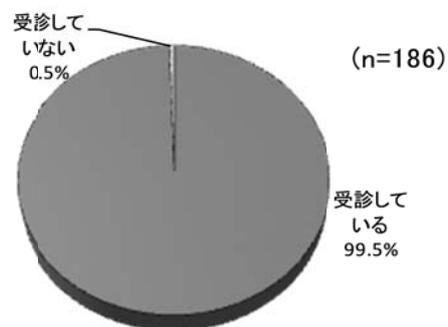


### 30. 現在受診している科目

#### (1) 受診の有無

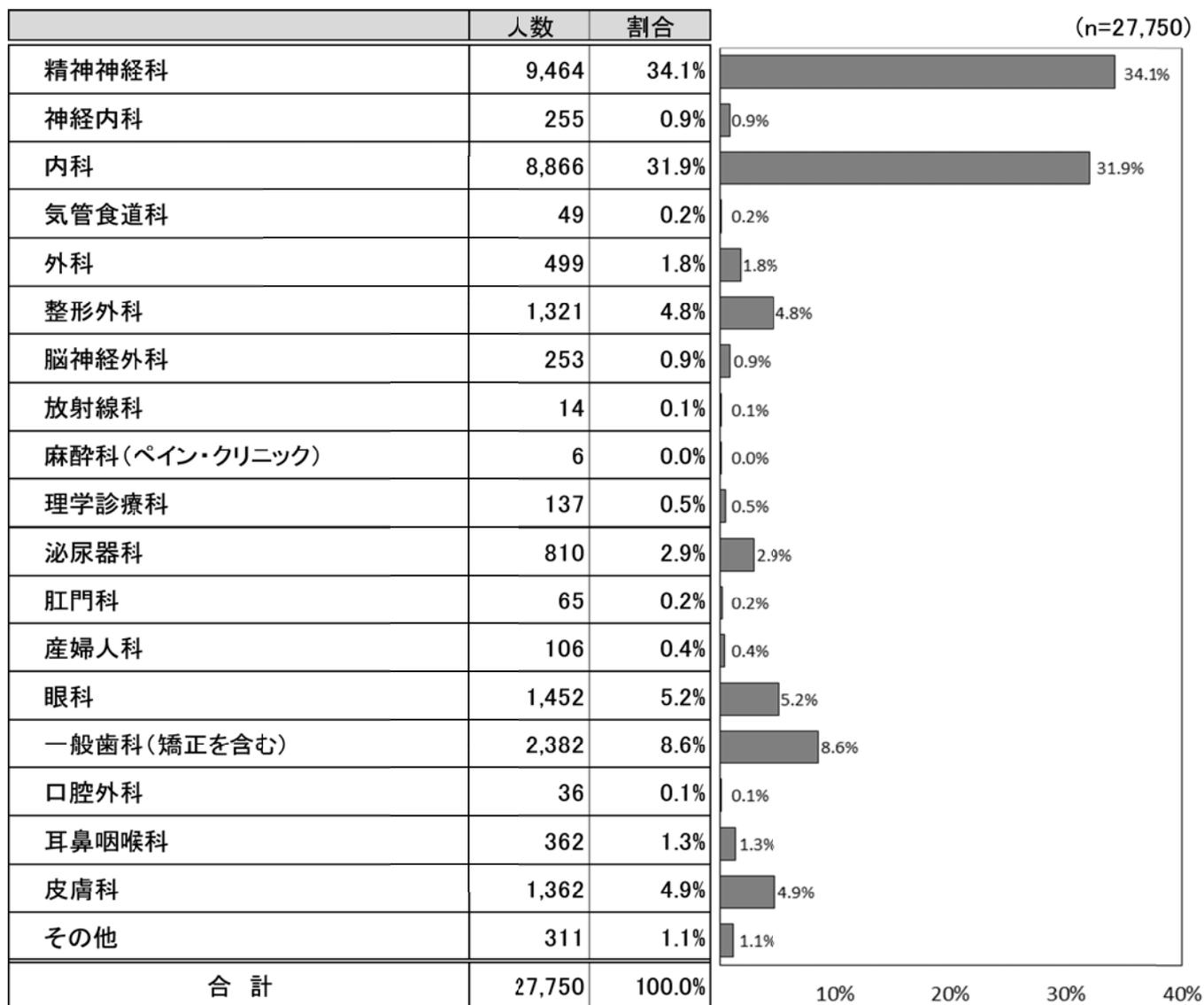
平成 25 年 10 月 1 日～31 日の間に受診した利用者がいない施設は 1 施設のみとなっている。

	施設数	割合
受診している	185	99.5%
受診していない	1	0.5%
合計	186	100.0%



(2) 受診科目

受診科目は多岐にわたっているが、精神神経科と内科への受診が際立っている。



※複数回答あり

<その他の主な内容>

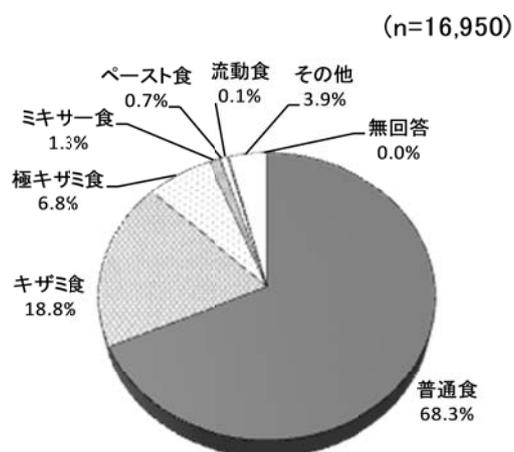
- ・アルコール専門外来
- ・ペースメーカー外来
- ・感染症内科
- ・血液内科
- ・消化器科
- ・心療内科
- ・糖尿外来
- ・内分泌代謝科
- ・脳神経内科
- ・ストマ外来
- ・リウマチ科
- ・緩和ケア
- ・呼吸器科
- ・心臓血管外科
- ・人工透析科
- ・頭頸部外科
- ・乳腺科
- ・てんかん外来
- ・リハビリテーション科
- ・形成外科
- ・甲状腺科
- ・心臓血管内科
- ・腎臓内科
- ・動脈外来
- ・脳血管内科

### 3 1. 食事について

#### (1) 食事の形態

全体の 7 割弱は普通食であるが、3 割程度の利用者が嚥下等に留意した食事形態となっている。

	人数	割合
普通食	11,585	68.3%
キザミ食	3,186	18.8%
極キザミ食	1,155	6.8%
ミキサー食	214	1.3%
ペースト食	126	0.7%
流動食	21	0.1%
その他	657	3.9%
無回答	6	0.0%
合計	16,950	100.0%

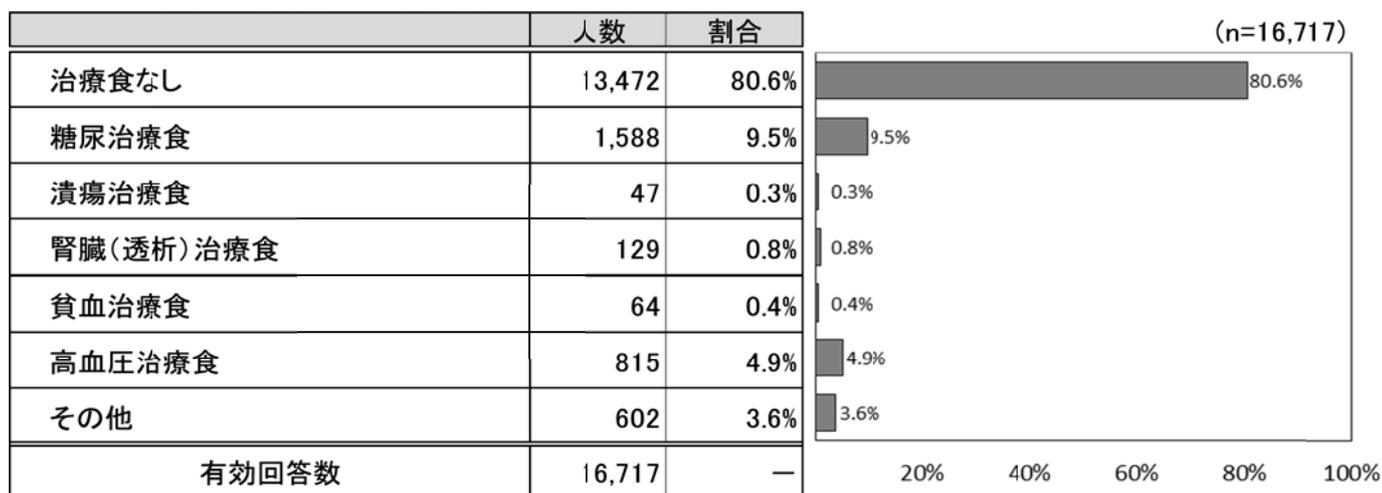


#### <その他の主な内容>

- ・ゼリー食
- ・トロミ食
- ・胃ろう・経管栄養
- ・一口大
- ・軟菜食
- ・ソフト食
- ・なめらか食
- ・治療食
- ・粥食
- ・肉のみキザミ食
- ・つぶし食
- ・やわらか食
- ・糖尿食
- ・消化食

## (2) 治療食の状況

何らかの治療食を利用している利用者の割合は 2 割程度であり、その半数(10%程度)が糖尿病治療食を摂っている。



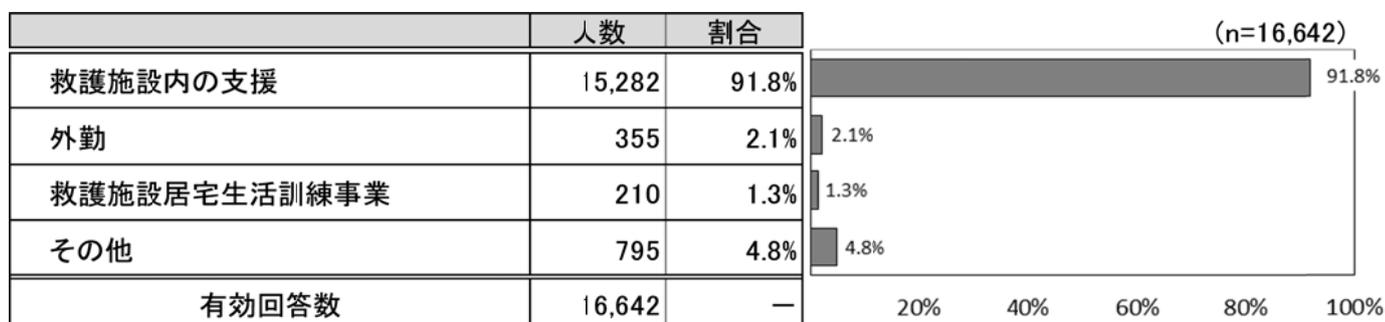
※複数回答あり

### <その他の主な内容>

- ・ 高脂血症食
- ・ カリウム制限食
- ・ コレステロール制限食
- ・ 栄養補助食品
- ・ 肝臓治療食
- ・ 経管栄養
- ・ 抗アレルギー食
- ・ 心臓治療食
- ・ 貧血食
- ・ 膵臓治療食
- ・ イレウス食
- ・ カロリー制限・体重減少
- ・ たんぱく制限食
- ・ 塩分制限食
- ・ 肝庇護食
- ・ 結核治療食
- ・ 高脂血症治療食
- ・ 生もの・乳酸菌禁止
- ・ 米飯制限
- ・ エネルギーコントロール食
- ・ クロウン病対応食
- ・ ワーフアリン食
- ・ 肝炎治療食
- ・ 癌治療食
- ・ 減糖食
- ・ 脂質制限食
- ・ 胆石治療食
- ・ 油抜き食

### 3.2. 現在利用している日中活動について

9割超の利用者は日中も救護施設内で過ごしている。外勤に出ている利用者は全体の2.1%であり、前回調査(平成22年度)の1.7%から微増している。なお、外勤に出ている利用者の1日の平均勤務時間は4.4時間となっている。



※複数回答あり

〔外勤:1日の平均時間〕	4.4時間
--------------	-------

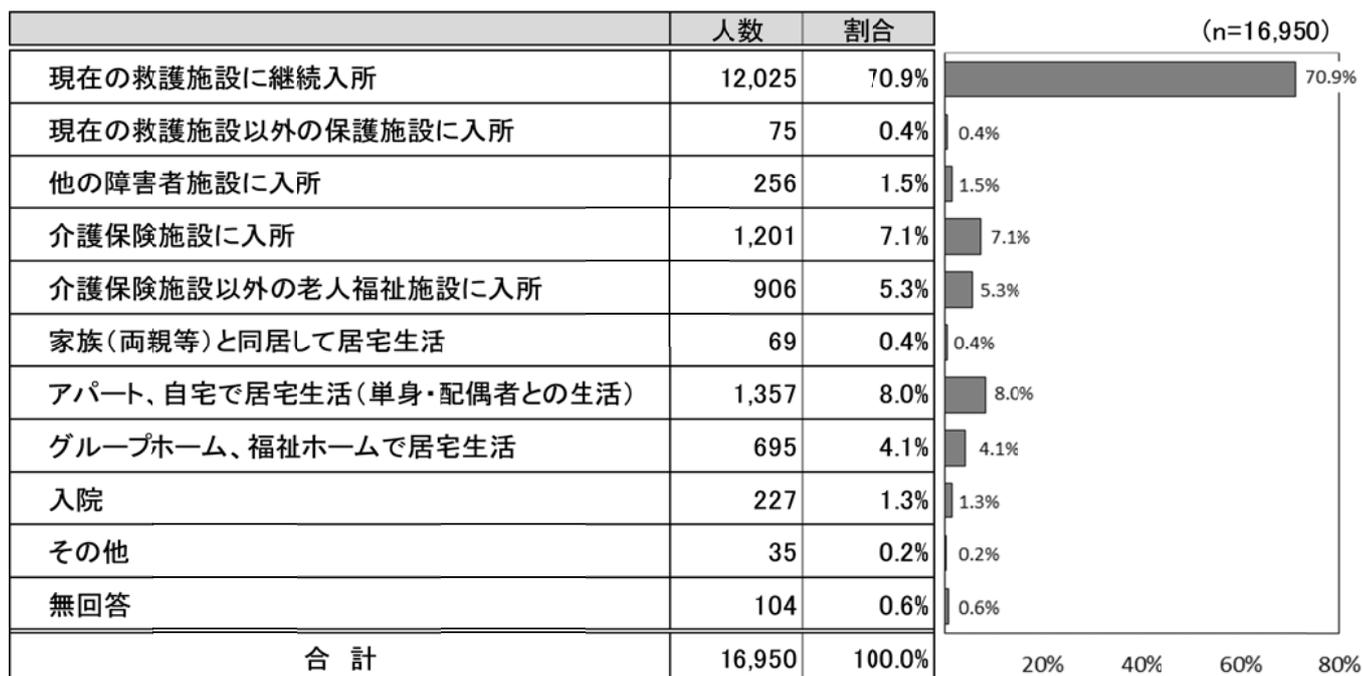
#### <その他の主な内容>

- ・ギャンブル依存症デイケア
- ・パート作業
- ・ボランティア
- ・園内実習(就労)
- ・調理体験
- ・農耕班
- ・クリーニング工場で職場体験
- ・ハローワークでの求職活動
- ・園内外作業(箱組立・袋詰め・衣類たたみ等)
- ・地域での趣味的サークル活動
- ・同一法人内他施設勤務
- ・洋裁班

### 3.3. 利用者の今後の進路（施設長の考え）

#### （1）今後の居住

施設長が「現在の救護施設に継続入所」することが適切だと考えている利用者が全体の7割強を占めている。「家族との同居」や「アパート・自宅での生活」は合計でも10%未満であり、現在の救護施設を退所する場合であっても、何らかの支援を受けられる老人福祉施設などを利用することが適切であると施設長が考えている利用者が多い。

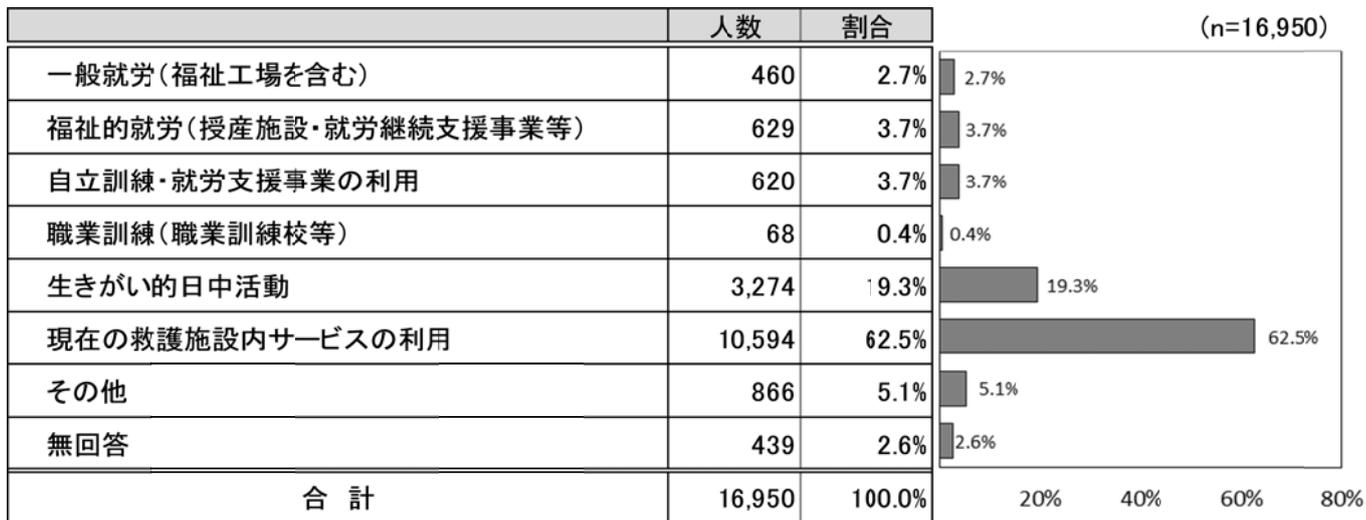


#### <その他の主な内容>

- ・ 高齢者向け住宅
- ・ 同系列救護施設
- ・ 公営住宅
- ・ 病院（療養型）
- ・ 居宅生活訓練事業
- ・ サービス付高齢者住宅
- ・ 病気再発・入院、退院の繰り返し

(2) 就労・日中活動の場

利用者の就労・日中活動の場として、現在の救護施設内サービスの利用が適切と考えている施設長が全体の6割強を占めている。



<その他の主な内容>

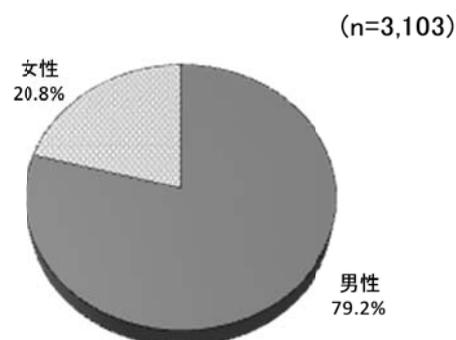
- ・療養・医療・介護サービス
- ・他の障害者施設内サービスの利用
- ・障害者雇用
- ・病院(療養型)
- ・清掃作業(パート)
- ・ボランティア

### 3.4. 平成24年度（1年間）の退所者の状況

#### （1）性別

退所者の男女比は約4対1である。「2.0. 基本情報」の性別と比較すると、男性の退所者の割合が大きいことが分かる。

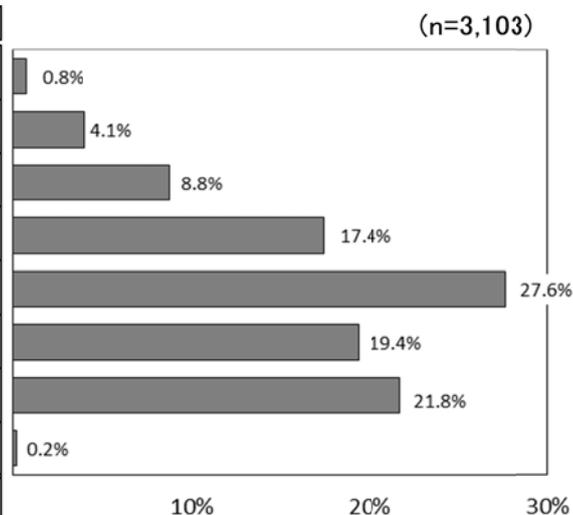
	人数	割合
男性	2,457	79.2%
女性	646	20.8%
不明	0	0.0%
合計	3,103	100.0%



#### （2）入所時の年齢

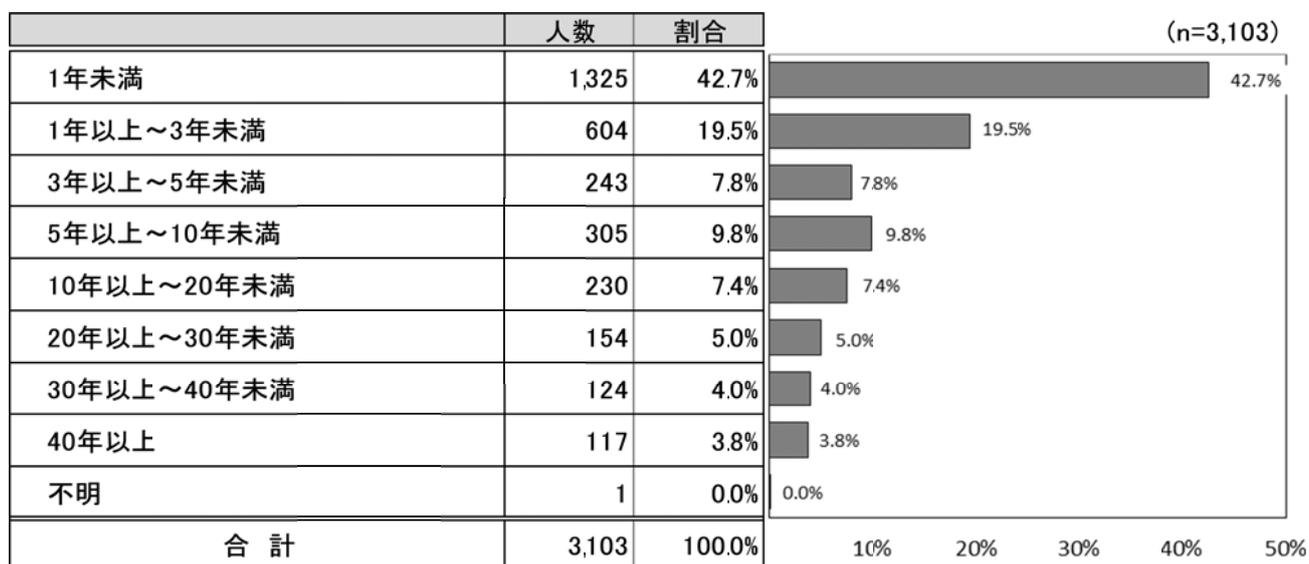
退所者の入所時の年齢は50歳以上～60歳未満が最も多く3割弱を占めている。

	人数	割合
20歳未満	24	0.8%
20歳以上～30歳未満	128	4.1%
30歳以上～40歳未満	273	8.8%
40歳以上～50歳未満	541	17.4%
50歳以上～60歳未満	855	27.6%
60歳以上～65歳未満	601	19.4%
65歳以上	675	21.8%
不明	6	0.2%
合計	3,103	100.0%



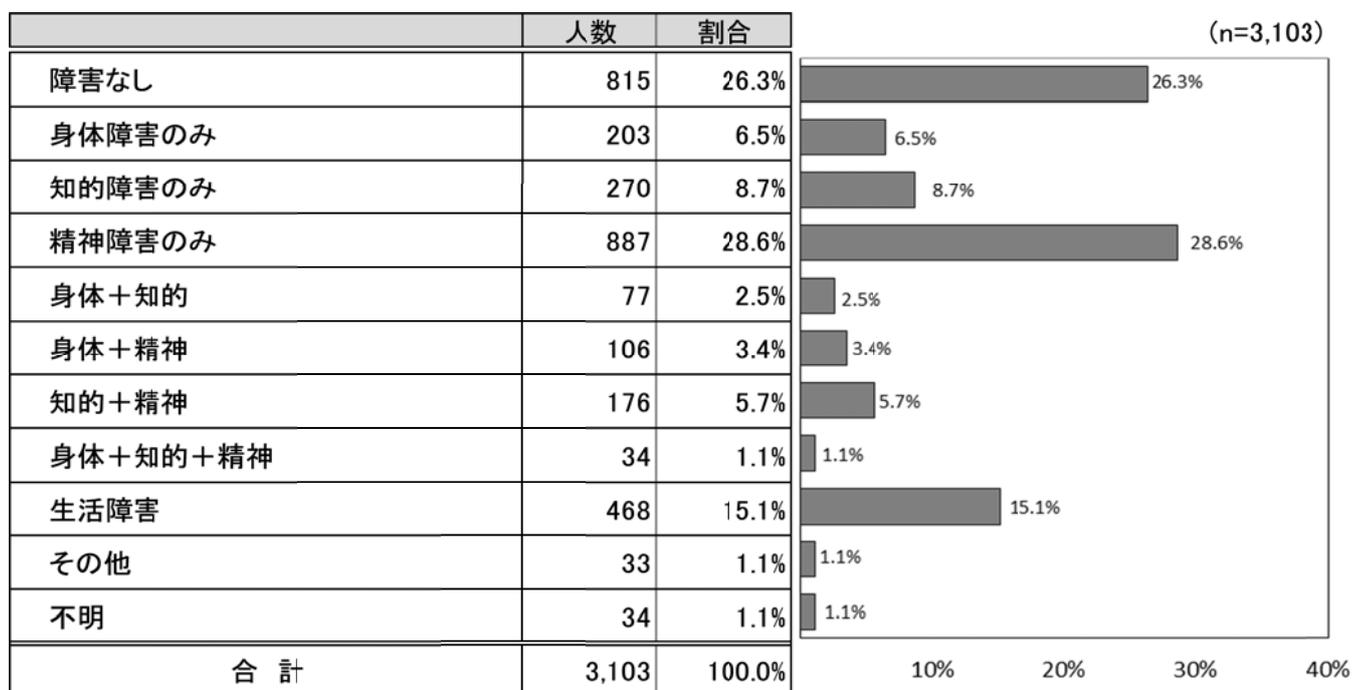
### (3) 入所期間

退所者の半数程度は1年未満の短期間で退所していることが分かる。前回調査(平成22年度)と比較して、傾向に大きな変化は見られない。



#### (4) 障害の状況

「24. 利用者の障害の状況」の障害なしの割合は 8.2%であるが、退所者の障害なしの割合は 26.3%と 3 倍強となっている。



〔身体障害 計〕	420	13.5%
〔知的障害 計〕	381	12.3%
〔精神障害 計〕	1,203	38.8%

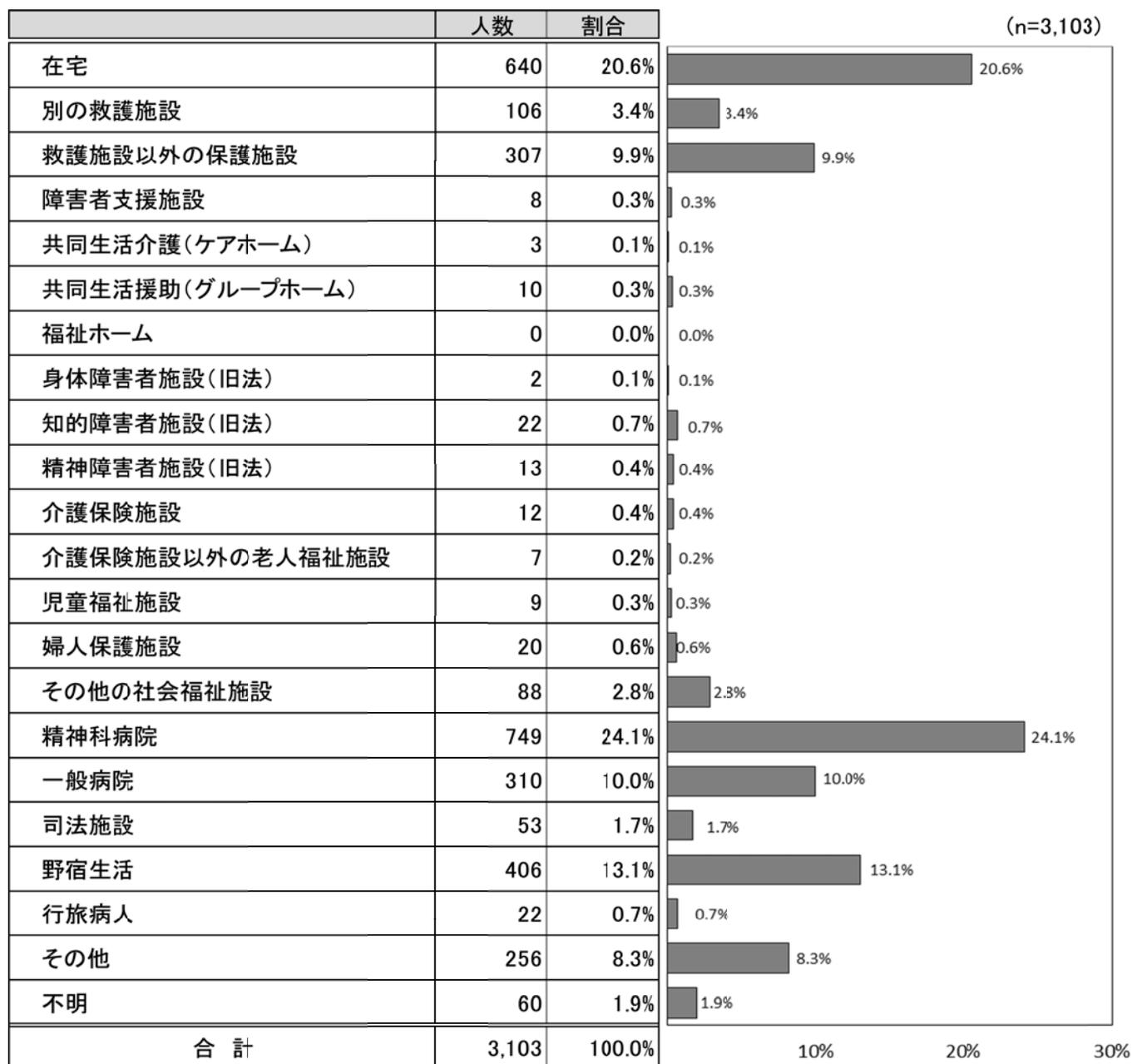
〔単一障害 計〕	1,828	58.9%
〔重複障害 計〕	393	12.7%

#### <その他の主な内容>

- ・アルコール依存症
- ・多発性脳梗塞
- ・病弱
- ・シャイドレーガー症候群（難病指定）
- ・糖尿病
- ・物忘れなど脳機能低下
- ・末期がん
- ・認知症
- ・解離性記憶障害
- ・解離性健忘

(5) 入所前の状況

退所者の入所前の居場所は精神科病院が最も多く、次いで在宅となっている。



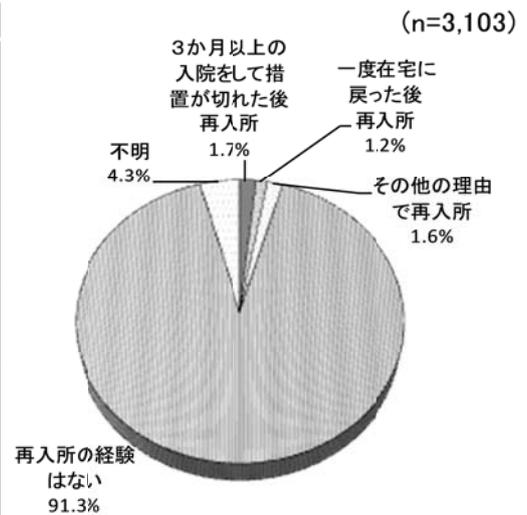
<その他の主な内容>

- ・ 友人宅
- ・ 職場住み込み
- ・ 一時保護所
- ・ シェルター
- ・ 特別支援学校
- ・ 車中生活
- ・ ホームレス
- ・ ケアセンター
- ・ 断酒施設
- ・ 遠縁宅
- ・ ビジネスホテル
- ・ DV シェルター

(6) 現在の施設への再入所の有無<入所者>

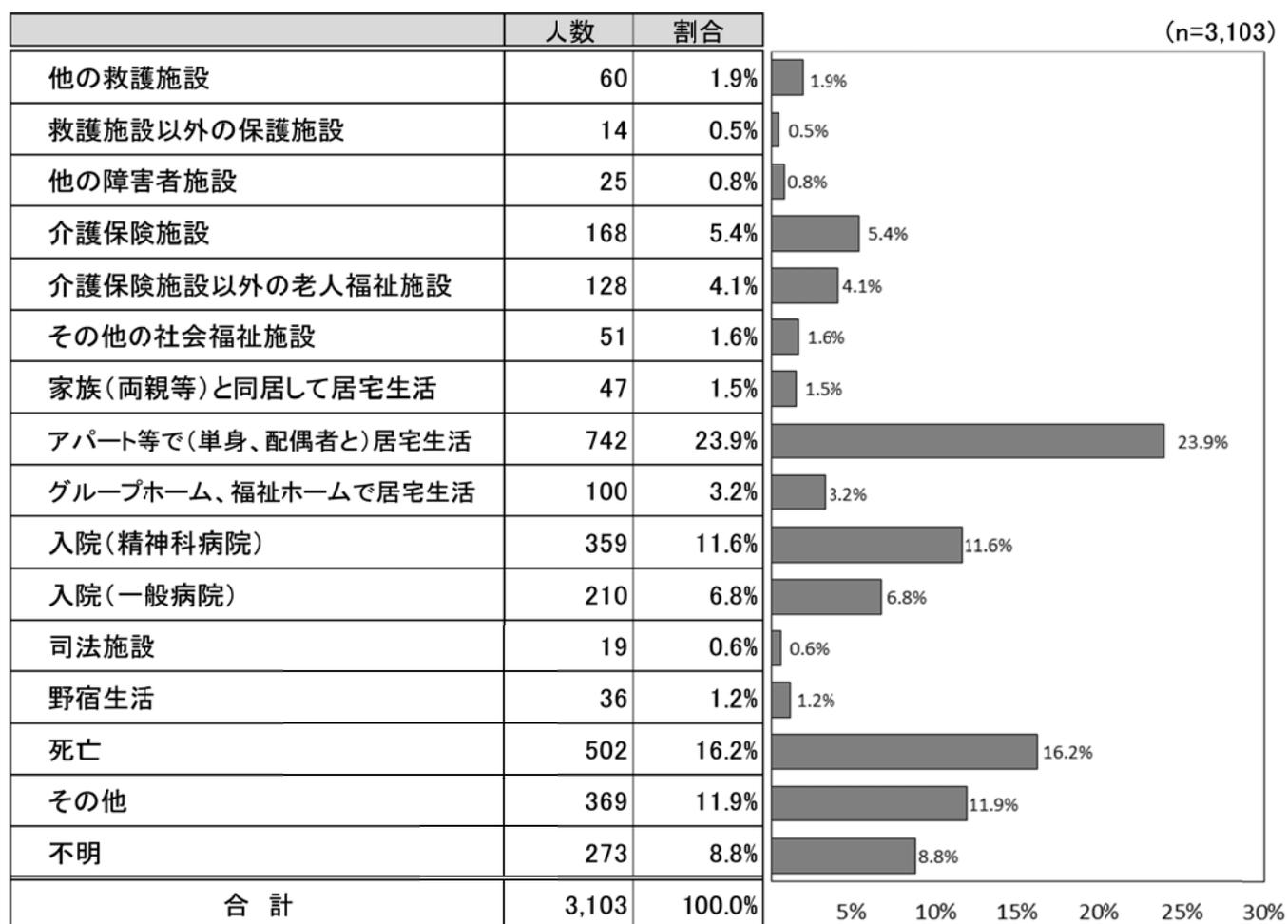
平成 24 年度（1 年間）の退所者について、その約 9 割が新規入所者であった。

	人数	割合
3か月以上の入院をして措置が切れた後再入所	54	1.7%
一度在宅に戻った後再入所	36	1.2%
その他の理由で再入所	49	1.6%
再入所の経験はない	2,832	91.3%
不明	132	4.3%
合 計	3,103	100.0%



### (7) 退所後の進路

アパート等で(単身、配偶者と)居宅生活との回答が 23.9%と最も多いが、前回調査(平成 22 年度)と比較すると割合が 10%程度減少している。



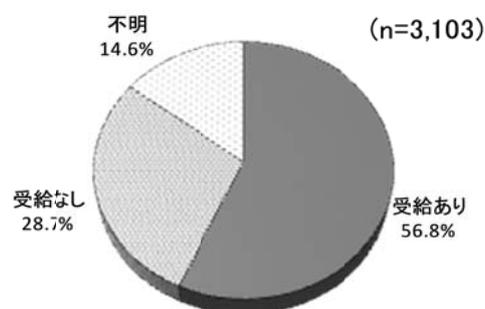
#### <その他の主な内容>

- ・ 下宿
- ・ 高齢者住宅
- ・ 友人宅
- ・ 会社の寮
- ・ 単身自宅生活
- ・ 簡易宿泊施設
- ・ 有料老人ホーム
- ・ 留置所
- ・ 療養型病院

### (8) 退所直後の生活保護受給の有無

退所直後に生活保護を受給している割合は6割弱に留まり、前回調査(平成22年度)と比較して15%程度減少している。

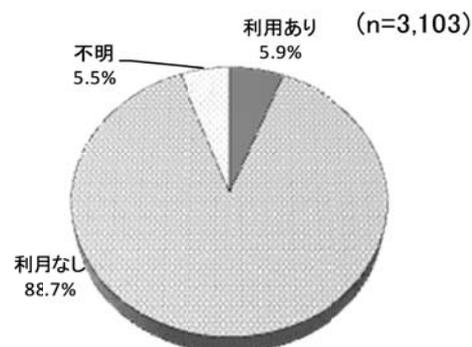
	人数	割合
受給あり	1,761	56.8%
受給なし	890	28.7%
不明	452	14.6%
合計	3,103	100.0%



### (9) 退所直後の施設サービス利用の有無

退所後に入所していた施設のサービスを利用している割合は5.9%と限定的となっている。

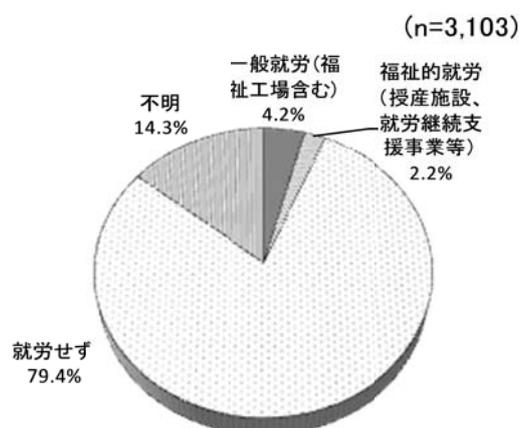
	人数	割合
利用あり	182	5.9%
利用なし	2,751	88.7%
不明	170	5.5%
合計	3,103	100.0%



### (10) 退所直後の就労の有無

退所後に就労する割合は1割にも満たない。約9割の方が「就労せず」または「不明」となっている。

	人数	割合
一般就労(福祉工場含む)	129	4.2%
福祉的就労 (授産施設、就労継続支援事業等)	67	2.2%
就労せず	2,464	79.4%
不明	443	14.3%
合計	3,103	100.0%



IV. 平成 25 年度全国救護施設実態調査  
「設問と回答の手引き」

V. 平成 25 年度全国救護施設実態調査  
「調査票（回答用紙）」

## 平成 25 年度 全国救護施設実態調査「設問と回答の手引き」

調査の回答にあたっては、必ず以下の説明をお読みいただき、参考資料等を参照してください。  
調査基準日は平成 25 年 10 月 1 日とします。調査の提出方法は最終ページにあります。

- ★ 調査票は、全救協 Web サイトの会員専用ページ(<http://www.zenkyukyo.gr.jp/download/index.htm>)に掲載しております。ダウンロードしてご回答ください。

会員専用ページ ユーザ名 : zenkyukyo パスワード : kyugobbs
---

- ★ 調査回答用入力フォームは、Microsoft Excel で作成しています。
  - ★入力フォームは 施設版と利用者版の 2 ファイルで構成されています。
  - 両方共、ご回答・ご返信お願いいたします。
  - 【施設版】救護施設実態調査 2013.xls
  - 《利用者版》救護施設実態調査 2013.xls
- ★ Microsoft Excel のマクロを使用しております。Excel を立ち上げた際「マクロを有効にする」をクリックして下さい。  
マクロ使用に関する注意点は各ファイルの先頭シート「MES」の「マクロを有効にしてファイルを開く方法」をご参照ください。
- ★ 設問ごとにシートがわかれています。シートの移動はシート上部の「次へ」や「戻る」のボタンをご利用ください。
- ★ 色（黄色）がついている部分をご回答いただきたいところです。  
入力が完了すると黄色が消えます。
- ★ 選択肢に○が付いている設問は択一設問、□が付いている設問は複数選択設問になります。いずれも○か□をクリックしてご回答をお願いいたします。
- ★ 上記以外の通常セルは文字または数値を直接入力する設問項目です。
- ★ 数字はすべて「半角数字」で入力してください。
- ★ 作業を途中で中断する場合や回答の終了時には必ず「ファイルの変更を保存する」「上書き保存」を選択して終了するか、もしくは、[名前を付けて保存]を選択し、別名で保存した後で終了してください。

## ◆ 施設の状況 救護施設実態調査\_施設版 2013. xls

### 施設版入力手順

- ・問1から問19までを12のシートに分けています。
- ・各シートの左上の「次へ」ボタンをクリックすると、次のシートへ移動できます。「戻る」をクリックすると前のシートへ戻ります。

### 施設版 各個別設問の説明

#### 1. 基本情報

- ・①～⑩についてご記入ください。
- ・①の施設番号については、同封の施設コード一覧の番号を入力してください。
- ・①の施設番号を入力すると自動的に②施設の名称、④お問い合わせ先電話番号、⑨入所者定員が表示されます。
- ・⑨入所者定員が変更になっている場合は、自動的に表示された数字を削除し、正しい人数を入力してください。
- ・③のご記入者名につきましては、記入内容について問い合わせをすることがありますので、ご担当者のお名前をご記入ください。
- ・⑩の平成24年度延べ利用人員は、平成24年4月1日から平成25年3月31日の1年間における貴施設の利用者数を延べ人数にてご記入ください。また、入院期間中についても、施設に在籍している場合はカウントしてください。

注) 1年間(365日間)の各日の利用者数を積算してください。

1人の利用者が1年間利用した場合は、365人となります。

#### 2. 施設の概況

##### (1) 貴施設で実施している事業

- ・該当する事業の□をクリックしてください。
- ・選択肢「2～6」の事業は国の通知、基準で行われている場合のみ選択ください。施設、市町村等の独自事業の場合は、その他にご記入ください。
- ・「7:その他」については、具体的な事業内容を記入してください。
- ・「1:実施していない」を選択した場合、他の回答よりも優先されます。(他の回答は選択できません)

##### (2) 貴施設以外で、貴法人が実施する事業(公設民営・民設民営施設のみ)、経営する施設

- ・この設問は、公設民営、民設民営の施設のみ回答してください。公設公営の施設は記入不要です。
- ・該当する事業の□をクリックしてください。(選択肢 複数回答可)
- ・「32:その他」については、具体的な事業内容を記入してください。
- ・「1:貴施設以外に法人内で他に実施する事業、経営する施設はない」を選択した場合、他の回答よりも優先されます。(他の回答は選択できません)

### 3. 建物等について

#### (1) 現在の1人あたりの居室面積

- ・1人あたりの居室面積を記入してください。(小数点第2位で四捨五入し、第1位までご記入ください。)

#### (2) 居室の数

- ・居室の定員別に居室の数をご記入ください。

#### (3) 築年数

- ・建物の築年数を記入してください。(1か月に満たない場合は切り捨てし、ご記入ください。)
- ・建物が複数ある場合は、メインとなる建物の年数としてください。

### 4. IT環境

#### (1) ホームページの開設の有無

- ・該当する選択肢のいずれか1つの○をクリックして選んでください。
- ・「法人・施設独自にホームページを開設」については、外部業者等に委託している場合も含まれます。

#### (2) ホームページの更新

- ・(1)にて「1:法人・施設独自にホームページを開設」を選択された施設のみ更新状況について伺います。それ以外の施設は回答不要です。

### 5. 個別支援計画の取り組みについて

#### (1) 現在使用のツールについて

- ・該当する選択肢の口をクリックしてください。(選択肢 複数回答可)
- ・「1:個別支援計画を作成していない」を選択した場合、他の回答よりも優先されます。(他の回答は選択できません)

#### (2) 今後予定しているツールについて

- ・該当する選択肢の口をクリックしてください。(選択肢 複数回答可)

#### (3) 研修について

- ・該当する選択肢のいずれか1つの○をクリックして選んでください。

### 6. サービス評価の取り組みについて

#### (1) 自己評価の取り組み状況について

- ・自己評価の実施状況について、該当する選択肢のいずれか1つの○をクリックして選んでください。

#### (2) 自己評価で使用のツールについて

- ・(1)で自己評価の実施ありと回答した施設のみ、使用されたツールについて伺います。それ以外の施設は回答できません。

#### (3) 第三者評価について

- ・該当する選択肢のいずれか1つの○をクリックして選んでください。
- ・受審したことがある場合、これまでの受審回数を記入してください。
- ・受審予定がある場合、予定の年度も記入してください。

## 7. リスクマネジメント取り組み状況

### (1) リスクマネジメントに関する検討体制について

- ・該当する選択肢のいずれか1つの○をクリックして選んでください
- ・「1:委員会等の検討体制を設置している」を選択された場合は、(2)の設問にお答えください。
- ・「2:委員会等の検討体制は設置していない」を選択された場合は、設置していない理由を記入してください。その場合(2)は記入不可になります。(3)～(4)の設問にお答えください。

### (2) 委員会・検討会の開催間隔

- ・該当する選択肢のいずれか1つの○をクリックして選んでください
- ・「4:ほとんど開催しない」を選択された場合は、開催しない理由を記入してください。

### (3) 事例収集の実施について

- ・該当する選択肢のいずれか1つの○をクリックして選んでください

### (4) リスクマネジャー（リスクマネジメント推進担当者）の設置について

- ・該当する選択肢のいずれか1つの○をクリックして選んでください。
- ・「1:リスクマネジャーを設置している」を選択した場合は、人数も記入してください。

### (5) リスクマネジャーの該当職種

- ・(4)で「1:リスクマネジャーを設置している」を選択された施設は、リスクマネジャーの該当職種を選択してください。

## 8. 苦情解決の取り組み状況

### (1) 苦情解決体制について

- ・該当する選択肢のいずれか1つの○をクリックして選んでください。

### (2) 苦情件数について

- ・平成24年度1年間（平成24年4月1日～平成25年3月31日）の苦情受付件数をそれぞれ該当する項目ごとにご記入ください。

区分	例示
職員の接遇	・職員の対応や言葉遣いが悪い
サービス（支援）の質や量	・食事の内容が悪い ・居室の環境が悪い
説明・情報提供	・説明なくサービス（支援）内容が変更された
被害・損害	・預かり金など金銭のトラブルがあった ・所有物がなくなった。破損した
権利侵害	・暴力や虐待を受けた ・プライバシーを侵害された
その他	・上記に当てはまらない事項 ※具体的内容をご記入ください。

### (3) 第三者委員会の開催状況

- ・該当する選択肢のいずれか1つの○をクリックして選んでください。
- ・「開催あり」を選択した場合、平成24年度に開催した回数を記入してください。

9. 市町村における障害福祉計画等への参画

(1) 貴施設（法人）役職員の計画への参画

- ・該当する選択肢のいずれか1つの○をクリックして選んでください。
- ・「3:計画策定委員会等には委員として参画はしていないが、計画策定に関わっている」を選択された施設は、どのように計画策定に関わっているのかを具体的に記入してください。

(2) 自立支援プログラム（生活保護制度）への協力

- ・該当する選択肢のいずれか1つの○をクリックして選んでください。
- ・協力している場合は、プログラム名を記入してください。

10. 実習者（見学をのぞく）の受入実績

- ・平成24年度1年間（平成24年4月1日～平成25年3月31日）における1年間の実人員をご記入ください。各項目それぞれに該当する人数（実人数）を記入してください。1人が1週間実習した場合でも3日の場合でも1人となります。 全項目の合計は、1年間の実人員数に一致します。
- ・「その他」を選択された施設は具体的内容をご記入ください。

11. ボランティアの受入実績

- ・平成24年度1年間（平成24年4月1日～平成25年3月31日）に受入れたボランティアの延べ人数を記入してください。1人を1週間受入れた場合、7人となります。

12. 職員の状況

(1) 貴施設の職員について

今回の調査では、職員に関する状況について貴施設全体の状況をご回答いただきます。

以下の①から⑥の状況を伺いますので、職種ごとに、平成25年10月1日現在の職員の状況について、数字を記入してください。

①職種

- ・職種は、貴施設独自の呼称ではなく、人員配置上の職種でお答えください。
- ・兼務の場合は、どちらかの主たる職種のみ記入ください。（1人1職種となります。）

②平均年齢

- ・平成25年10月1日現在の各職員の満年齢をもとに計算してください。月数は切り捨ててください。
- ・平均年齢は、小数点第2位以下は四捨五入してください。（例：31.66→「31.7」と記入）

例：平均年齢→ A氏35歳11か月、B氏38歳1か月、C氏40歳の3名の場合

①各氏の「月」は切り捨てる。 → A氏35歳、B氏38歳、C氏40歳

②そのうえで、平均年齢を計算。小数点第二位以下は四捨五入する。

$$(35 + 38 + 40) \div 3 = 37.66 \dots \rightarrow 37.7 \text{ 歳}$$

### ③平均勤続年数

- ・平成 25 年 10 月 1 日現在の各職員の満年齢をもとに計算してください。月数は切り捨ててください。
- ・平均勤続年数は、小数点第 2 位以下は四捨五入してください。(例：10.66→「10.7」と記入)

例：平均勤続年数→ A 氏 10 年 3 か月、B 氏 12 年 9 か月、C 氏 3 年 11 か月の 3 名の場合

①各氏の「月」は切り捨てる。 → A 氏 10 年、B 氏 12 年、C 氏 3 年

②そのうえで、平均勤続年数を計算。小数点第二位以下は四捨五入する。

$$(10 + 12 + 3) \div 3 = 8.33 \dots \rightarrow 8.3 \text{ 年}$$

- ・勤続年数の考え方は、以下のとおりとします。

職員の勤続年数の算定は、現在の職種における勤続年数ではなく、現に勤務する施設における勤続年数及び当該職員のその他の社会福祉施設における勤続年数を合算すること。

### ④常勤・非常勤

- ・常勤とは、期間の定めのないフルタイムの職員のことをいい、非常勤は常勤以外のすべての職員のことを指します。

### ⑤常勤換算方法による人数

- ・常勤換算方法とは、貴施設の従業者の勤務延時間数の総数を貴施設において常勤の従業者が勤務すべき時間数で除することにより、当該施設の従業者の員数を常勤の従業者の員数に換算する方法です。
- ・小数点第 1 位まで入力してください。 (小数点第 2 位以下は四捨五入)

例：貴施設の常勤の職員が 1 週間あたりに勤務する時間数を 40 時間とする。

・週に 20 時間勤務する者の常勤換算方法による職員数： $20 \div 40 = 0.5$  0.5 人

・週に 12 時間勤務する者の常勤換算方法による職員数： $12 \div 40 = 0.3$  0.3 人

### ⑥資格取得者数

- ・職種ごとに、各資格の取得人数について記入してください。

## (2) 加算等の状況

- ・「生活保護法による保護施設事務費及び委託事務費の取扱いについて (昭和 63 年 5 月 27 日 社施第 85 号 各都道府県知事・各指定都市市長宛 厚生省社会局長通知) による障害者入所率などにおける加算のある施設は、該当するすべての選択肢のをクリックした上で、加算人数を数値記入してください。
- ・自治体における加配のある施設は「自治体による加配」のをクリックした上で、職種と加算人数をご記入ください。
- ・「1:なし」を選択した場合、他の回答よりも優先されます。(他の回答は選択できません)

## 13. 夜間の勤務体制について

- ・該当する選択肢のをクリックし人数を記入してください。また、このうち業務委託による人数を記入してください。

14. 民間業者等への業務委託等

- ・業務委託等についてお伺いいたします。
- ・外部委託（一部委託を含む）している業務やリース等の活用があれば、該当するすべての選択肢の□をクリックしてご回答ください。
- ・その他については、具体的な業務を記入してください。
- ・「1:なし」を選択した場合、他の回答よりも優先されます。（他の回答は選択できません）

15. 貴施設で行っている日中活動支援について

- ・該当するすべての選択肢の□をクリックしてご回答ください。
- ・「8:その他」を選択された施設は、内容を具体的に記入してください。
- ・「作業支援（創作、生産活動支援）」を選択された施設は、作業収入の還元（支払い）について該当する選択肢のいずれか1つの○をクリックして選んでください。
- ・「2:支払いあり」を選択した場合は、人数と1人あたりの平均支払月額（小数点以下四捨五入）を記入してください。

16. 入浴の状況について

- ・自立入浴者、介助入浴者、機械・特殊浴入浴者別にご回答ください。

(1) 自立入浴について

①対象人数についてご記入ください。なお、対象者がいない場合は「対象者なし」にチェックしてください。「対象者なし」のチェックが優先されるため、以下②～④は記入不要です。

②－(i) 週あたりの浴室利用可能日数をご記入ください。

②－(ii) 1人の週当たりの平均入浴回数をご記入ください。

③ 入浴日について、該当する選択肢のいずれか1つを選んでください。

例) 施設として、毎日入浴ができるよう浴室の利用は可能であるが、自立入浴者が多いため、一日では全員が入浴できず、一日交替で入浴する人を指定している場合は、

②－(i): 7日/週, ②－(ii): 3.5日/週, ③: 「入浴のできる日が決められている」となる。

④入浴時間帯について

- ・利用者が入浴時間を選択できるか、できないかについて伺います。

**時間帯が決められている**

- ・時間帯によって入浴対象者が決まっているが、その時間帯（2時間以上の幅）の中であれば、自由に入浴できる。

- ・（介助浴、機械・特殊浴等、介助者、設備の都合等により）入浴の時間が決められている。

**時間帯が決められていない**

- ・特に入浴時間に決まりがなく、自由に入浴できる。

(2)、(3) 介助入浴、機械・特殊浴入浴について

①対象人数についてご記入ください。なお、対象者がいない場合は「対象者なし」にチェックしてください。また、対象者がいない場合、以下②～③は記入不要です。

②1人の週当たりの平均入浴回数をご記入ください。

③入浴時間について

・利用者が入浴時間を選択できるか、できないかについて伺います。

自由に入浴できる

・特に入浴時間に決まりがなく、自由に入浴できる。

一定の時間帯の中で、自由に入浴できる

・時間帯によって入浴対象者が決まっているが、その時間帯（2時間以上の幅）の中であれば、自由に入浴できる。

入浴時間を選択できない

・上記の選択肢に当てはまらない場合。

・（介助浴、機械・特殊浴等、介助者、設備の都合等により）入浴の時間が決められている。

17. 金銭の管理状況について

・金銭管理の状況について、該当する人数を記入してください。

・「一部施設管理」に該当者がある施設は、具体的な管理状況をご記入ください。

18. 食事の提供について

(1) 提供している選択食の状況

・貴施設で提供している選択食の状況について、朝・昼・夕食それぞれ該当するいずれか1つの選択肢の○をクリックして選んでください。土・日・祝日を除き、平日は実施しているような場合には、「ほぼ毎食実施」を選択してください。

(2) 食事時間等の状況について

①一斉食事の有無について

・食事時間帯であれば、自由に好きなときに食事を摂れる場合は「なし」、食事開始時間に一斉に食べ始める場合は「2:あり」の選択肢の○をクリックして選んでください。

②食事時間について

・貴施設の食事時間をお聞きします。該当するいずれか1つの選択肢の○をクリックして選んでください。また、朝・昼・夕食で食事時間が異なる場合は、3食の平均時間でお答えください。

③夕食の食事開始時間について

・該当するいずれか1つの選択肢の○をクリックして選んでください。

④業務委託の有無について

・食事の用意・後片付けに関する業務委託について、該当するいずれか1つの選択肢の○をクリックして選んでください。

(3) 食事用自助具の状況について

- ・選択肢のうち該当するものいずれか1つの選択肢の○をクリックして選んでください。
- ・「1:使用している人がいる」を選択した場合、1-1 または 1-2 についてもいずれか1つの選択肢の○をクリックして選んでください。
- ・「2:使用している人はいない」を選択した場合、2-1 または 2-2 についてもいずれか1つの選択肢の○をクリックして選んでください。

(4) 施設内でのアルコール類の飲酒状況について

- ・選択肢のうち該当するものいずれか1つの選択肢の○をクリックして選んでください。
- ・それぞれの選択肢を選んだ理由もご記入ください。

19. 医療的ケアについて

(1) 施設外通院数について

- ・平成 25 年 10 月の 1 か月間に施設外の医療機関へ貴施設の利用者が通院した**延べ人数**を記入してください。1 人の人が 10 回通院した場合、10 人となります。
- ・また、通院した延べ人数のうち、職員が介助（同行）した利用者の延べ人数も記入してください。
- ・介助（同行）率は自動的に計算されて表示されるので記入は不要です。

(2) 施設内での医療的ケアについて

- ・施設内での医療的ケア（25 項目）について、平成 25 年 10 月 1 日（火）から 7 日（月）の 1 週間のうちで、それを受けられた**医療的ケアごとの利用者の実人員と延べ回数**をご記入ください。
- ・体調は悪くないが、「健康診断」のために「検尿」や「採血」を行った場合などは、含めないでください。
- ・定期的に「血中濃度」を調べるために行われている「採血」等は含めてください。

## ◆ 利用者の状況 救護施設実態調査\_利用者版 2013.xls

### 利用者版入力手順

- ・問 20 から問 34 までを 10 のシートに分けています。
- ・各シートの左上の「次へ」ボタンをクリックすると、次のシートへ移動できます。「戻る」をクリックすると前のシートへ戻ります。
- ・MAINのシートにある「施設コード」に、同封の施設コード一覧の番号を入力してください。施設コードを入力すると自動的に施設名が表示されます。

### 利用者版 個別各設問についての説明

#### 20. 性別、年齢、入所期間等

- ・基準日（平成 25 年 10 月 1 日）において、施設に在籍している利用者（入院している利用者も含む）についてご回答ください。また、入院中の方については、施設に在籍している場合はカウントしてください。

##### ①性別

- ・男性、女性について、各人数をまとめて記入してください。

##### ②年齢

- ②－i 10 月 1 日現在の満年齢について、各年代別の人数をまとめて記入してください。月数は切り捨ててください。（例：61 歳 11 ヶ月→「61」）
- ②－ii 入所時の年齢について、各年代別の人数をまとめて記入してください。

##### ③入所期間

- ・各期間別の人数をまとめて記入してください。

#### 21. 入所形態の状況

##### ①生活保護の給付の有無

- ・基準日（平成 25 年 10 月 1 日）において、それぞれの人数をまとめて記入してください。

##### ②自己負担について

- ・基準日において、それぞれの人数をまとめて記入してください。
- ・入院されている利用者については、入院前の状況でカウントしてください。

##### ③障害者加算の有無（生活保護受給の有無を問わない）

- ・基準日において、それぞれの人数をまとめて記入してください。

22. 入所前の状況

- ・利用者の入所前の状況について、各選択肢に該当する人数をまとめて記入してください。
- ・介護保険施設とは、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」「介護老人保健施設（老人保健施設）」「介護療養型医療施設（療養型病床群等）」です。
- ・介護保険施設以外の老人福祉施設とは、「養護老人ホーム」「軽費老人ホーム」「ケアハウス」です。
- ・その他に該当する利用者がある場合は、①～⑤の欄に具体的に記入し、それぞれの人数を記入してください。

23. 貴施設への再入所経験の有無

- ・各選択肢の人数をまとめて記入してください。
- ・対象時期の制限はありません。

24. 利用者の障害状況

- ・各利用者の重複障害の有無を含めた障害状況を伺います。
- ・各選択肢の人数をまとめて記入してください。
- ・その他に該当する利用者がある場合は、①～⑤の欄に具体的に記入し、それぞれの人数を記入してください。

25. 身体障害の状況

- ・設問 24 にて身体障害ありにカウントされた利用者についてご記入ください。
- ・**全利用者が身体障害なしの場合は記入不要です。**
- ・利用者が身体障害者手帳を所持しているか伺います。  
該当する選択肢にそれぞれ人数をまとめて記入してください。

所持している：「1:あり」に人数を記入し、身体障害者手帳に記載されている内容を、②～③の選択肢にそれぞれ人数をまとめて記入してください。

所持していない：「2:なし」に人数を記入し、別冊参考資料【別紙 1】を参考にして、身体障害者の状況を、④～⑤の各欄に表示される選択肢にそれぞれ人数をまとめて記入してください。

## 26. 知的障害の状況

- ・設問 24 にて知的障害ありにカウントされた利用者についてご記入ください。
- ・**全利用者が知的障害なしの場合は記入不要です。**
- ・利用者が療育手帳等を所持しているか伺います。  
該当する選択肢にそれぞれ人数をまとめて記入してください。

所持している : 「1:あり」に人数を記入し、療育手帳等に記載されている内容を、②の各選択肢にそれぞれ人数をまとめて記入してください。

療育手帳の区分が重度 (A) / その他 (B) の 2 区分しかない場合は、【別紙 2】「知的障害児 (者) 基礎調査 (平成 12 年度・厚労省実施)」に用いた判定基準を準用し、カウントしてください。

所持していない : 「2:なし」に人数を記入し、別冊参考資料【別紙 2】「知的障害児 (者) 基礎調査 (平成 12 年度・厚生省実施)」に用いた判定基準を準用して、知的障害者の状況を、③の選択肢にそれぞれ人数をまとめて記入してください。

## 27. 精神障害の状況

- ・設問 24 にて精神障害ありにカウントされた利用者についてご記入ください。
- ・**全利用者が精神障害なしの場合は記入不要です。**
- ・利用者が精神障害者保健福祉手帳等を所持しているか伺います。  
該当する選択肢にそれぞれ人数をまとめて記入してください。

所持している : 「1:あり」に人数を記入し、精神障害者保健福祉手帳に記載されている内容を、②～③の選択肢にそれぞれ人数をまとめて記入してください。

所持していない : 「2:なし」に人数を記入し、別冊参考資料【別紙 3】「精神障害者保健福祉手帳の手引き」障害等級判定の考え方の「障害等級の判定基準」を準用して④～⑤の選択肢にそれぞれ人数をまとめて記入してください。

- ・精神疾患 (機能障害) の状況について「てんかん」は、「てんかんによる精神疾患の状態」として精神障害者保健福祉手帳の対象となっているか、それに準ずる状態の場合について、該当するものとしてください。
- ・「その他の精神疾患」とは、精神障害者保健福祉手帳の判定基準にある“神経症性障害”、“ストレス関連障害”、“成人の人格及び行動の障害”、“食行動異常や睡眠障害を含む生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群”、“心理的発達の障害”、“小児 (児童) 期及び青年期に生じる行動及び情緒の障害”、などを指します。

28. 特定疾患の有無

- ・各選択肢の人数をまとめて記入してください。
- ・本設問での特定疾病とは、介護保険第2号被保険者の要件となる特定疾病と、公費対象45疾患（特定疾患治療研究事業）の特定疾患です。

29. 生活能力の状況

- ・各利用者の生活能力（金銭管理、意思伝達、電話、マナー、公共機関の利用、交通機関の利用）について伺います。
- ・①～⑥の各項目について、該当する選択肢にそれぞれ人数をまとめて記入してください。
- ・選択肢の内容は、本調査に対する回答に限った区分として、調査・研究・研修委員会が整理したものです。

30. 現在受診している科目

- ・平成25年10月1日～31日の間に受診した利用者の有無についていずれか1つの○をクリックしてください。
- ・「1:受診していない」を選択した場合は、以下の項目に回答する必要はありません。
- ・「2:受診している」を選択した場合は、受診している利用者の科目別人数をまとめて記入してください。
- ・受診科目が選択肢にない場合は、「19:その他」①～⑤に具体的に記入し、人数をまとめて記入してください。
- ・施設内受診（施設内に診療所がある場合など）や往診も含めて、平成25年10月の1か月間に受診した科目が該当します。利用者全員が受診する定例的なもの（定期検診等）は含めないでください。

31. 食事について

①形態について

該当する選択肢の人数をまとめて記入してください。

該当する選択肢が無い場合、「7:その他」①～⑤に具体的に記入し、人数をまとめて記入してください。

**普通食**＝施設において提供する食事の中で、基本的なもの。（ご飯がお粥の場合を含む）

**キザミ食**＝普通食を刃物で一口大またはそれ以下に切る等、刻んだもの。

**極キザミ食**＝普通食をフードプロセッサ等にかき、特に細かく刻んだもの。

**ミキサー食**＝普通食をミキサー等によって細かく砕き、ジュース状にしたもの。

**ペースト食**＝普通食をすりつぶし、糊（のり）状にしたもの。

**流動食**＝流動状の食べ物

## ②治療食について

- ・該当する選択肢の人数をまとめて記入してください。
- ・該当する選択肢が無い場合、「7:その他の治療食」①～⑤に具体的に記入し、人数をまとめて記入してください。

**治療食**＝疾病治療の直接手段として、医師の発行する食事箋に基づいたもの。

## 32. 現在利用している日中活動等について

- ・該当する選択肢の人数をまとめて記入してください。
- ・「2:外勤」に該当する利用者がいる場合は、10月1日の1日の平均時間についても記入してください。
- ・該当する選択肢が無い場合、「4:その他」①～⑤に具体的に記入し、人数をまとめて記入してください。

## 33. 利用者の今後の進路（施設長の考え）

- ・この設問は、現在入所している利用者に関して、今後3年程度の見通しの中で、施設長の視点で適切と考える場をご記入ください。地域の社会資源の有無に関わらず、その利用者にとってふさわしい、という観点でご回答ください。

### ①居住の場の面から

- ・該当する選択肢の人数をまとめて記入してください。・該当する選択肢が無い場合、「10:その他」①～⑤に具体的に記入し、人数をまとめて記入してください。

### ②就労あるいは日中活動の面から

- ・該当する選択肢の人数をまとめて記入してください。
- ・該当する選択肢が無い場合、「7:その他」①～⑤に具体的に記入し、人数をまとめて記入してください。

## 34. 退所者の状況

- ・平成24年度（1年間）の退所者の状況についてお伺いします。
- ・①～⑩について、該当する選択肢の人数をまとめて記入してください。
- ・平成24年度（1年間）の退所者がいない場合は白紙のままご提出ください。

## ご提出方法

★ご回答内容について本会から照会させていただく場合がありますので、回答後も施設の控えとして施設版、利用者版、それぞれの記入済み入力フォームファイルを必ず保管してください。

### ★【ご提出の流れ】

本調査では、回収用のファイルを作成してご提出いただきます。

【施設版】 救護施設実態調査 2013.xls 及び 《利用者版》 救護施設実態調査 2013.xls

いずれもすべての入力の完了を確認後、いったんエクセルを終了させてください。  
この時「ファイルの変更を保存する」または「上書き保存」を選択してください。

その後、あらためてそれぞれのファイルを開き、各ファイル内の「MAIN」シートを選択し「納品ファイル作成」ボタンをクリックして返却用ファイルを作成してください。

ご提出は、上記処理で作成される以下の2本のファイルのみです。

●●●平成 25 年度実態調査施設版\_返却用.xls

●●●平成 25 年度実態調査利用者版\_返却用.xls

※●部分は貴施設番号で自動的に付けられます。

納品ファイルは、 A6Y22\_mb3@msad.ms-ad-ins.com へ添付ご返信ください。

<ご返送・ご返送いただく前にご確認ください>

※返却用ファイルは、調査の回答完了後に作成したものをお送りください。

不明な場合には、あらためて「納品ファイル作成」で再作成したものをお送りください。

※納品ファイルがメールに添付されていることを必ずご確認ください。

締切： 平成26年1月31日（金）

## ご協力ありがとうございました。

問合せ先：全国社会福祉協議会 高年・障害福祉部【担当／小林】

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL 03-3581-6502

FAX 03-3581-2428

平成25年度 全国救護施設実態調査・調査票 -施設版- (回答用紙)

1. 基本情報

① 施設番号	
② 施設の名称	
③ ご記入者名	
④ お問い合わせ先電話番号	
⑤ お問い合わせ先E-mailアドレス	
⑥ 開設年月(西暦)	年
⑦ 運営形態	<input type="radio"/> 1: 公設公営 <input type="radio"/> 2: 公設民営(社会福祉事業団も含む) <input type="radio"/> 3: 民設民営
⑧ 指定管理施設 ※ ⑦が公設民営の場合のみ回答	<input type="radio"/> 1: 指定管理施設である <input type="radio"/> 2: 指定管理施設でない
⑨ 入所者定員	人
⑩ 入所者現員	人
⑪ 平成24年度延べ利用人員	人

## 2. 施設の概況

### (1) 貴施設で実施している事業

該当するものにチェックをつけ、「その他」の場合には括弧の中に具体的にご記入ください。 (複数回答)	
<input type="checkbox"/> 1: 実施していない	
<input type="checkbox"/> 2: 保護施設通所事業	
<input type="checkbox"/> 3: 居宅生活訓練事業	
<input type="checkbox"/> 4: 一時入所事業	
<input type="checkbox"/> 5: 居宅生活移行支援事業(無料低額宿泊施設)	
<input type="checkbox"/> 6: サテライト型救護施設	
<input type="checkbox"/> 7: その他 ( )	

### (2) 貴施設以外で貴法人が実施する事業 (公設民営・民設民営施設のみ)、経営する施設

該当するもの全てにチェックをつけ、「その他」の場合には括弧の中に具体的にご記入ください。 (複数回答)	
<input type="checkbox"/> 1: 貴施設以外に法人内で他に実施する事業、経営する施設はない	
<input type="checkbox"/> 2: 救護施設(貴施設以外)	<input type="checkbox"/> 17: 就労継続支援B型
<input type="checkbox"/> 3: 更生施設(生活保護法による)	<input type="checkbox"/> 18: 移動支援
<input type="checkbox"/> 4: 居宅介護	<input type="checkbox"/> 19: 地域活動支援センター
<input type="checkbox"/> 5: 重度訪問介護	<input type="checkbox"/> 20: 福祉ホーム
<input type="checkbox"/> 6: 行動援護	<input type="checkbox"/> 21: 相談支援事業(市町村委託あり)
<input type="checkbox"/> 7: 重度障害者等包括支援	<input type="checkbox"/> 22: 相談支援事業(市町村委託なし)
<input type="checkbox"/> 8: 短期入所(ショートステイ)	<input type="checkbox"/> 23: 障害児(者)地域療育等支援事業(知的)
<input type="checkbox"/> 9: 療養介護	<input type="checkbox"/> 24: 特別養護老人ホーム(指定介護老人福祉施設)
<input type="checkbox"/> 10: 生活介護	<input type="checkbox"/> 25: 養護老人ホーム
<input type="checkbox"/> 11: 施設入所支援	<input type="checkbox"/> 26: 老人デイサービス(通所介護)
<input type="checkbox"/> 12: 共同生活介護(ケアホーム)	<input type="checkbox"/> 27: 老人ショートステイ
<input type="checkbox"/> 13: 共同生活援助(グループホーム)	<input type="checkbox"/> 28: 老人ホームヘルプサービス
<input type="checkbox"/> 14: 自立訓練	<input type="checkbox"/> 29: 在宅介護支援センター
<input type="checkbox"/> 15: 就労移行支援	<input type="checkbox"/> 30: ホームレス自立支援センター
<input type="checkbox"/> 16: 就労継続支援A型	<input type="checkbox"/> 31: 保育所
<input type="checkbox"/> 32: その他 ( )	

### 3. 建物等について

#### (1)現在の1人あたりの居室面積

	m <sup>2</sup> (小数点第1位まで記入)
--	-----------------------------

#### (2)居室の数

1: 1人部屋		室
2: 2人部屋		室
3: 3人部屋		室
4: 4人部屋		室
5: 5人以上部屋		室

#### (3)築年数

	年		か月	(1か月に満たない場合は切り捨て)
--	---	--	----	-------------------

### 4. IT環境

#### (1)ホームページの開設の有無

<b>該当するもの一つにチェックをつけてください。</b>	
<input type="radio"/>	1: 法人・施設独自にホームページを開設
<input type="radio"/>	2: 開設準備中
<input type="radio"/>	3: 未開設

#### (2)ホームページの更新 **4.(1)で「1:ホームページを開設」と回答の場合のみ**

<b>該当するもの一つにチェックをつけ、「5:その他」の場合は記入欄に具体的にご記入ください。</b>	
<input type="radio"/>	1: 随時(月1回以上)
<input type="radio"/>	2: 半年に1回程度
<input type="radio"/>	3: 1年に1回程度
<input type="radio"/>	4: 更新はほとんどしない
<input type="radio"/>	5: その他 [ ]

## 5. 個別支援計画書の取り組みについて

### (1) 現在使用のツールについて

<b>該当するものにチェックをつけてください。(複数回答)</b> <b>「5:上記以外～」を選択した場合は記入欄へ具体的にご記入下さい。</b>	
<input type="checkbox"/>	1: 個別支援計画を作成していない
<input type="checkbox"/>	2: 個別支援計画書(完成版)を使用している
<input type="checkbox"/>	3: 個別支援計画書(体験版)を使用している
<input type="checkbox"/>	4: 施設で独自に作成した個別支援計画書を使用している
<input type="checkbox"/>	5: 上記以外の既存の個別支援計画書を使用している
内容:	{ }

### (2) 今後予定しているツールについて

<b>該当するものにチェックをつけてください。(複数回答)</b> <b>「4:上記以外～」を選択した場合は記入欄へ具体的にご記入下さい。</b>	
<input type="checkbox"/>	1: 個別支援計画書(完成版)の使用を予定・検討している
<input type="checkbox"/>	2: 個別支援計画書(体験版)の使用を予定・検討している
<input type="checkbox"/>	3: 施設で独自に作成した個別支援計画書の使用を予定・検討している
<input type="checkbox"/>	4: 上記以外の既存の個別支援計画書の使用を予定・検討している
内容:	{ }

### (3) 研修について

<b>該当するもの一つにチェックをつけてください。</b>	
<input type="radio"/>	1: 個別支援計画に関する職場内研修を実施している
<input type="radio"/>	2: 個別支援計画に関する職場内研修を実施していない

## 6. サービス評価の取り組みについて

### (1) 自己評価の取り組み状況について

該当するもの一つにチェックをつけてください。	
<input type="radio"/> 1:	自己評価を毎年実施している
<input type="radio"/> 2:	自己評価を実施したことがある
<input type="radio"/> 3:	自己評価に取り組んだことがない

### (2) 自己評価で使用のツールについて 6.(1)で「1:毎年実施している/2:実施したことがある」と回答の場合のみ

該当するものにチェックをつけてください。(複数回答)	
<input type="checkbox"/> 1:	救護施設サービス評価基準Ver. 2
<input type="checkbox"/> 2:	救護施設サービス評価基準以外

### (3) 第三者評価について

該当するもの一つにチェックをつけ、それぞれの記入欄をご記入ください。		
<input type="radio"/> 1:	平成24年度までに施設として第三者評価を受審したことがある	受審回数: 回
<input type="radio"/> 2:	平成24年度までに第三者評価を受審していないが今後受審予定である	予定年度: 年度
<input type="radio"/> 3:	第三者評価を受審したことはなく、いまのところ今後も具体的な受審予定がない	
	理由:	( )

## 7. リスクマネジメント取り組み状況

### (1) リスクマネジメントに関する検討体制について

該当するもの一つにチェックをつけ、「2:設置していない」場合は記入欄に理由をご記入ください。	
<input type="radio"/> 1: 委員会等の検討体制を設置している	
<input type="radio"/> 2: 委員会等の検討体制は設置していない	
理由:	[ ]

### (2) 委員会・検討会の開催間隔 7. (1)で「1:設置している」と回答の場合のみ

該当するもの一つにチェックをつけ、「4:ほとんど開催しない」場合は記入欄に理由をご記入ください。	
<input type="radio"/> 1: 年5回以上	
<input type="radio"/> 2: 年3回～年4回	
<input type="radio"/> 3: 年1回～年2回	
<input type="radio"/> 4: ほとんど開催しない	
理由:	[ ]

### (3) 事例収集(事故事例・インシデントレポート)の実施について

該当するもの一つにチェックをつけてください。	
<input type="radio"/> 1: 事故事例・インシデントレポート(ヒヤリハット事例)のどちらも記録している	
<input type="radio"/> 2: 事故事例の記録はしているがインシデントレポートはしていない	
<input type="radio"/> 3: インシデントレポートの記録はしているが事故事例はしていない	
<input type="radio"/> 4: 事故事例・インシデントレポートのどちらも記録していない	

### (4) リスクマネジャー(リスクマネジメント推進担当者)の設置について

該当するもの一つにチェックをつけてください。	
<input type="radio"/> 1: リスクマネジャーを設置している	人数: 人
<input type="radio"/> 2: リスクマネジャーを設置していない	

### (5) リスクマネジャーの該当職種

該当するもの一つにチェックをつけ、「その他」の場合は記入欄に具体的にご記入ください。 (複数回答)	
<input type="checkbox"/> 1: 施設長	<input type="checkbox"/> 5: 主任介護職員
<input type="checkbox"/> 2: 副施設長	<input type="checkbox"/> 6: 指導員
<input type="checkbox"/> 3: 事務長	<input type="checkbox"/> 7: 介護職員
<input type="checkbox"/> 4: 主任指導員	<input type="checkbox"/> 8: 看護師
<input type="checkbox"/> 9: その他 [ ]	

## 8. 苦情解決の取り組み状況

### (1) 苦情解決体制について

該当するもの一つにチェックをつけてください。	
<input type="radio"/>	1: 苦情解決体制を整備しており、第三者委員を配置している
<input type="radio"/>	2: 苦情解決体制を整備しているが、第三者委員は配置していない
<input type="radio"/>	3: 苦情解決体制を整備していない

### (2) 苦情件数について(平成24年度実績)

1: 職員の接遇	件
2: サービスの質や量	件
3: 説明・情報提供	件
4: 被害・損害	件
5: 権利侵害	件
6: その他	件
合計	件

その他内容:

### (3) 第三者委員会の開催状況

該当するもの一つにチェックをつけてください。	
<input type="radio"/>	1: 開催なし
<input type="radio"/>	2: 開催あり

回数:    回    (平成24年度)

## 9. 市町村における障害福祉計画等への参画

### (1) 貴施設(法人)役職員の計画への参画

該当するもの一つにチェックをつけ、「3:関わっている」場合は記入欄に具体的にご記入ください。	
<input type="radio"/> 1: 計画策定委員会等に委員として参画した(している)	
<input type="radio"/> 2: 計画策定委員会等に委員として参画はしていないが、委員会等に対し、意見を述べた	
<input type="radio"/> 3: 計画策定委員会等には委員として参画はしていないが、計画策定に関わっている	
内容: {	}
<input type="radio"/> 4: 計画策定には関わっていない	

### (2) 自立支援プログラム(生活保護制度)への協力

該当するもの一つにチェックをつけ、「2:協力している」場合はプログラム名をご記入ください。	
<input type="radio"/> 1: 協力していない	
<input type="radio"/> 2: 協力している	プログラム名: {

## 10. 実習者(見学をのぞく)の受入実績

### 平成24年度中に受け入れた実習者の実人員

1: 社会福祉関係資格取得志願者	人
2: 教職免許取得志願者	人
3: 司法修習生	人
4: 福祉教育	人
5: その他	人
合計	人

その他内容: {

## 11. ボランティアの受入実績

### 平成24年度中に受け入れた延べ人数

平成24年度 1年間の延べ人数	人
-----------------	---

該当するものにチェックをつけてください。(複数回答可)	
<input type="checkbox"/> 1: 定期的に活動するボランティアがいる	
<input type="checkbox"/> 2: イベントの時活動するボランティアがいる	



## 12. 職員の状況

### (2)加算等の状況

該当するものにチェックをつけ、[加算人数]をご記入下さい。(複数回答) 「6:自治体による加配」の場合は、[職種]および[加算人数]をご記入ください。			
<input type="checkbox"/>	1: なし		
<input type="checkbox"/>	2: 看護師加算	加算人数:	人
<input type="checkbox"/>	3: 指導員加算	加算人数:	人
<input type="checkbox"/>	4: 介護職員加算	加算人数:	人
<input type="checkbox"/>	5: 精神保健福祉士加算	加算人数:	人
<input type="checkbox"/>	6: 自治体による加配	職種:	加配人数: 人
		職種:	加配人数: 人
		職種:	加配人数: 人

## 13. 夜間の勤務体制について

該当するものにチェックをつけ、[人数]をご記入下さい。(複数回答)			
<input type="checkbox"/>	1: 宿直	人数:	人 うち業務委託: 人
<input type="checkbox"/>	2: 夜勤	人数:	人 うち業務委託: 人

## 14. 民間業者等への業務委託等

該当するものにチェックをつけてください。(複数回答) 「14:その他」の場合は記入欄へ具体的にご記入下さい。	
<input type="checkbox"/>	1: なし
<input type="checkbox"/>	2: 給与事務関係
<input type="checkbox"/>	3: 会計事務関係
<input type="checkbox"/>	4: 移送(運転)業務関係
<input type="checkbox"/>	5: 給食関係
<input type="checkbox"/>	6: 設備機器・器具等のメンテナンス
<input type="checkbox"/>	7: 洗濯関係
<input type="checkbox"/>	8: 施設清掃関係
<input type="checkbox"/>	9: ゴミ処理関係
<input type="checkbox"/>	10: 宿直・当直関係
<input type="checkbox"/>	11: 夜勤関係
<input type="checkbox"/>	12: 警備関係(含むガードマン)
<input type="checkbox"/>	13: リネン類のリース
<input type="checkbox"/>	14: その他( )

### 15. 日中活動支援の内容について

該当するものにチェックをつけてください。(複数回答) 「8:その他」の場合は記入欄へ具体的にご記入下さい。	
<input type="checkbox"/>	1: 生活支援(入浴、排泄、食事等の支援)
<input type="checkbox"/>	2: 機能訓練(リハビリ等)
<input type="checkbox"/>	3: 作業支援(創作、生産活動支援)
<input type="checkbox"/>	4: 社会能力支援(金銭管理、マナー、外出等)
<input type="checkbox"/>	5: 余暇活動支援(レクリエーション、旅行等)
<input type="checkbox"/>	6: 施設外支援(外勤)
<input type="checkbox"/>	7: 就労移行支援
<input type="checkbox"/>	8: その他 [ ]

### 作業収入の還元(作業収入の支払い) 15. で「3:作業支援」にチェックした場合のみ

該当するものにチェックをつけ、「2:支払いあり」の場合は記入欄へ数値をご記入下さい。	
<input type="radio"/>	1: 支払いなし
<input type="radio"/>	2: 支払いあり
	人数: 人 1人あたりの平均支払月額: 円/月

### 16. 入浴の状況について

(1) 自立入浴(介助なし)について  対象者なし ←対象者がいない場合はチェックをつけてください

① 対象者の人数	人
②_i 週当たりの浴室が利用できる日数	日/週
②_ii 1人の週当たりの平均入浴回数:	回/週

#### ③ 入浴日について

該当するもの一つにチェックをつけてください。	
<input type="radio"/>	1: 入浴のできる日が決められている
<input type="radio"/>	2: 入浴のできる日が決められていない

#### ④ 入浴時間帯について

該当するもの一つにチェックをつけてください。	
<input type="radio"/>	1: 時間帯が決められている
<input type="radio"/>	2: 時間帯が決められていない

## 平成25年度 全国救護施設実態調査・調査票 -施設版- (回答用紙)

### (2) 介助入浴について

対象者なし ←対象者がいない場合はチェックをつけてください

#### ① 対象者の人数

人

#### ② 1人の週当たりの平均入浴回数:

回/週

#### ③ 入浴時間について

該当するもの一つにチェックをつけてください。

- 1: 自由に入浴できる
- 2: 一定の時間帯の中で、自由に入浴できる
- 3: 入浴時間を選択できない

### (3) 機械・特殊浴入浴について

対象者なし ←対象者がいない場合はチェックをつけてください

#### ① 対象者の人数

人

#### ② 1人の週当たりの平均入浴回数:

回/週

#### ③ 入浴時間について

該当するもの一つにチェックをつけてください。

- 1: 自由に入浴できる
- 2: 一定の時間帯の中で、自由に入浴できる
- 2: 入浴時間を選択できない

## 17. 金銭の管理状況

1: 全額自己管理	人数:	人
2: 全額施設管理	人数:	人
3: 一部施設管理	人数:	人
管理の状況:	( )	

## 18.食事の提供について

### (1)提供している選択食の状況

朝食	<input type="radio"/> ほぼ毎食実施	<input type="radio"/> ときどき実施(少なくとも月1回以上)	<input type="radio"/> 実施していない
昼食	<input type="radio"/> ほぼ毎食実施	<input type="radio"/> ときどき実施(少なくとも月1回以上)	<input type="radio"/> 実施していない
夕食	<input type="radio"/> ほぼ毎食実施	<input type="radio"/> ときどき実施(少なくとも月1回以上)	<input type="radio"/> 実施していない

### (2)食事時間等の状況

#### ① 一斉食事の有無

<input type="radio"/> 1: なし(一定の時間の中で、自由に食事を摂れる)
<input type="radio"/> 2: あり(一斉に食事を摂る)

#### ② 食事時間

<input type="radio"/> 1: ~30分	<input type="radio"/> 2: 31分~45分	<input type="radio"/> 3: 46分~60分	<input type="radio"/> 4: 特に決まっていない
-------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	------------------------------------

#### ③ 夕食の食事開始時間

<input type="radio"/> 1: 16時台	<input type="radio"/> 2: 17時台	<input type="radio"/> 3: 18時台
<input type="radio"/> 4: 19時台	<input type="radio"/> 5: 20時台	<input type="radio"/> 6: 21時台

#### ④ 業務委託の有無

<input type="radio"/> 1: あり	<input type="radio"/> 2: なし
-----------------------------	-----------------------------

### (3)食事用自助具の状況

「1:~」、「2:~」いずれか該当するもの一つにチェックをつけてください。  
また、チェックをつけた方の枝番にもいずれか一つにチェックをつけてください。

<input type="radio"/> 1: 使用している人がいる
1-1: <input type="radio"/> 自助具は施設が提供している
1-2: <input type="radio"/> 自助具は自己負担にて購入している
<input type="radio"/> 2: 使用している人はいない
2-1: <input type="radio"/> 必要があれば自助具は施設が提供する
2-2: <input type="radio"/> 必要があれば自助具は自己負担にて購入していただく

### (4)アルコール類飲酒状況とその理由

該当するもの一つにチェックをつけ、理由がある場合、記入欄にご記入ください。

<input type="radio"/> 1: 制限なし	
<input type="radio"/> 2: 一部制限	
<input type="radio"/> 3: 全面禁止	
理由	

# 平成25年度 全国救護施設実態調査・調査票 -施設版- (回答用紙)

## 19.医療的ケアについて

### (1)施設外通院数について

平成25年 10月の(1か月間)

1: 施設外通院延べ人数	人
2: うち介助(同行)延べ人数	人
3: 介助(同行)率	%

\*自動計算で表示されます

### (2)施設内での医療的ケアについて

※健康診断によるものは除く

平成25年 10月1日～7日の(1週間)

	延べ回数	実人数
1: 服薬	回	人
2: 点眼	回	人
3: 点耳	回	人
4: 坐薬挿入	回	人
5: 皮膚科処置	回	人
6: 褥創処置	回	人
7: インシュリン注射	回	人
8: 皮下・皮内・筋肉・静脈注射	回	人
9: 点滴	回	人
10: 吸引	回	人
11: ストマ	回	人
12: 導尿・間歇導尿	回	人
13: 留置カテーテル使用	回	人
14: 導気(排ガス)	回	人
15: 浣腸及び摘便	回	人
16: 経管栄養(鼻腔)	回	人
17: 経管栄養(胃ろう)	回	人
18: 中心静脈栄養	回	人
19: 酸素吸入	回	人
20: 人工呼吸器使用	回	人
21: カニューレ使用	回	人
22: ネブライザー使用	回	人
23: 採血	回	人
24: 検尿	回	人
25: 腹膜人工透析(CAPD)	回	人

※「6:褥創処置」は「5:皮膚科処置」と「6:褥創処置」の2項目に該当しますが、「6:褥創処置」のみにカウントしてください。

## 20. 性別、年齢、入所期間等

### ①性別

各人数をまとめて記入してください。	
1: 男性	人
2: 女性	人
合計	人

※ここで入力頂いた利用者数を設問20～33の利用者数合計とします。  
以降の各設問の合計利用者数を一致させてください。  
(設問23、28、30は除く)

### ②年齢

#### i\_現在の年齢

各年代別人数をまとめて記入してください。	
1: 20歳未満	人
2: 20歳以上～30歳未満	人
3: 30歳以上～40歳未満	人
4: 40歳以上～50歳未満	人
5: 50歳以上～60歳未満	人
6: 60歳以上～65歳未満	人
7: 65歳以上	人

#### ii\_入所時の年齢

各年代別人数をまとめて記入してください。	
1: 20歳未満	人
2: 20歳以上～30歳未満	人
3: 30歳以上～40歳未満	人
4: 40歳以上～50歳未満	人
5: 50歳以上～60歳未満	人
6: 60歳以上～65歳未満	人
7: 65歳以上	人

### ③入所期間

各期間別人数をまとめて記入してください。	
1: 1年未満	人
2: 1年以上～5年未満	人
3: 5年以上～10年未満	人
4: 10年以上～20年未満	人
5: 20年以上～30年未満	人
6: 30年以上～40年未満	人
7: 40年以上	人

## 21. 入所形態の状況

### ①生活保護の受給の有無

各人数をまとめて記入してください。	
1: あり	人
2: なし	人

### ②自己負担

各人数をまとめて記入してください。	
1: 自己負担なし	人
2: 全額自己負担	人
3: 一部自己負担	人

### ③障害者加算(生活保護受給の有無を問わない)

各人数をまとめて記入してください。	
1: あり	人
2: 停止中	人
3: なし	人

## 22. 入所前の状況

各選択肢の人数をまとめて記入してください。 該当するものがない場合は「21:その他」に記入の上、人数も記入してください。			
1: 在宅	人	11: 介護保険施設	人
2: 別の救護施設	人	12: 介護保険施設以外の老人福祉施設	人
3: 救護以外の保護施設	人	13: 児童福祉施設	人
4: 障害者支援施設	人	14: 婦人保護施設	人
5: 共同生活介護(ケアホーム)	人	15: その他の社会福祉施設	人
6: 共同生活援助(グループホーム)	人	16: 精神科病院	人
7: 福祉ホーム	人	17: 一般病院	人
8: 身体障害者施設(旧法)	人	18: 司法施設	人
9: 知的障害者施設(旧法)	人	19: 野宿生活	人
10: 精神障害者施設(旧法)	人	20: 行旅病人	人
21: その他	①: 人		
	②: 人		
	③: 人		
	④: 人		
	⑤: 人		

### 23. 貴施設への再入所経験の有無

各選択肢の人数をまとめて記入してください。	
1: 3か月以上の入院をして措置が切れた後再入所	人
2: 一度在宅に戻った後再入所	人
3: その他の理由で再入所	人
4: 再入所の経験はない	人

### 24. 利用者の障害状況

各選択肢の人数をまとめて記入してください。 該当するものがない場合は「9:その他」に記入の上、 人数も記入してください。	
0: 障害なし	人
1: 身体障害のみ	人
2: 知的障害のみ	人
3: 精神障害のみ	人
4: 身体+知的	人
5: 身体+精神	人
6: 知的+精神	人
7: 身体+知的+精神	人
8: 生活障害	人
9: その他 ①:	人
②:	人
③:	人
④:	人
⑤:	人

## 25. 身体障害の状況

### ①手帳の有無

手帳の有無について、各選択肢の人数をまとめて記入してください。 「1:あり」の利用者がいる場合は、②、③にその内訳人数をまとめて記入してください。 「2:なし」の利用者がいる場合は、④、⑤にその内訳人数をまとめて記入してください。			
1: あり	人	2: なし	人

②手帳の障害等級		④障害の程度	
1: 1級	人	1: 1級	人
2: 2級	人	2: 2級	人
3: 3級	人	3: 3級	人
4: 4級	人	4: 4級	人
5: 5級	人	5: 5級	人
6: 6級	人	6: 6級	人
7: 7級	人	7: 7級	人
		8: 不明	人
③手帳に記載の主な障害		⑤主な障害状況	
1: 視覚障害	人	1: 視覚障害	人
2: 聴覚・平衡機能障害	人	2: 聴覚・平衡機能障害	人
3: そしゃく機能障害	人	3: そしゃく機能障害	人
4: 肢体不自由障害	人	4: 肢体不自由障害	人
5: 内部障害	人	5: 内部障害	人

## 26. 知的障害の状況

### ①手帳の有無

手帳の有無について、各選択肢の人数をまとめて記入してください。 「1:あり」の利用者がいる場合は、②および③にその内訳人数をまとめて記入してください。 「2:なし」の利用者がいる場合は、④および⑤にその内訳人数をまとめて記入してください。			
1: あり	人	2: なし	人

②手帳の障害等級		③障害の程度	
1: OA:A1:1度	人	1: 最重度	人
2: A:A2:2度	人	2: 重度	人
3: B:B1:3度	人	3: 中度	人
4: C:B2:4度	人	4: 軽度	人
		5: 不明	人

## 27. 精神障害の状況

### ①手帳の有無

手帳の有無について、各選択肢の人数をまとめて記入してください。 「1:あり」の利用者がいる場合は、②、③にその内訳人数をまとめて記入してください。 「2:なし」の利用者がいる場合は、④、⑤にその内訳人数をまとめて記入してください。			
1: あり	人	2: なし	人

②手帳の障害等級		④障害の程度	
1: 1級	人	1: 1級	人
2: 2級	人	2: 2級	人
3: 3級	人	3: 3級	人
		4: 不明	人
③精神疾患(機能障害)の状況		⑤主な障害状況	
1: 統合失調症	人	1: 統合失調症	人
2: そううつ病	人	2: そううつ病	人
3: 非定型精神病	人	3: 非定型精神病	人
4: 中毒精神病	人	4: 中毒精神病	人
5: てんかん	人	5: てんかん	人
6: 器質精神病	人	6: 器質精神病	人
7: アルコール依存症	人	7: アルコール依存症	人
8: その他精神疾患	人	8: その他精神疾患	人

28. 特定疾患の有無

各選択肢の人数をまとめて記入してください。			
1: なし	人	30: 天疱瘡	人
2: 初老期の痴呆	人	31: クローン病	人
3: 脳血管疾患	人	32: 難治性肝炎のうち劇症肝炎	人
4: ALS(筋萎縮性側索硬化症)	人	33: 悪性関節リウマチ	人
5: パーキンソン病	人	34: パーキンソン病関連疾患	人
6: 脊髄小脳変性症	人	35: アミロイドーシス	人
7: シャイ・ドレーガー症候群	人	36: ハンチントン病	人
8: 糖尿病性腎症、糖尿病性網膜症 及び糖尿病性神経障害	人	37: モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	人
9: 閉塞性動脈硬化症	人	38: ウェゲナー肉芽腫症	人
10: 慢性閉塞性肺疾患	人	39: 特発性拡張型(うっ血性)心筋症	人
11: 両側の膝関節又は股関節に著しい 変形を伴う変形性関節症	人	40: 多系統萎縮症	人
12: 慢性関節リウマチ	人	41: 表皮水泡症(接合部型及び栄養障害型)	人
13: 後縦靭帯骨化症	人	42: 膿疱性乾癬	人
14: 脊柱管狭窄症	人	43: 広範脊柱管狭窄症	人
15: 骨粗しょう症による骨折	人	44: 原発性胆汁性肝硬変	人
16: 早老症	人	45: 重症急性膵炎	人
17: ベーチェット病	人	46: 特発性大腿骨頭壊死症	人
18: 多発性硬化症	人	47: 混合性結合組織病	人
19: 重症筋無力症	人	48: 多発性免疫不全症候群	人
20: 全身性エリテマトーデス	人	49: 特発性間質性肺炎	人
21: スモン	人	50: 網膜色素変性症	人
22: 再生不良性貧血	人	51: プリオン病	人
23: サルコイドーシス	人	52: 多発性肺高血圧症	人
24: 強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	人	53: 神経線維腫症Ⅰ型、神経線維腫症Ⅱ型	人
25: 特発性血小板減少性紫斑病	人	54: 亜急性硬化性全脳炎	人
26: 結節性動脈周囲炎	人	55: バッド・キアリ症候群	人
27: 潰瘍性大腸炎	人	56: 特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	人
28: 大動脈炎症候群	人	57: ライソゾーム病	人
29: ビュルガー病	人	58: 副腎白質ジストロフィー	人

## 29. 生活能力の状況

### ①金銭管理

各選択肢の人数をまとめて記入してください。	
1: 金銭の計算ができ、使い道を考えながら自分で計画的に金銭を管理できる	人
2: 無駄使いが多い、または使わな過ぎるなど自分で計画的に金銭を管理できない場合があり、時に助言を要することがある	人
3: 金銭の大小の区別ができる程度であり、助言や援助を要する	人
4: 金銭の価値が理解できないなど、助言や援助をしても自分でできない	人

### ②意思伝達

各選択肢の人数をまとめて記入してください。	
1: 他人の話を聞き取り、自分の意思を伝えることがほとんど支障なくできる	人
2: 日常会話はほとんどできるが、論理的な内容の理解は困難	人
3: ごく少数の単語・短文での会話やジェスチャーまじりであれば理解可能	人
4: 他人の話を理解できず、自分では意思伝達ができない	人

### ③電話

各選択肢の人数をまとめて記入してください。	
1: 必要に応じて、自分で適切に電話を使用することができる	人
2: だいたいできるが、時に助言や援助を必要とする	人
3: 助言や援助があれば電話を使用できる	人
4: 助言や援助をしても電話を使用できない	人

### ④マナー

各選択肢の人数をまとめて記入してください。	
1: 公共の場所(食堂や交通機関等)で常識的なマナーを配慮できる	人
2: 常識的なマナーを配慮できるが、時に助言を要する	人
3: 助言や援助があれば常識的なマナーを配慮できる	人
4: 助言や援助をしても常識的なマナーを配慮できない	人

⑤公共機関の利用

各選択肢の人数をまとめて記入してください。	
1: 必要に応じて、役所や郵便局、銀行など自分で問題なく利用できる	人
2: だいたいできるが、時に助言や援助を必要とする	人
3: ほとんど1人では公共機関を利用できず、助言や援助を要する	人
4: 助言や援助をしても、自分ではできない	人

⑥交通機関の利用

各選択肢の人数をまとめて記入してください。	
1: 未知の路線であってもバス、電車などの交通機関を自分で、もしくは他人に聞いて問題なく利用できる	人
2: 既知の路線であれば自分で利用できるが、未知の路線では助言を必要とする	人
3: 1人ではほとんど交通機関を利用できず、助言や援助を要する	人
4: 助言や援助をしても、自分ではできない	人

30. 現在受診している科目

該当するものにチェックをつけてください。
<input type="radio"/> 1: 受診していない
<input type="radio"/> 2: 受診している

選択解除

上記で「2:受診している」にチェックをつけた場合は、下記該当科目の欄にもご記入ください。 該当するものがない場合は「19:その他」に記入の上、人数も記入してください。			
1: 精神神経科	人	10: 理学診療科	人
2: 神経内科	人	11: 泌尿器科	人
3: 内科	人	12: 肛門科	人
4: 気管食道科	人	13: 産婦人科	人
5: 外科	人	14: 眼科	人
6: 整形外科	人	15: 一般歯科(矯正を含む)	人
7: 脳神経外科	人	16: 口腔外科	人
8: 放射線科	人	17: 耳鼻咽喉科	人
9: 麻酔科(ペイン・クリニック)	人	18: 皮膚科	人
19: その他 ①:			人
②:			人
③:			人
④:			人
⑤:			人

### 31. 食事について

#### ① 形態

各選択肢の人数をまとめて記入してください。 該当するものがない場合は「7:その他」に記入の上、人数も記入してください。			
1: 普通食	人	4: ミキサー食	人
2: キザミ食	人	5: ペースト食	人
3: 極キザミ食	人	6: 流動食	人
7: その他 ①:			人
②:			人
③:			人
④:			人
⑤:			人

#### ② 治療食

各選択肢の人数をまとめて記入してください。 該当するものがない場合は「7:その他」に記入の上、人数も記入してください。			
1: 治療食無し	人	4: 腎臓(透析)治療食	人
2: 糖尿治療食	人	5: 貧血治療食	人
3: 潰瘍治療食	人	6: 高血圧治療食	人
7: その他の治療食 ①:			人
②:			人
③:			人
④:			人
⑤:			人

### 32. 現在利用している日中活動について

各選択肢の人数をまとめて記入してください。 該当するものがない場合は「4:その他」に記入の上、人数も記入してください。			
1: 救護施設内の支援			人
2: 外勤 1日の平均時間:	時間	※30分未満切り捨て	人
3: 救護施設居宅生活訓練事業			人
4: その他 ①:			人
②:			人
③:			人
④:			人
⑤:			人

### 33. 利用者の今後の進路(施設長の考え)

#### ①居住の場

全利用者についてそれぞれ各選択肢の人数をまとめて記入してください。 該当するものがない場合は「10:その他」に記入の上、人数も記入してください。	
1: 現在の救護施設に継続入所	人
2: 現在の救護施設以外の保護施設に入所	人
3: 他の障害者施設に入所	人
4: 介護保険施設に入所	人
5: 介護保険施設以外の老人福祉施設に入所	人
6: 家族(両親等)と同居して居宅生活	人
7: アパート、自宅で居宅生活(単身・配偶者との生活)	人
8: グループホーム、福祉ホームで居宅生活	人
9: 入院	人
10: その他	
①:	人
②:	人
③:	人
④:	人
⑤:	人

#### ②就労・日中活動の場

全利用者についてそれぞれ各選択肢の人数をまとめて記入してください。 該当するものがない場合は「7:その他」に記入の上、人数も記入してください。	
1: 一般就労(福祉工場を含む)	人
2: 福祉的就労(授産施設・就労継続支援事業等)	人
3: 自立訓練・就労支援事業の利用	人
4: 職業訓練(職業訓練校等)	人
5: 生きがいの日中活動	人
6: 現在の救護施設内サービスの利用	人
7: その他	
①:	人
②:	人
③:	人
④:	人
⑤:	人

### 34. 平成24年度(1年間)の退所者の状況

#### ①性別

各人数をまとめて記入してください。	
1: 男性	人
2: 女性	人
3: 不明	人
合計	人

※ここで入力頂いた利用者数を設問34の退所者数合計とします。  
以降の各設問の合計退所者数を一致させてください。

#### ②入所時の年齢

各年代別人数をまとめて記入してください。	
1: 20歳未満	人
2: 20歳以上～30歳未満	人
3: 30歳以上～40歳未満	人
4: 40歳以上～50歳未満	人
5: 50歳以上～60歳未満	人
6: 60歳以上～65歳未満	人
7: 65歳以上	人
8: 不明	人

#### ③入所期間

各期間別人数をまとめて記入してください。	
1: 1年未満	人
2: 1年以上～3年未満	人
3: 3年以上～5年未満	人
4: 5年以上～10年未満	人
5: 10年以上～20年未満	人
6: 20年以上～30年未満	人
7: 30年以上～40年未満	人
8: 40年以上	人
9: 不明	人

## 平成25年度 全国救護施設実態調査・調査票 -利用者版- (回答用紙)

### ④障害の状況

<b>各選択肢の人数をまとめて記入してください。 該当するものがない場合は「9:その他」に記入の上、人数も記入してください。</b>			
0: 障害なし	人	5: 身体+精神	人
1: 身体障害のみ	人	6: 知的+精神	人
2: 知的障害のみ	人	7: 身体+知的+精神	人
3: 精神障害のみ	人	8: いわゆる生活障害	人
4: 身体+知的	人	10: 不明	人
9: その他	①:		人
	②:		人
	③:		人
	④:		人
	⑤:		人

### ⑤入所前の状況

<b>各選択肢の人数をまとめて記入してください。 該当するものがない場合は「21:その他」に記入の上、人数も記入してください。</b>			
1: 在宅	人	11: 介護保険施設	人
2: 別の救護施設	人	12: 介護保険施設以外の老人福祉施設	人
3: 救護以外の保護施設	人	13: 児童福祉施設	人
4: 障害者支援施設	人	14: 婦人保護施設	人
5: 共同生活介護(ケアホーム)	人	15: その他の社会福祉施設	人
6: 共同生活援助(グループホーム)	人	16: 精神科病院	人
7: 福祉ホーム	人	17: 一般病院	人
8: 身体障害者施設(旧法)	人	18: 司法施設	人
9: 知的障害者施設(旧法)	人	19: 野宿生活	人
10: 精神障害者施設(旧法)	人	20: 行旅病人	人
		22: 不明	人
21: その他	①:		人
	②:		人
	③:		人
	④:		人
	⑤:		人

平成25年度 全国救護施設実態調査・調査票 -利用者版- (回答用紙)

⑥現在の施設への再入所の有無<入所者>

各選択肢の人数をまとめて記入してください。	
1: 3か月以上の入院をして措置が切れた後再入所	人
2: 一度在宅に戻った後再入所	人
3: その他の理由で再入所	人
4: 再入所の経験はない	人
5: 不明	人

⑦退所後の進路

各選択肢の人数をまとめて記入してください。 該当するものがない場合は「16:その他」に記入の上、人数も記入してください。	
1: 他の救護施設	人
2: 救護施設以外の保護施設	人
3: 他の障害者施設	人
4: 介護保険施設	人
5: 介護保険施設以外の老人福祉施設	人
6: その他の社会福祉施設	人
7: 家族(両親等)と同居して居宅生活	人
8: アパート等で(単身、配偶者と)居宅生活	人
9: グループホーム福祉ホームで居宅生活	人
10: 入院(精神科病院)	人
11: 入院(一般病院)	人
12: 司法施設	人
13: 野宿生活	人
14: 死亡	人
15: その他	人
①: _____	人
②: _____	人
③: _____	人
④: _____	人
⑤: _____	人
16: 不明	人

⑧退所直後の生活保護受給の有無

各選択肢の人数をまとめて記入してください。	
1: 受給あり	人
2: 受給なし	人
3: 不明	人

⑨退所直後の貴施設サービス利用の有無

各選択肢の人数をまとめて記入してください。	
1: 利用あり	人
2: 利用なし	人
3: 不明	人

⑩退所直後の就労の有無

各選択肢の人数をまとめて記入してください。	
1: 一般就労(福祉工場含む)	人
2: 福祉的就労 (授産施設、就労継続支援事業等)	人
3: 就労せず	人
4: 不明	人



---

---

平成 25 年度 全国救護施設実態調査報告書

☆

平成 26 年 7 月

全国救護施設協議会

☆

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル  
社会福祉法人 全国社会福祉協議会 高年・障害福祉部内

TEL 03-3581-6502 / FAX 03-3581-2428

---